

**令和 7 年度
柳井市市民意識調査報告書**

令和 7 年 11 月

柳井市

《目 次》

第1章 調査方法	1
第2章 調査結果	2
1. あなたご自身について	2
2. 柳井市の現状について	10
3. 産業について	53
4. 福祉について	56
5. 健康づくりについて	62
6. 環境問題、美しいまちづくりについて	63
7. 教育・生涯学習について	67
8. 今後のまちづくりについて	72
9. 総括	88

第1章 調査方法

1. 調査の目的

本調査は、市の取り組みに対する市民意識調査を実施することにより、現行の柳井市総合計画の進捗状況と市民ニーズを把握するとともに、現在抱える課題等を洗い出し、今後の取り組みを検討する基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 実施概要

- 調査対象者 : 令和7年9月1日現在、柳井市内に住んでいる男女（16歳以上）を抽出
- 対象数 : 無作為に抽出した方 3,600 人
- 調査期間 : 令和7年9月9日～令和7年9月30日まで
- 調査方法 : 郵送による配布回収

3. 回収結果

	配布数	回収数	回収率
住民意識調査	3,600 件	2,122 件	58.9%

4. 調査集計にあたっての留意事項

- 回答結果は小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、単回答（複数の選択肢から1つだけを選ぶ形式）の場合、合計値が「100.0」にならない場合があります。
- 複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）における割合の単位はパーセントとしています。この場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答を合計すると「100.0」を超える場合があります。
- 本報告書における「n」「SA」「MA」「FA」「数量」は、それぞれ
 - 「n」 = サンプル数のこと
 - 「SA」 = 単回答のこと（Single Answer の略）
 - 「MA」 = 複数回答のこと（Multiple Answer の略）を示します。
- 図表中において「無回答」とある項目については、「回答のなかったもの」、もしくは「判別ができなかったもの」を表しています。
- 本文中の設問の選択肢が長い場合は、簡略化している場合があります。

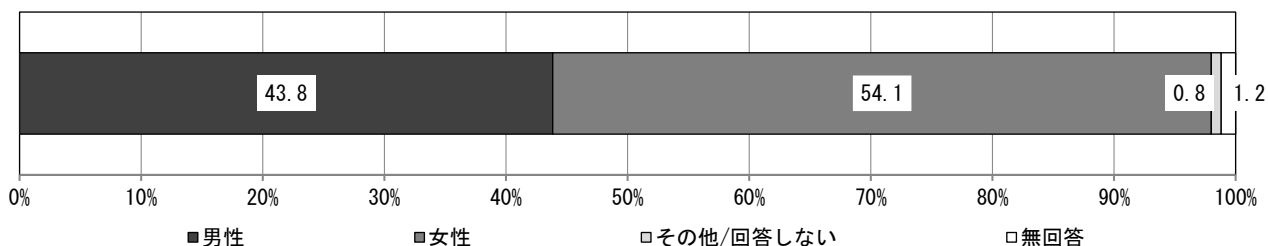
第2章 調査結果

1. あなたご自身について

問1 あなたの性別をお答えください。(SA)

「女性」が54.1%、「男性」が43.8%を占めています。

(SA) n=2,122



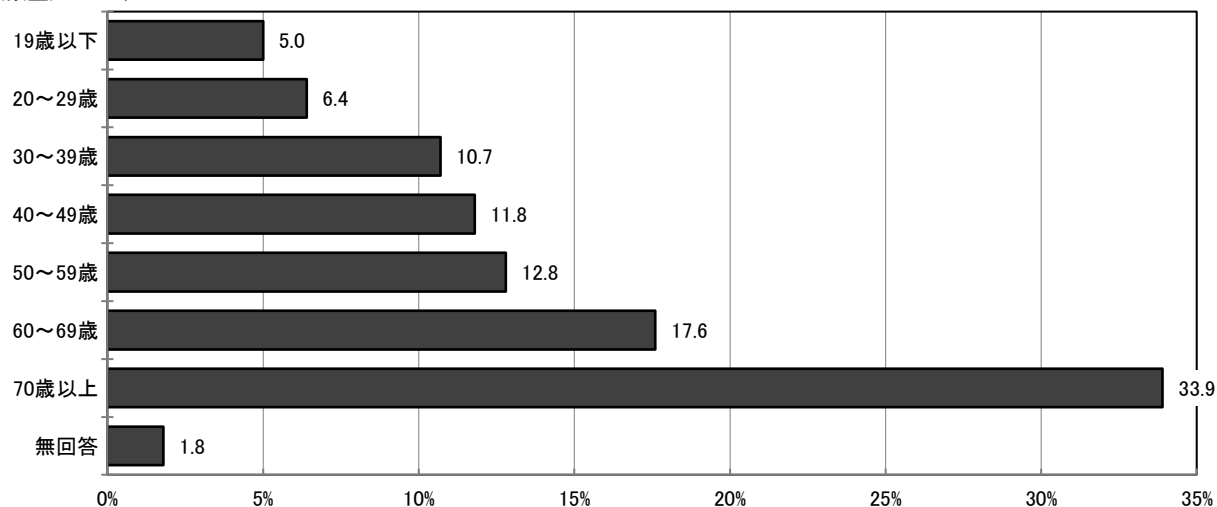
職業区分別にみると、自営では「男性」の割合が高く、家事専門では「女性」の割合が高くなっています。

	職業区分			
	全体 n=2,122	自営 n=232	おつとめ n=872	家事専門 n=977
男性	43.8	68.1	49.1	34.6
女性	54.1	31.0	50.0	64.1
その他/回答しない	0.8	0.9	0.7	1.0
無回答	1.2	—	0.2	0.3

問2 あなたの満年齢をお答えください。(数量)

「70歳以上」が33.9%で最も高くなっています。次いで「60～69歳」が17.6%、「50～59歳」が12.8%で続いています。

(数量) n=2,122

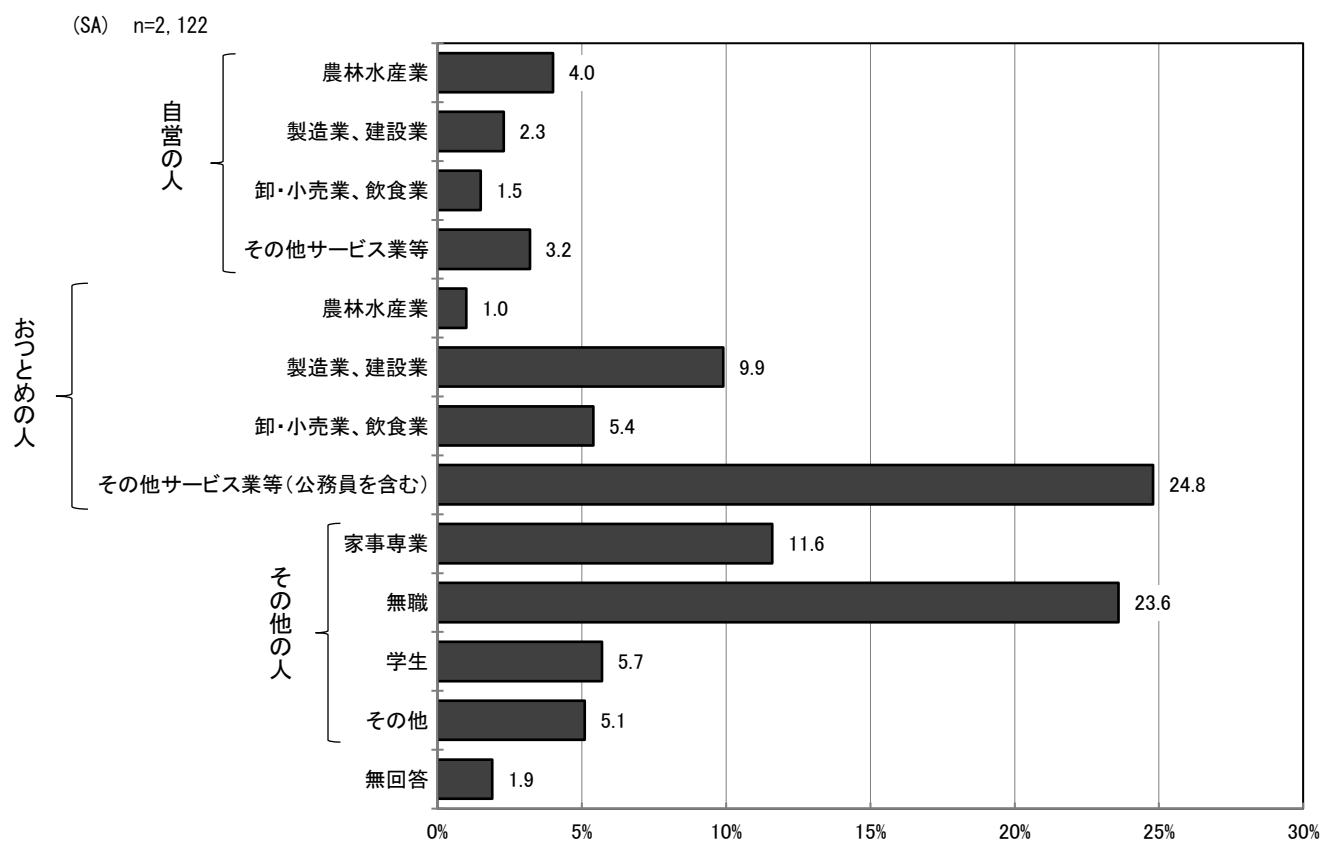


地区別にみると、平郡地区では「70 歳以上」の割合が他の地域と比較して高くなっています。

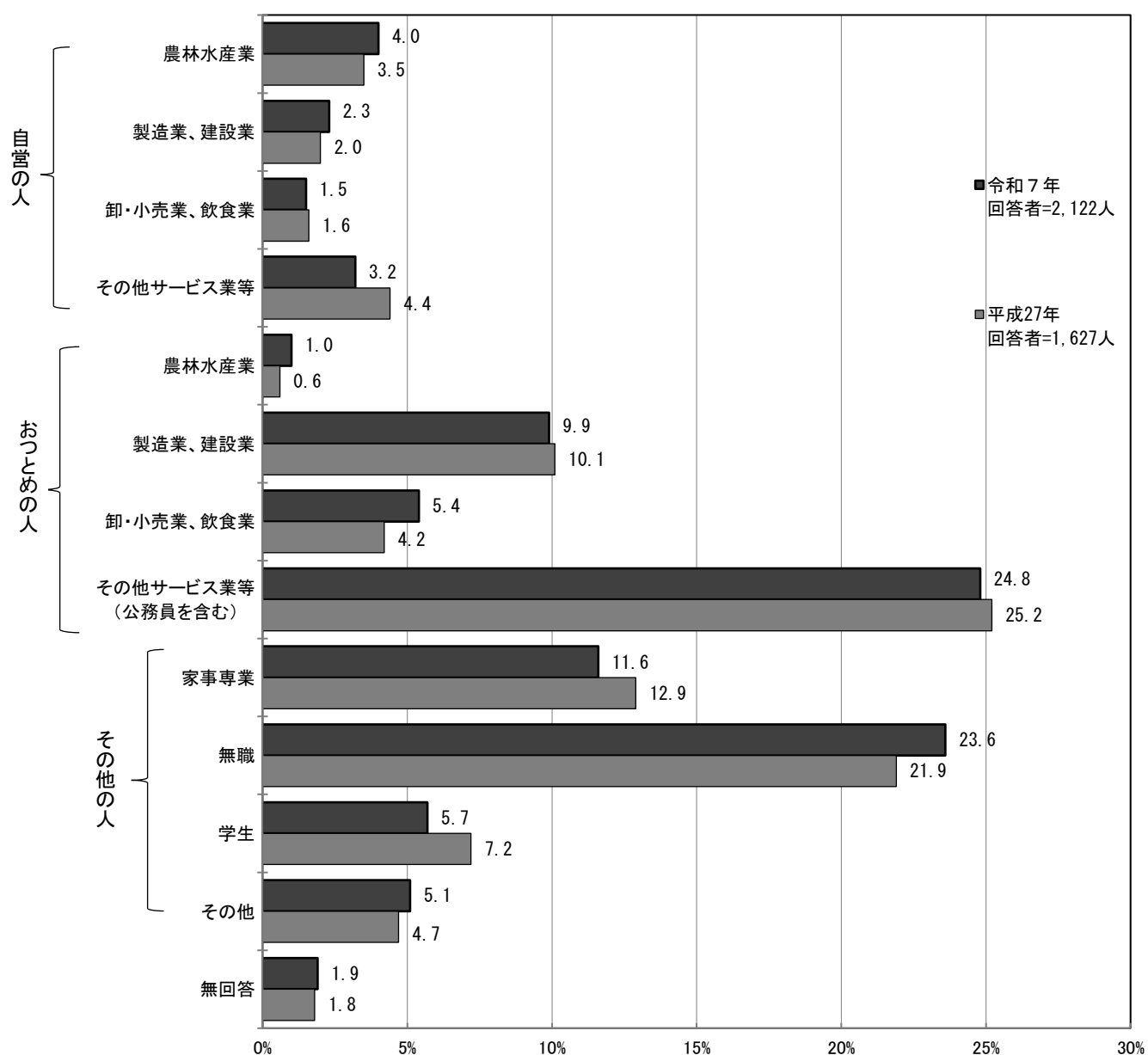
	地区									
	全体 n=2,122	柳井地区 n=361	日積地区 n=219	伊陸地区 n=228	新庄地区 n=230	余田地区 n=185	伊保庄地区 n=227	阿月地区 n=170	平郡地区 n=75	大畠地区 n=221
19歳以下	5.0	7.8	3.2	4.4	5.7	4.9	6.6	0.6	-	8.1
20～29歳	6.4	9.7	4.1	7.5	6.5	8.6	6.6	4.1	1.3	8.1
30～39歳	10.7	14.1	10.5	13.2	13.9	10.8	11.5	5.9	1.3	12.2
40～49歳	11.8	13.6	10.0	12.7	18.3	13.0	16.7	8.2	4.0	12.7
50～59歳	12.8	13.3	18.7	13.2	12.2	13.5	13.7	16.5	9.3	13.6
60～69歳	17.6	16.6	19.6	21.1	17.0	19.5	18.1	22.4	10.7	16.3
70歳以上	33.9	23.8	32.0	26.8	26.1	29.7	26.9	41.8	73.3	28.5
無回答	1.8	1.1	1.8	1.3	0.4	-	-	0.6	-	0.5

問3 あなたの職業をお答えください。(SA)

「その他サービス業等(公務員を含む)」が 24.8%で最も高くなっています。次いで、「無職」が 23.6%、「家事専業」が 11.6%で続いています。



今回調査と前回調査に大きな差はみられません。



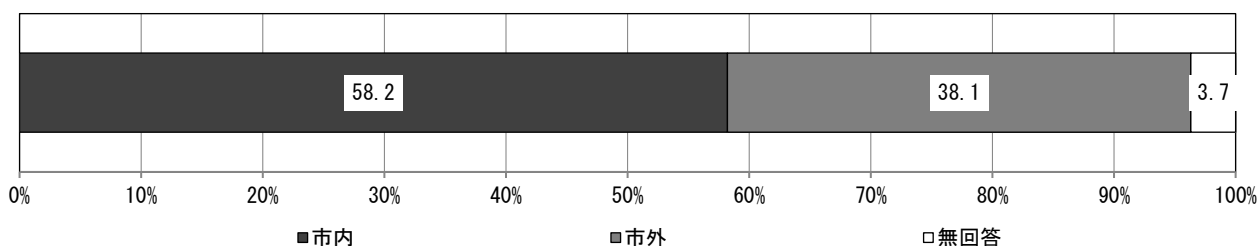
現在の幸福度別にみると、不幸せで「製造業、建設業」の割合が高くなっています。

	現在の幸福度			
	全体 n=2,122	不幸せ n=182	普通 n=867	幸せ n=995
農林水産業	4.0	2.2	4.6	3.8
製造業、建設業	2.3	2.7	2.2	2.4
卸・小売業、飲食業	1.5	2.7	1.4	1.4
その他サービス業等	3.2	2.7	3.2	3.2
農林水産業	1.0	—	1.0	0.8
製造業、建設業	9.9	15.9	10.3	9.1
卸・小売業、飲食業	5.4	5.5	5.9	5.3
その他サービス業等(公務員を含む)	24.8	18.7	24.6	26.9
家事専業	11.6	8.8	10.6	12.4
無職	23.6	25.8	26.2	20.1
学生	5.7	5.5	4.3	7.3
その他	5.1	5.5	4.8	5.2
無回答	1.9	3.8	0.9	1.9

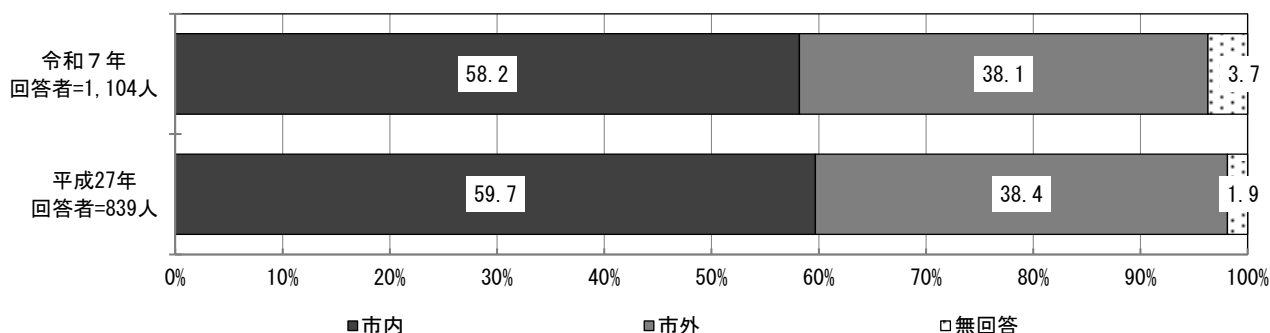
問4 あなたの勤務地を教えてください。(SA)

「市内」が58.2%を占めています。

(SA) n=1,104



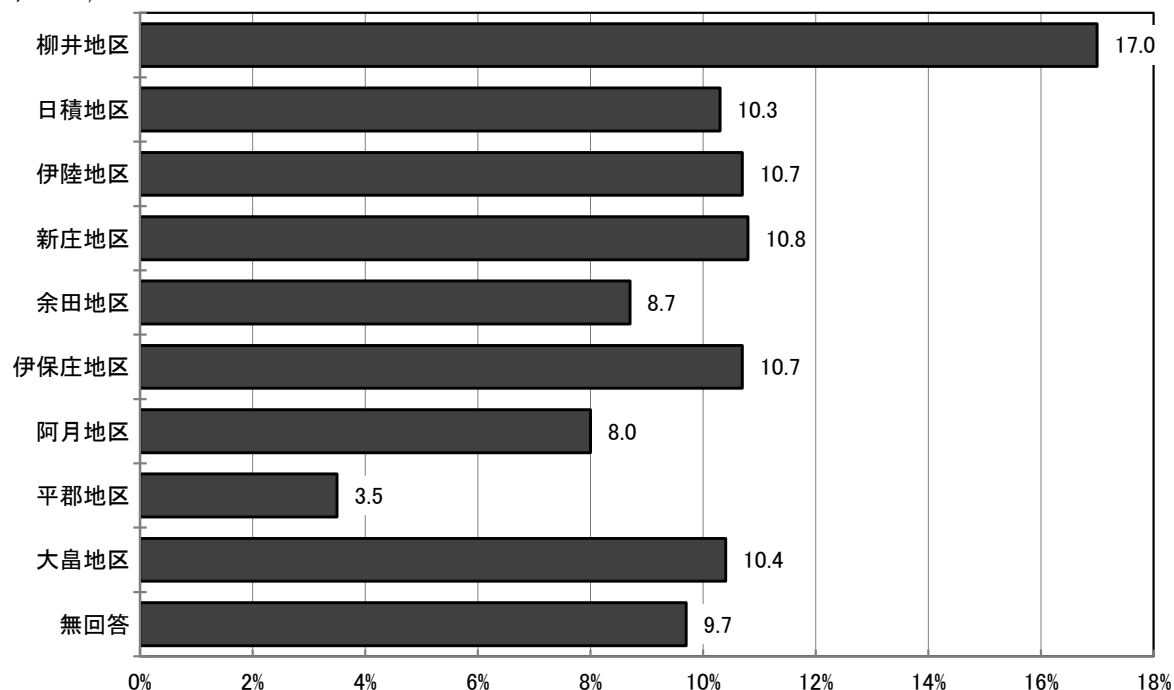
今回調査と前回調査に大きな差はみられません。



問5 あなたのお住まいの地区をお答えください。(SA)

「柳井地区」が17.0%で最も高くなっています。次いで「新庄地区」が10.8%、「伊陸地区」「伊保庄地区」が10.7%で続いています。

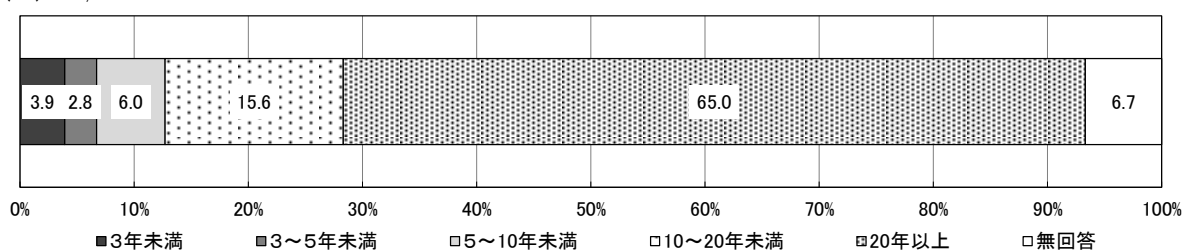
(SA) n=2,122



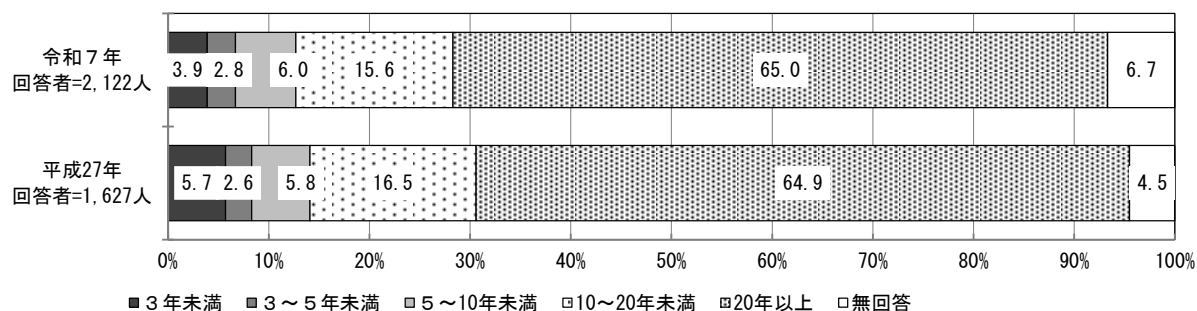
問6 あなたは、柳井市に通算して何年住んでいらっしゃいますか。(SA)

「20年以上」が65.0%で最も高くなっています。次いで「10～20年未満」が15.6%で続いています。

(SA) n=2,122

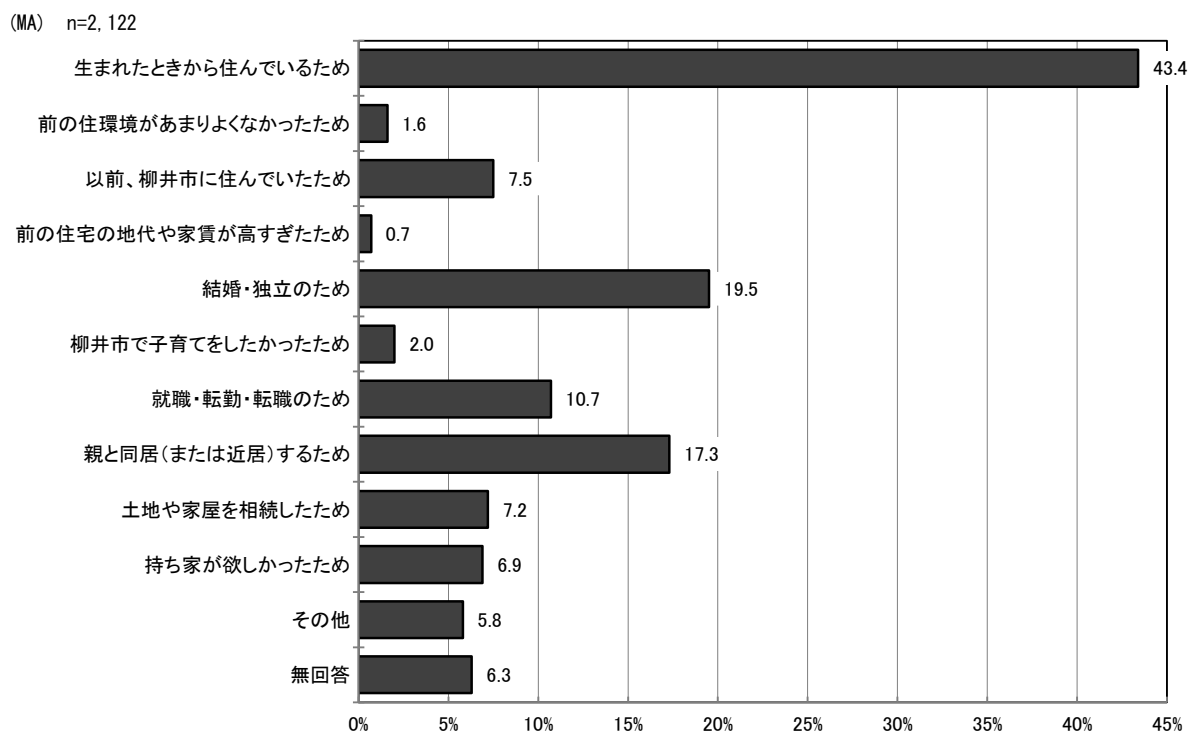


今回調査と前回調査に大きな差はみられません。



問7 柳井市に住むきっかけ・理由はどのようなことでしたか。(MA)

「生まれたときから住んでいるため」が 43.4%で最も高くなっています。次いで「結婚・独立のため」が 19.5%、「親と同居(または近居)するため」が 17.3%が続いています。

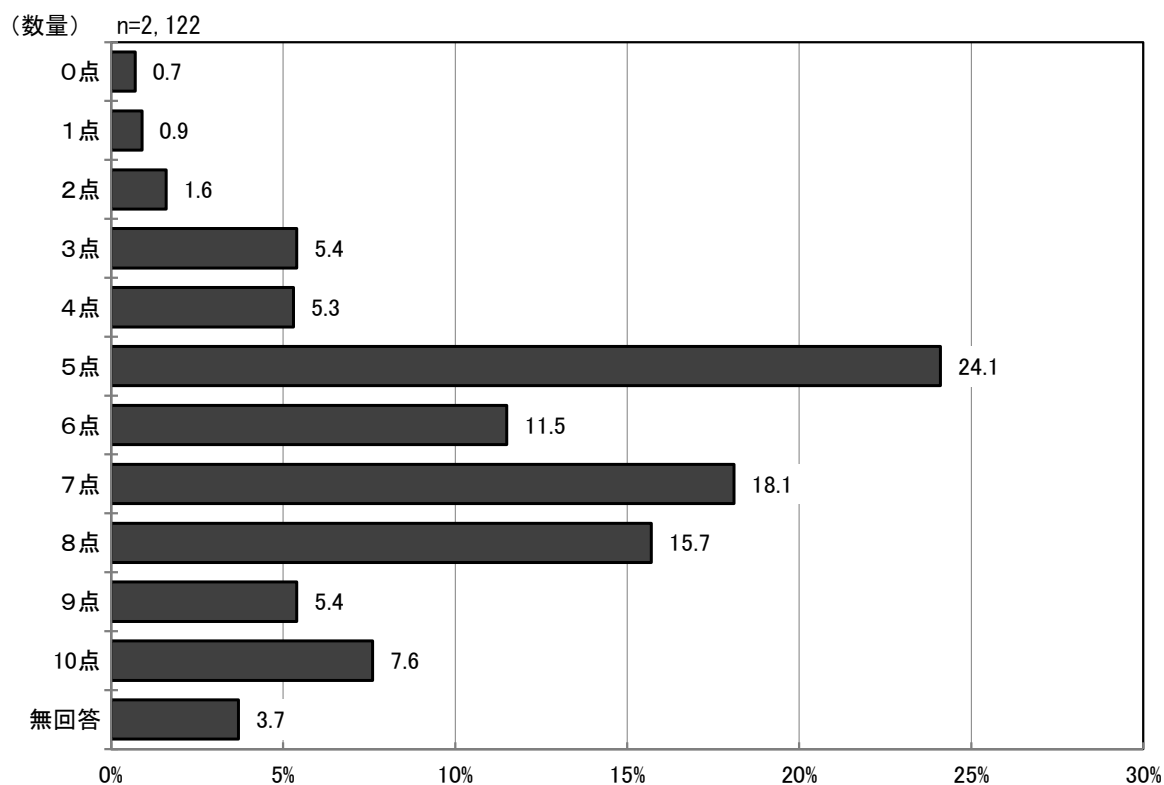


男女別にみると、男性では「生まれたときから住んでいるため」、女性では「結婚・独立のため」の割合が高くなっています。

	性別			
	全体 n=2,122	男性 n=930	女性 n=1,148	その他/ 回答しない n=18
生まれたときから住んでいるため	43.4	53.0	36.7	22.2
前の住環境があまりよくなかったため	1.6	2.5	1.0	—
以前、柳井市に住んでいたため	7.5	8.0	7.1	11.1
前の住宅の地代や家賃が高すぎたため	0.7	0.6	0.7	—
結婚・独立のため	19.5	9.2	28.4	5.6
柳井市で子育てをしたかったため	2.0	2.0	2.0	—
就職・転勤・転職のため	10.7	14.3	8.2	—
親と同居(または近居)するため	17.3	18.2	16.9	22.2
土地や家屋を相続したため	7.2	8.7	6.0	5.6
持ち家が欲しかったため	6.9	6.6	7.2	16.7
その他	5.8	5.8	5.9	11.1
無回答	6.3	3.8	6.6	11.1

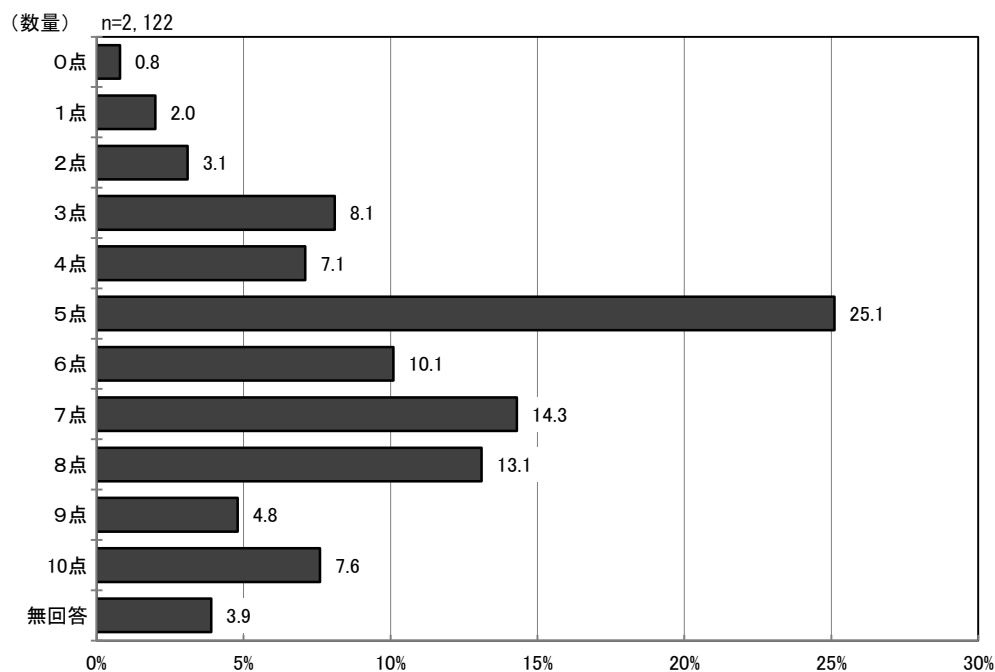
問8 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸せ」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(数量)

「5点」が24.1%で最も高くなっています。次いで「7点」が18.1%、「8点」が15.7%が続いています。



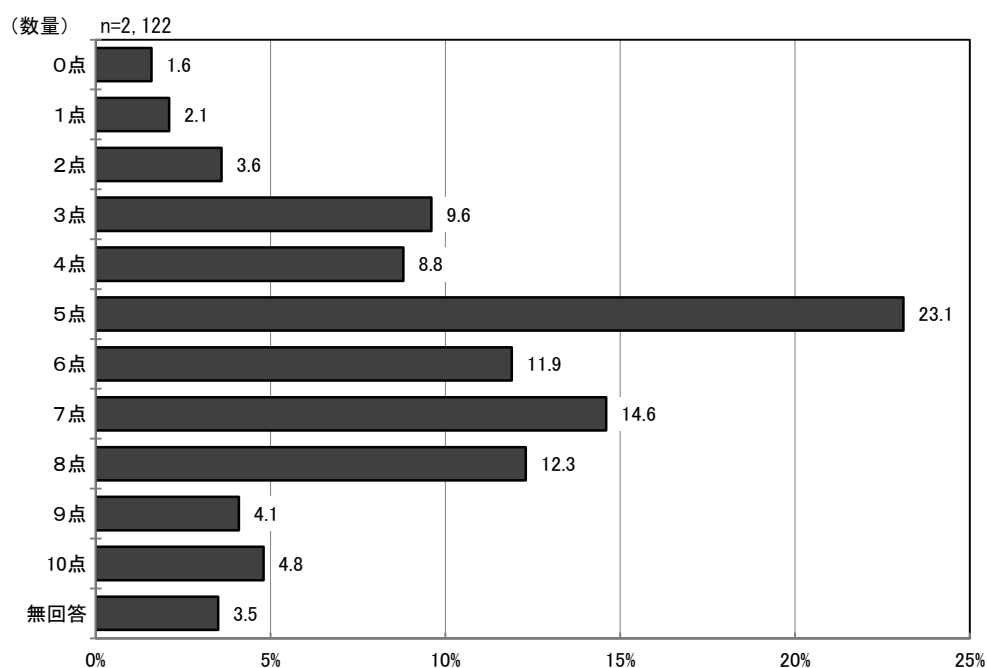
問8 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸せ」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(数量)

「5点」が25.1%で最も高くなっています。次いで「7点」が14.3%、「8点」が13.1%が続いています。



問8 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(数量)

「5点」が23.1%で最も高くなっています。次いで「7点」が14.6%、「8点」が12.3%が続いています。



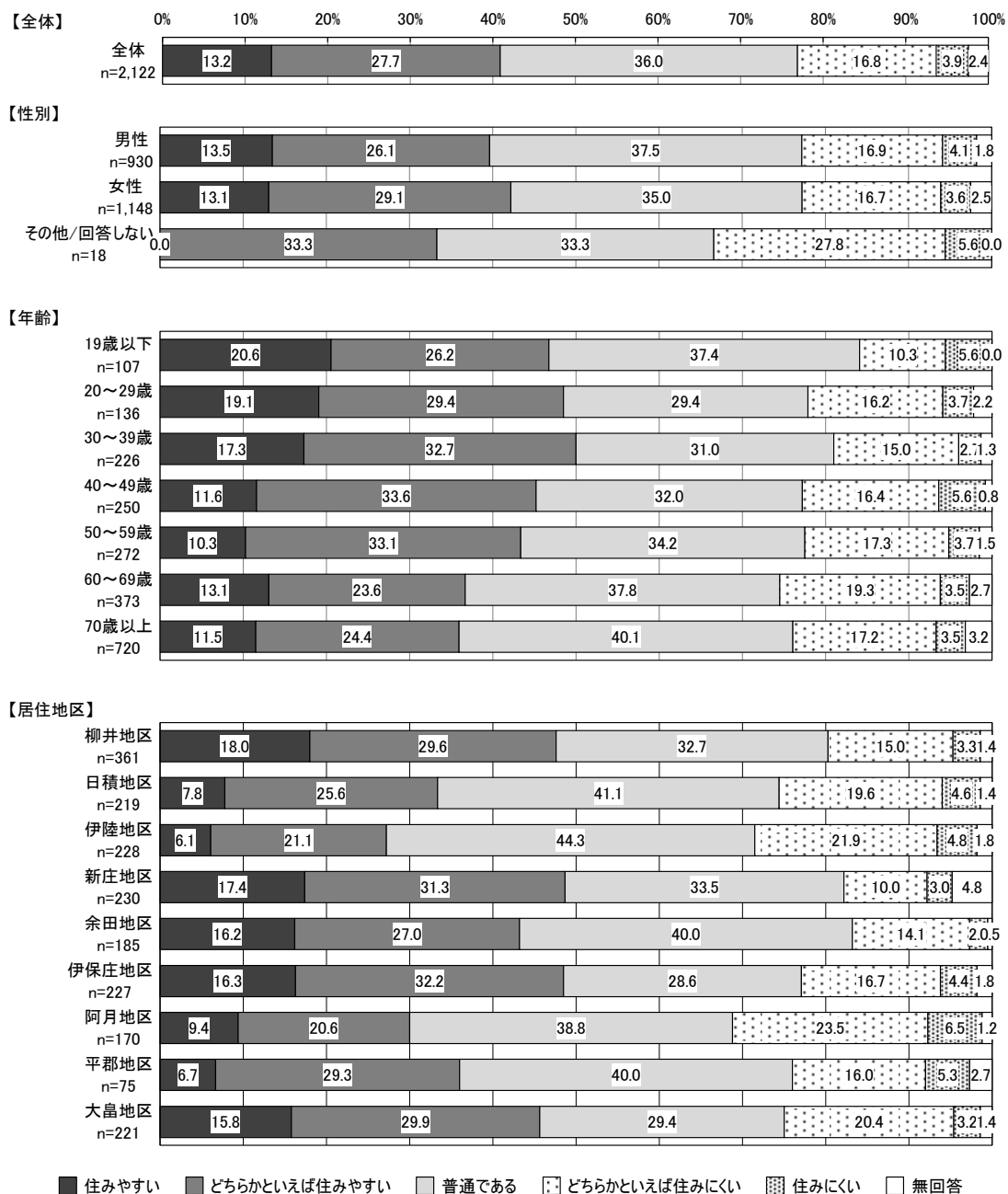
2. 柳井市の現状について

問9 柳井市の住みやすさについて、どのように感じていますか。(SA)

「普通である」が 36.0%で最も高くなっています。次いで「どちらかといえば住みやすい」が 27.7%、「どちらかといえば住みにくい」が 16.8%で続いています。住みやすい層(「住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」)は4割以上となっています。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにつれて住みやすい層の割合が高くなっています。

地区別でみると、柳井地区、新庄地区、伊保庄地区の住みやすい層の割合が高くなっています。



現在の幸福度別にみると、不幸せで「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」、幸せで「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の割合が全体と比べて高く、現在の幸福度が高いほど住みやすい層の割合も高くなっています。

	現在の幸福度			
	全体 n=2,122	不幸せ n=182	普通 n=867	幸せ n=995
住みやすい	13.2	2.7	4.4	23.6
どちらかといえば住みやすい	27.7	7.1	21.1	38.7
普通である	36.0	21.4	48.9	28.4
どちらかといえば住みにくい	16.8	40.7	22.8	7.9
住みにくい	3.9	26.9	2.7	0.9
無回答	2.4	1.1	0.1	0.4

5年後の幸福度別にみると、不幸せで「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」、幸せで「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の割合が全体と比べて高く、5年後の幸福度が高いほど住みやすい層の割合も高くなっています。

	5年後の幸福度			
	全体 n=2,122	不幸せ n=297	普通 n=897	幸せ n=845
住みやすい	13.2	1.3	5.6	26.4
どちらかといえば住みやすい	27.7	11.1	25.3	37.9
普通である	36.0	33.3	46.5	26.7
どちらかといえば住みにくい	16.8	36.7	20.2	7.5
住みにくい	3.9	17.2	2.1	1.1
無回答	2.4	0.3	0.3	0.5

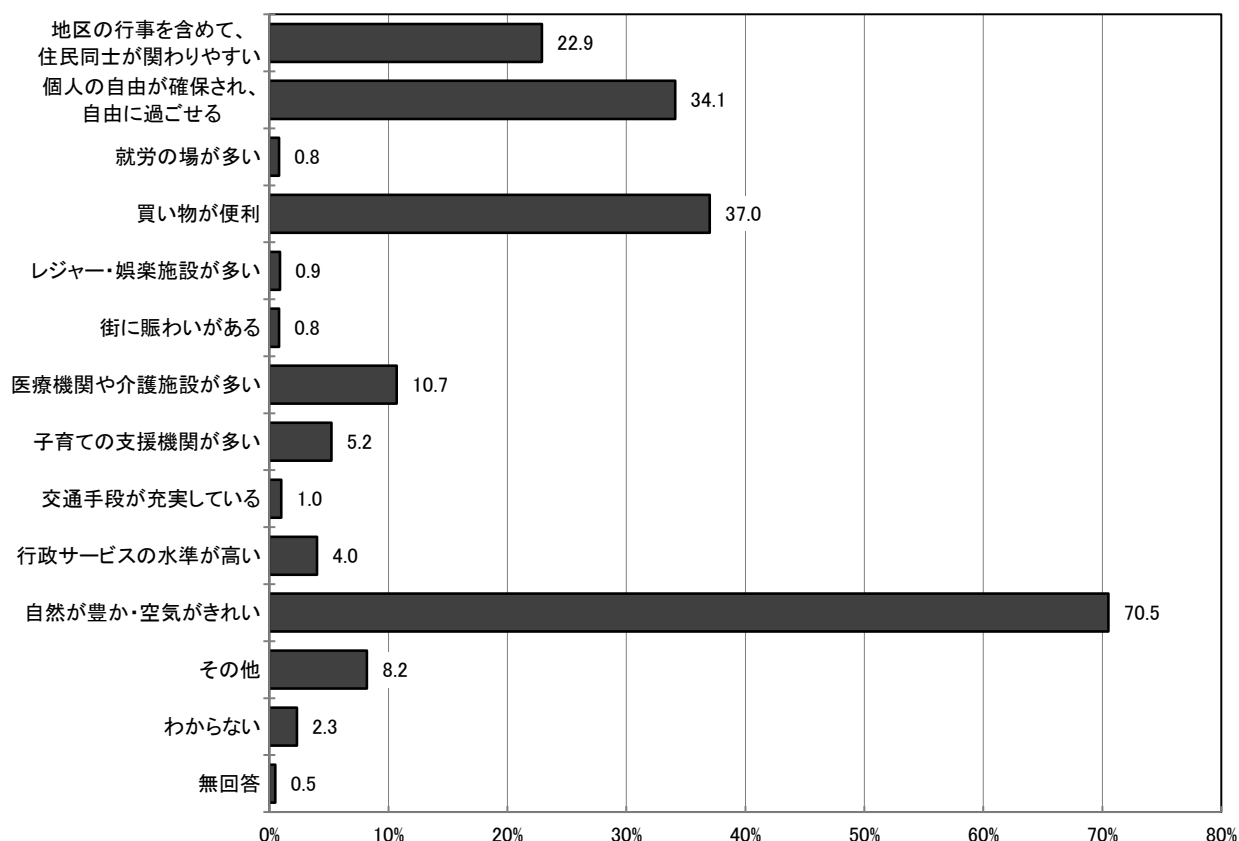
暮らしの満足度別にみると、不満足で「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」、満足で「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の割合が全体と比べて高く、暮らしの満足度が高いほど住みやすい層の割合も高くなっています。

	暮らしの満足度			
	全体 n=2,122	不満足 n=359	普通 n=930	満足 n=758
住みやすい	13.2	2.5	3.4	31.4
どちらかといえば住みやすい	27.7	8.1	25.9	40.8
普通である	36.0	26.5	50.5	23.7
どちらかといえば住みにくい	16.8	45.1	18.3	3.2
住みにくい	3.9	17.5	1.6	0.3
無回答	2.4	0.3	0.2	0.7

※問9で「1. 住みやすい」「2. どちらかといえば住みやすい」を選択した方
問9-1 その大きな理由は何ですか。(MA)

「自然が豊か・空気がきれい」が 70.5%で最も高くなっています。次いで「買い物が便利」が 37.0%、「個人の自由が確保され、自由に過ごせる」が 34.1%が続いています。

(MA) n=868



年齢別にみると、19 歳以下で「個人の自由が確保され、自由に過ごせる」、30～39 歳と 40～49 歳で「買い物が便利」、「子育ての支援機関が多い」、60～69 歳で「自然が豊か・空気がきれい」、70 歳以上で「地区の行事を含めて、住民同士が関わりやすい」、「個人の自由が確保され、自由に過ごせる」、「医療機関や介護施設が多い」、「自然が豊か・空気がきれい」の割合が全体と比べて高くなっています。

	年齢							
	全体 n=868	19歳以下 n=50	20～29歳 n=66	30～39歳 n=113	40～49歳 n=113	50～59歳 n=118	60～69歳 n=137	70歳以上 n=259
地区の行事を含めて、住民同士が関わりやすい	22.9	24.0	12.1	17.7	18.6	20.3	24.1	30.1
個人の自由が確保され、自由に過ごせる	34.1	40.0	33.3	23.0	23.9	34.7	32.8	42.1
就労の場が多い	0.8	-	1.5	0.9	-	0.8	1.5	0.8
買い物が便利	37.0	28.0	36.4	51.3	42.5	34.7	40.9	29.3
レジャー・娯楽施設が多い	0.9	-	1.5	1.8	0.9	0.8	0.7	0.4
街に賑わいがある	0.8	-	6.1	0.9	-	0.8	-	0.4
医療機関や介護施設が多い	10.7	8.0	12.1	10.6	5.3	4.2	8.0	17.4
子育ての支援機関が多い	5.2	4.0	7.6	15.9	10.6	1.7	2.2	0.8
交通手段が充実している	1.0	2.0	1.5	0.9	-	0.8	-	1.9
行政サービスの水準が高い	4.0	-	1.5	6.2	6.2	4.2	2.9	4.2
自然が豊か・空気がきれい	70.5	70.0	59.1	54.9	61.9	74.6	78.8	76.8
その他	8.2	4.0	12.1	11.5	12.4	7.6	10.2	3.9
わからない	2.3	4.0	3.0	0.9	3.5	1.7	0.7	3.1
無回答	0.5	-	-	0.9	-	-	-	1.2

職業区分別にみると、自営で「地区の行事を含めて、住民同士が関わりやすい」、「自然が豊か・空気がきれい」、おつとめで「買い物が便利」、家事専業で「個人の自由が確保され、自由に過ごせる」、「自然が豊か・空気がきれい」の割合が全体と比べて高くなっています。

	職業区分			
	全体 n=868	自営 n=102	おつとめ n=392	家事専業 n=357
地区の行事を含めて、住民同士が関わりやすい	22.9	33.3	16.8	26.9
個人の自由が確保され、自由に過ごせる	34.1	38.2	26.3	41.2
就労の場が多い	0.8	—	1.3	0.6
買い物が便利	37.0	31.4	44.1	31.4
レジャー・娯楽施設が多い	0.9	1.0	1.3	0.3
街に賑わいがある	0.8	—	1.5	0.3
医療機関や介護施設が多い	10.7	12.7	7.7	13.2
子育ての支援機関が多い	5.2	4.9	7.4	2.8
交通手段が充実している	1.0	2.9	1.0	0.6
行政サービスの水準が高い	4.0	2.0	4.3	4.5
自然が豊か・空気がきれい	70.5	76.5	62.8	76.5
その他	8.2	9.8	11.0	4.8
わからない	2.3	—	3.1	2.2
無回答	0.5	—	0.3	0.8

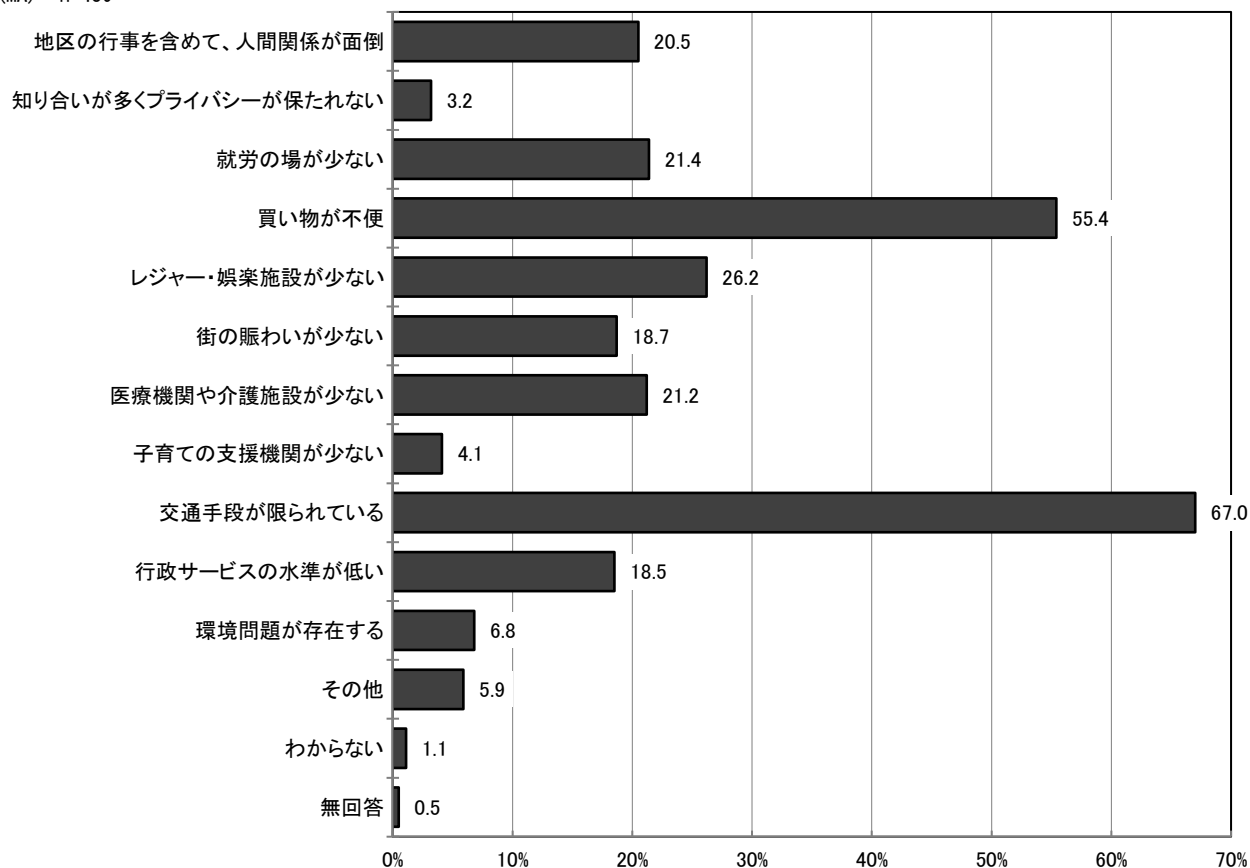
地区別にみると、柳井地区では「買い物が便利」、日積地区では「地区の行事を含めて、住民同士が関わりやすい」、「個人の自由が確保され、自由に過ごせる」、「自然が豊か・空気がきれい」、伊陸地区では「地区の行事を含めて、住民同士が関わりやすい」、「自然が豊か・空気がきれい」、新庄地区では「買い物が便利」、余田地区では「地区の行事を含めて、住民同士が関わりやすい」、伊保庄地区では「買い物が便利」、阿月地区では「地区の行事を含めて、住民同士が関わりやすい」、「自然が豊か・空気がきれい」、平郡地区では「地区の行事を含めて、住民同士が関わりやすい」、「個人の自由が確保され、自由に過ごせる」、「自然が豊か・空気がきれい」、大畠地区では「個人の自由が確保され、自由に過ごせる」、「自然が豊か・空気がきれい」の割合が全体と比べて高くなっています。

	地区									
	全体 n=868	柳井地区 n=172	日積地区 n=73	伊陸地区 n=62	新庄地区 n=112	余田地区 n=80	伊保庄地区 n=110	阿月地区 n=51	平郡地区 n=27	大畠地区 n=101
地区の行事を含めて、住民同士が関わりやすい	22.9	10.5	37.0	29.0	9.8	31.3	14.5	43.1	51.9	26.7
個人の自由が確保され、自由に過ごせる	34.1	27.9	49.3	37.1	24.1	25.0	35.5	35.3	44.4	42.6
就労の場が多い	0.8	1.7	1.4	1.6	1.8	—	—	—	—	—
買い物が便利	37.0	53.5	15.1	24.2	63.4	30.0	42.7	13.7	14.8	28.7
レジャー・娯楽施設が多い	0.9	1.2	—	1.6	1.8	—	0.9	2.0	—	—
街に賑わいがある	0.8	1.7	—	—	—	—	1.8	—	3.7	—
医療機関や介護施設が多い	10.7	12.2	8.2	8.1	8.0	10.0	10.0	17.6	7.4	5.9
子育ての支援機関が多い	5.2	5.8	5.5	8.1	5.4	5.0	6.4	5.9	—	4.0
交通手段が充実している	1.0	1.2	—	3.2	1.8	—	0.9	—	—	1.0
行政サービスの水準が高い	4.0	1.2	2.7	3.2	5.4	6.3	6.4	3.9	7.4	3.0
自然が豊か・空気がきれい	70.5	57.0	80.8	83.9	60.7	62.5	69.1	86.3	92.6	78.2
その他	8.2	8.7	8.2	8.1	8.9	10.0	10.0	3.9	—	9.9
わからない	2.3	2.3	1.4	—	2.7	5.0	0.9	—	—	3.0
無回答	0.5	—	1.4	—	—	1.3	—	2.0	—	—

※問9で「4. どちらかといえば住みにくい」「5. 住みにくい」と選択した方
問9-2 その大きな理由は何ですか。(MA)

「交通手段が限られている」が 67.0%で最も高くなっています。次いで「買い物が不便」が 55.4%、「レジャー・娯楽施設が少ない」が 26.2%で続いています。

(MA) n=439



年齢別にみると、19 歳以下で「レジャー・娯楽施設が少ない」、「子育ての支援機関が少ない」、「交通手段が限られている」、20～29 歳で「就労の場が少ない」、「レジャー・娯楽施設が少ない」、「街の賑わいが少ない」、30～39 歳で「就労の場が少ない」、「レジャー・娯楽施設が少ない」、「街の賑わいが少ない」、「子育ての支援機関が少ない」、40～49 歳で「就労の場が少ない」、「レジャー・娯楽施設が少ない」、「街の賑わいが少ない」、「医療機関や介護施設が少ない」、「子育ての支援機関が少ない」、「行政サービスの水準が低い」、50～59 歳で「地区の行事を含めて、人間関係が面倒」、「就労の場が少ない」、60～69 歳で「地区の行事を含めて、人間関係が面倒」、「交通手段が限られている」、70 歳以上で「買い物が不便」、「交通手段が限られている」の割合が全体と比べて高くなっています。

	年齢							
	全体 n=439	19歳以下 n=17	20～29歳 n=27	30～39歳 n=40	40～49歳 n=55	50～59歳 n=57	60～69歳 n=85	70歳以上 n=149
地区の行事を含めて、人間関係が面倒	20.5	11.8	3.7	17.5	23.6	29.8	25.9	18.1
知り合いが多くプライバシーが保たれない	3.2	—	—	7.5	7.3	3.5	3.5	1.3
就労の場が少ない	21.4	11.8	55.6	32.5	29.1	31.6	20.0	7.4
買い物が不便	55.4	35.3	44.4	40.0	36.4	43.9	56.5	74.5
レジャー・娯楽施設が少ない	26.2	52.9	55.6	50.0	41.8	22.8	20.0	8.7
街の賑わいが少ない	18.7	23.5	40.7	27.5	25.5	15.8	17.6	11.4
医療機関や介護施設が少ない	21.2	11.8	3.7	17.5	27.3	24.6	17.6	23.5
子育ての支援機関が少ない	4.1	11.8	3.7	17.5	10.9	1.8	1.2	—
交通手段が限られている	67.0	88.2	66.7	42.5	54.5	63.2	72.9	73.2
行政サービスの水準が低い	18.5	11.8	11.1	12.5	30.9	19.3	18.8	17.4
環境問題が存在する	6.8	—	3.7	7.5	10.9	3.5	8.2	7.4
その他	5.9	5.9	—	10.0	5.5	5.3	9.4	4.0
わからない	1.1	—	—	—	—	—	—	3.4
無回答	0.5	—	—	—	—	—	1.2	0.7

地区別にみると、柳井地区で「レジャー・娯楽施設が少ない」、「街の賑わいが少ない」、日積地区で「交通手段が限られている」、伊陸地区で「買い物が不便」、「交通手段が限られている」、新庄地区で「就労の場が少ない」、「レジャー・娯楽施設が少ない」、「街の賑わいが少ない」、「医療機関や介護施設が少ない」、「子育ての支援機関が少ない」、「行政サービスの水準が低い」、余田地区で「地区の行事を含めて、人間関係が面倒」、「就労の場が少ない」、「医療機関や介護施設が少ない」、伊保庄地区で「子育ての支援機関が少ない」、「行政サービスの水準が低い」、「環境問題が存在する」、阿月地区で「地区の行事を含めて、人間関係が面倒」、「買い物が不便」、「交通手段が限られている」、「環境問題が存在する」、平郡地区で「買い物が不便」、大畠地区で「買い物が不便」、「街の賑わいが少ない」の割合が全体と比べて高くなっています。

	地区									
	全体 n=439	柳井地区 n=66	日積地区 n=53	伊陸地区 n=61	新庄地区 n=30	余田地区 n=30	伊保庄地区 n=48	阿月地区 n=51	平郡地区 n=16	大畠地区 n=52
地区の行事を含めて、人間関係が面倒	20.5	16.7	18.9	21.3	20.0	30.0	22.9	29.4	6.3	21.2
知り合いが多くプライバシーが保たれない	3.2	4.5	3.8	4.9	—	3.3	4.2	3.9	—	1.9
就労の場が少ない	21.4	22.7	22.6	19.7	26.7	46.7	16.7	17.6	18.8	15.4
買い物が不便	55.4	45.5	58.5	73.8	40.0	46.7	29.2	68.6	68.8	61.5
レジャー・娯楽施設が少ない	26.2	42.4	20.8	21.3	36.7	26.7	27.1	13.7	25.0	17.3
街の賑わいが少ない	18.7	24.2	13.2	19.7	26.7	10.0	18.8	13.7	12.5	28.8
医療機関や介護施設が少ない	21.2	21.2	17.0	18.0	26.7	30.0	25.0	17.6	12.5	19.2
子育ての支援機関が少ない	4.1	3.0	1.9	1.6	10.0	6.7	10.4	—	—	5.8
交通手段が限られている	67.0	56.1	73.6	80.3	53.3	60.0	66.7	72.5	56.3	65.4
行政サービスの水準が低い	18.5	12.1	17.0	11.5	33.3	20.0	31.3	9.8	12.5	23.1
環境問題が存在する	6.8	6.1	7.5	3.3	10.0	—	12.5	11.8	6.3	3.8
その他	5.9	10.6	5.7	6.6	6.7	6.7	6.3	2.0	—	3.8
わからない	1.1	3.0	3.8	—	—	—	—	—	—	1.9
無回答	0.5	—	—	—	—	—	2.1	—	6.3	—

現在の幸福度別にみると、不幸せで「レジャー・娯楽施設が少ない」、「行政サービスの水準が低い」、幸せで「街の賑わいが少ない」の割合が全体と比べて高くなっています。

	現在の幸福度			
	全体 n=439	不幸せ n=123	普通 n=221	幸せ n=88
地区の行事を含めて、人間関係が面倒	20.5	23.6	20.4	17.0
知り合いが多くプライバシーが保たれない	3.2	4.9	2.3	3.4
就労の場が少ない	21.4	22.8	20.4	22.7
買い物が不便	55.4	48.0	57.9	60.2
レジャー・娯楽施設が少ない	26.2	32.5	22.6	25.0
街の賑わいが少ない	18.7	14.6	19.0	23.9
医療機関や介護施設が少ない	21.2	22.8	20.8	19.3
子育ての支援機関が少ない	4.1	4.9	3.6	4.5
交通手段が限られている	67.0	60.2	71.5	67.0
行政サービスの水準が低い	18.5	30.1	15.4	9.1
環境問題が存在する	6.8	8.1	7.7	3.4
その他	5.9	8.1	4.5	6.8
わからない	1.1	1.6	1.4	—
無回答	0.5	—	0.5	1.1

5年後の幸福度別にみると、不幸せで「行政サービスの水準が低い」の割合が全体と比べて高くなっています。

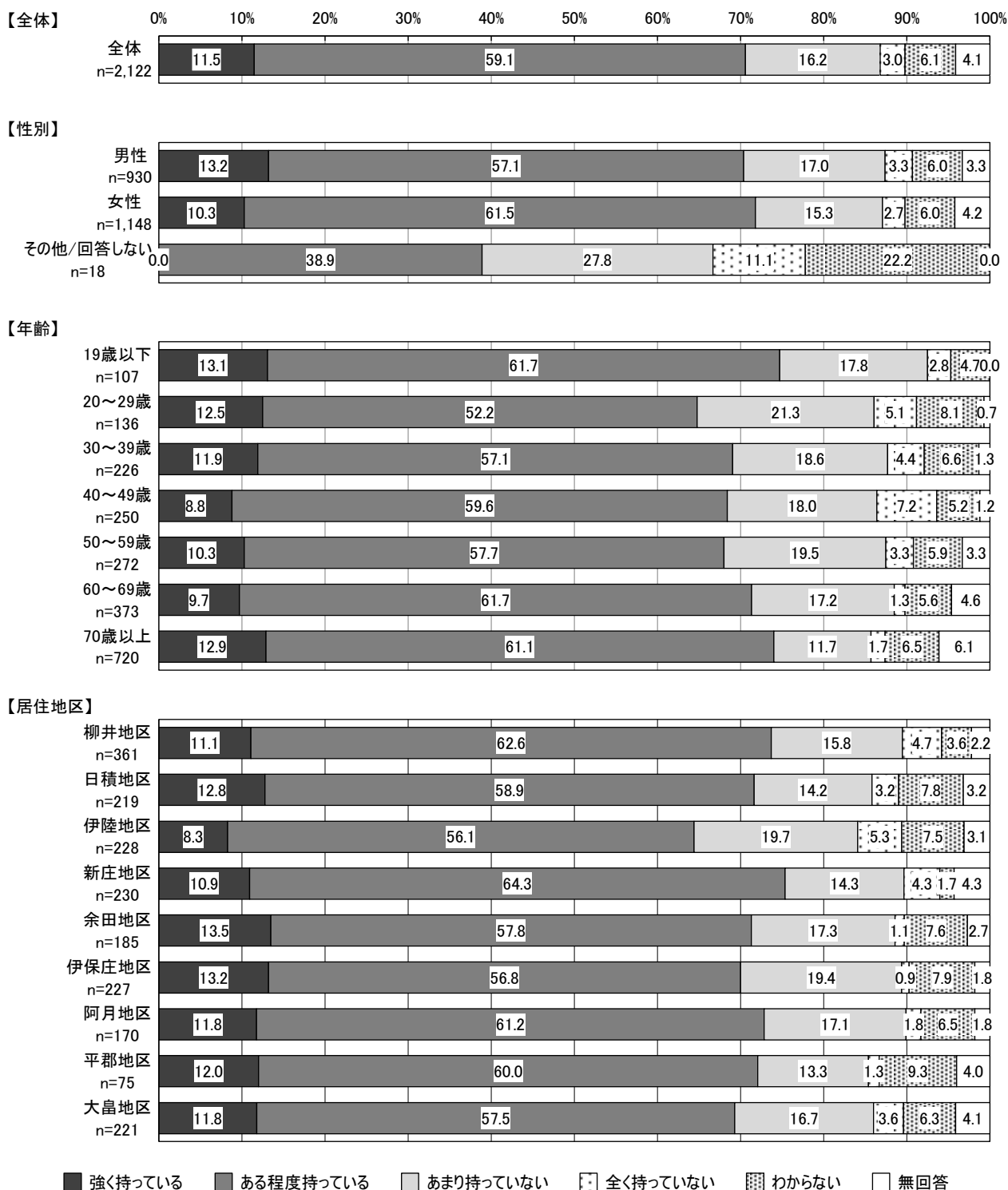
	5年後の幸福度			
	全体 n=439	不幸せ n=160	普通 n=200	幸せ n=72
地区の行事を含めて、人間関係が面倒	20.5	22.5	19.0	19.4
知り合いが多くプライバシーが保たれない	3.2	3.1	2.0	5.6
就労の場が少ない	21.4	25.6	19.0	20.8
買い物が不便	55.4	49.4	59.5	54.2
レジャー・娯楽施設が少ない	26.2	30.6	23.0	27.8
街の賑わいが少ない	18.7	15.6	20.0	23.6
医療機関や介護施設が少ない	21.2	19.4	24.5	15.3
子育ての支援機関が少ない	4.1	3.1	5.5	2.8
交通手段が限られている	67.0	62.5	68.5	69.4
行政サービスの水準が低い	18.5	30.0	11.5	11.1
環境問題が存在する	6.8	6.9	8.5	2.8
その他	5.9	6.3	5.5	6.9
わからない	1.1	1.9	1.0	—
無回答	0.5	—	—	2.8

暮らしの満足度別にみると、不満足で「行政サービスの水準が低い」、満足で「買い物が不便」の割合が全体と比べて高くなっています。

	暮らしの満足度			
	全体 n=439	不満足 n=225	普通 n=185	満足 n=26
地区の行事を含めて、人間関係が面倒	20.5	23.1	18.9	11.5
知り合いが多くプライバシーが保たれない	3.2	4.0	2.7	—
就労の場が少ない	21.4	21.8	21.6	19.2
買い物が不便	55.4	52.0	57.3	65.4
レジャー・娯楽施設が少ない	26.2	28.9	23.2	26.9
街の賑わいが少ない	18.7	18.2	18.9	23.1
医療機関や介護施設が少ない	21.2	20.0	24.3	7.7
子育ての支援機関が少ない	4.1	6.2	2.2	—
交通手段が限られている	67.0	66.7	67.0	65.4
行政サービスの水準が低い	18.5	25.3	10.3	11.5
環境問題が存在する	6.8	6.2	8.1	3.8
その他	5.9	6.2	5.4	7.7
わからない	1.1	1.3	1.1	—
無回答	0.5	—	0.5	3.8

問 10 柳井市に愛着を持っていますか。(SA)

「ある程度持っている」が 59.1%で最も高くなっています。次いで「あまり持っていない」が 16.2%、「強く持っている」が 11.5%で続いています。愛着を持っている層(「強く持っている」+「ある程度持っている」)は7割以上となっています。



現在の幸福度別にみると、不幸せで「あまり持っていない」、「全く持っていない」、幸せで「強く持っている」、「ある程度持っている」の割合が高く、現在の幸福度が高いほど愛着を持っている層の割合も高くなっています。

	現在の幸福度			
	全体 n=2,122	不幸せ n=182	普通 n=867	幸せ n=995
強く持っている	11.5	3.8	5.2	18.8
ある程度持っている	59.1	30.8	60.6	65.9
あまり持っていない	16.2	38.5	21.7	8.0
全く持っていない	3.0	18.1	2.2	1.2
わからない	6.1	8.2	8.3	3.8
無回答	4.1	0.5	2.1	2.2

5年後の幸福度別にみると、不幸せで「あまり持っていない」、「全く持っていない」、幸せで「強く持っている」の割合が全体と比べて高く、5年後の幸福度が高いほど愛着を持っている層の割合も高くなっています。

	5年後の幸福度			
	全体 n=2,122	不幸せ n=297	普通 n=897	幸せ n=845
強く持っている	11.5	3.7	6.8	19.6
ある程度持っている	59.1	43.1	62.8	63.8
あまり持っていない	16.2	32.3	19.1	8.5
全く持っていない	3.0	11.1	1.9	1.7
わからない	6.1	8.4	7.6	4.0
無回答	4.1	1.3	1.9	2.4

暮らしの満足度別にみると、不満足で「あまり持っていない」、「全く持っていない」、満足で「強く持っている」、「ある程度持っている」の割合が全体と比べて高く、暮らしの満足度が高いほど愛着を持っている層の割合も高くなっています。

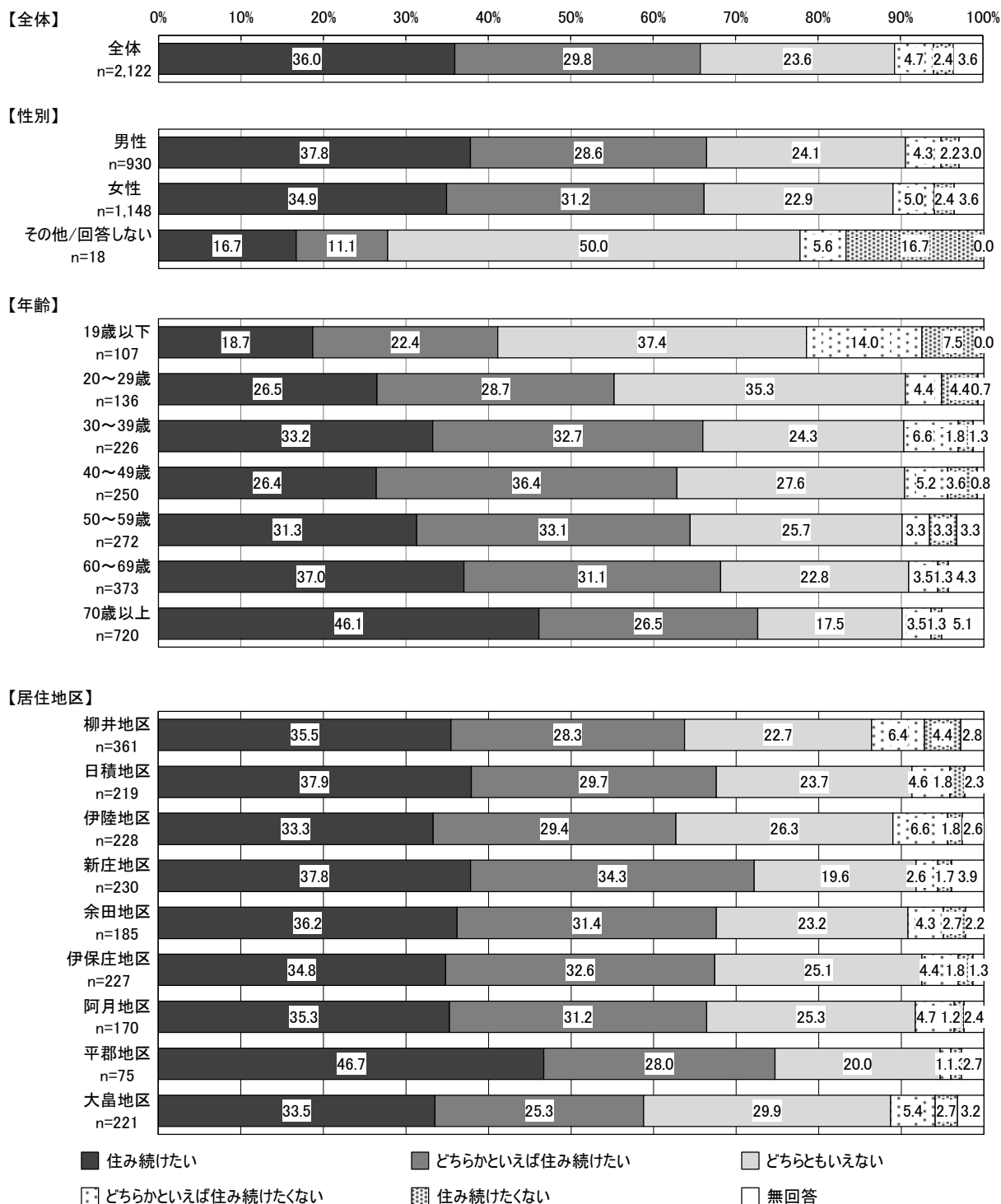
	暮らしの満足度			
	全体 n=2,122	不満足 n=359	普通 n=930	満足 n=758
強く持っている	11.5	3.3	5.9	22.8
ある程度持っている	59.1	35.1	64.8	66.6
あまり持っていない	16.2	39.8	17.4	4.7
全く持っていない	3.0	12.3	1.7	0.5
わからない	6.1	8.6	8.1	2.6
無回答	4.1	0.8	2.0	2.6

問 11 柳井市にこれからも住みたいと思いますか。(SA)

「住みたい」が 36.0%で最も高くなっています。次いで「どちらかといえば住みたい」が 29.8%、「どちらともいえない」が 23.6%で続いています。住みたい層(「住みたい」+「どちらかといえば住みたい」)は6割以上となっています。

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにつれて、住みたい層の割合が高くなっています。

地区別にみると、新庄地区と平郡地区で住みたい層の割合が高くなっています。



現在の幸福度別にみると、不幸せで「どちらともいえない」、「どちらかといえば住み続けたくない」、「住み続けたくない」、幸せで「住み続けたい」の割合が全体と比べて高くなっています。

	現在の幸福度			
	全体 n=2,122	不幸せ n=182	普通 n=867	幸せ n=995
住み続けたい	36.0	10.4	25.6	50.8
どちらかといえば住み続けたい	29.8	17.0	33.8	30.3
どちらともいえない	23.6	39.0	32.4	14.1
どちらかといえば住み続けたくない	4.7	20.9	4.3	2.2
住み続けたくない	2.4	11.0	2.5	0.9
無回答	3.6	1.6	1.4	1.8

5年後の幸福度別にみると、不幸せで「どちらともいえない」、「どちらかといえば住み続けたくない」、「住み続けたくない」、幸せで「住み続けたい」の割合が全体と比べて高くなっています。

	5年後の幸福度			
	全体 n=2,122	不幸せ n=297	普通 n=897	幸せ n=845
住み続けたい	36.0	15.5	29.1	51.5
どちらかといえば住み続けたい	29.8	23.9	34.6	28.8
どちらともいえない	23.6	38.7	28.9	14.1
どちらかといえば住み続けたくない	4.7	12.8	4.3	2.2
住み続けたくない	2.4	7.7	1.9	1.3
無回答	3.6	1.3	1.2	2.1

暮らしの満足度別にみると、不満足で「どちらともいえない」、「どちらかといえば住み続けたくない」、「住み続けたくない」、普通で「どちらかといえば住み続けたい」、満足で「住み続けたい」の割合が全体と比べて高くなっています。

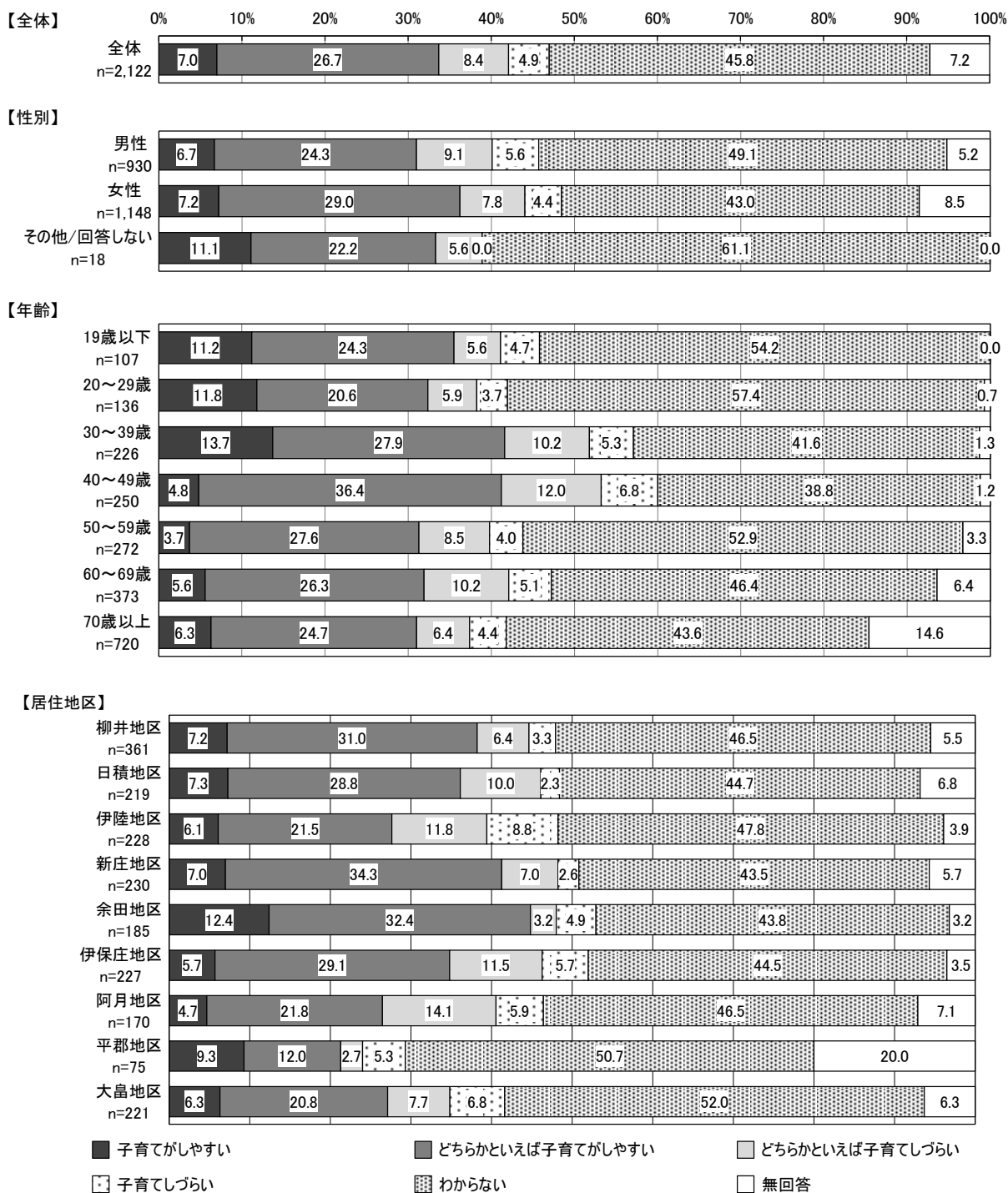
	暮らしの満足度			
	全体 n=2,122	不満足 n=359	普通 n=930	満足 n=758
住み続けたい	36.0	12.8	28.3	58.0
どちらかといえば住み続けたい	29.8	18.9	36.5	28.5
どちらともいえない	23.6	43.2	28.5	9.8
どちらかといえば住み続けたくない	4.7	14.2	4.3	0.9
住み続けたくない	2.4	9.7	1.2	0.5
無回答	3.6	1.1	1.3	2.2

問 12 柳井市は子育てがしやすいまちですか。(SA)

「わからない」が45.8%で最も高くなっています。次いで「どちらかといえば子育てがしやすい」が26.7%となっています。子育てしやすい層(「子育てがしやすい」+「どちらかといえば子育てがしやすい」)は3割以上となっています。

年齢別にみると、30～39歳と40～49歳で子育てしやすい層の割合が高くなっています。

地区別にみると、新庄地区と余田地区で子育てしやすい層の割合が高くなっています。



現在の幸福度別にみると、不幸せで「子育てしづらい」、「わからない」、幸せで「子育てがしやすい」、「どちらかといえば子育てがしやすい」の割合が全体と比べて高く、現在の幸福度が高いほど子育てしやすい層の割合も高くなっています。

	現在の幸福度			
	全体 n=2,122	不幸せ n=182	普通 n=867	幸せ n=995
子育てがしやすい	7.0	0.5	3.0	12.0
どちらかといえば子育てがしやすい	26.7	12.1	20.1	36.6
どちらかといえば子育てしづらい	8.4	10.4	11.4	5.9
子育てしづらい	4.9	17.0	5.2	2.5
わからない	45.8	53.8	55.0	38.5
無回答	7.2	6.0	5.3	4.5

5年後の幸福度別にみると、不幸せで「子育てしづらい」、「わからない」、幸せで「子育てがしやすい」、「どちらかといえば子育てがしやすい」の割合が全体と比べて高く、5年後の幸福度が高いほど子育てしやすい層の割合も高くなっています。

	5年後の幸福度			
	全体 n=2,122	不幸せ n=297	普通 n=897	幸せ n=845
子育てがしやすい	7.0	1.7	3.5	13.1
どちらかといえば子育てがしやすい	26.7	16.2	21.6	37.4
どちらかといえば子育てしづらい	8.4	10.4	10.4	6.2
子育てしづらい	4.9	14.1	3.9	2.7
わからない	45.8	52.2	55.3	36.3
無回答	7.2	5.4	5.4	4.3

暮らしの満足度別にみると、不満足で「どちらかといえば子育てしづらい」、「子育てしづらい」、満足で「子育てがしやすい」、「どちらかといえば子育てがしやすい」の割合が全体と比べて高く、暮らしの満足度が高いほど子育てしやすい層の割合も高くなっています。

	暮らしの満足度			
	全体 n=2,122	不満足 n=359	普通 n=930	満足 n=758
子育てがしやすい	7.0	2.2	3.3	14.2
どちらかといえば子育てがしやすい	26.7	12.8	27.0	34.7
どちらかといえば子育てしづらい	8.4	13.4	10.6	4.1
子育てしづらい	4.9	16.4	3.8	1.1
わからない	45.8	50.1	50.3	40.5
無回答	7.2	5.0	4.9	5.4

※問12で「3. どちらかといえば子育てしづらい」「4. 子育てしづらい」を選択した方
問12-1 どのような理由で「子育てしづらい」と思われますか。

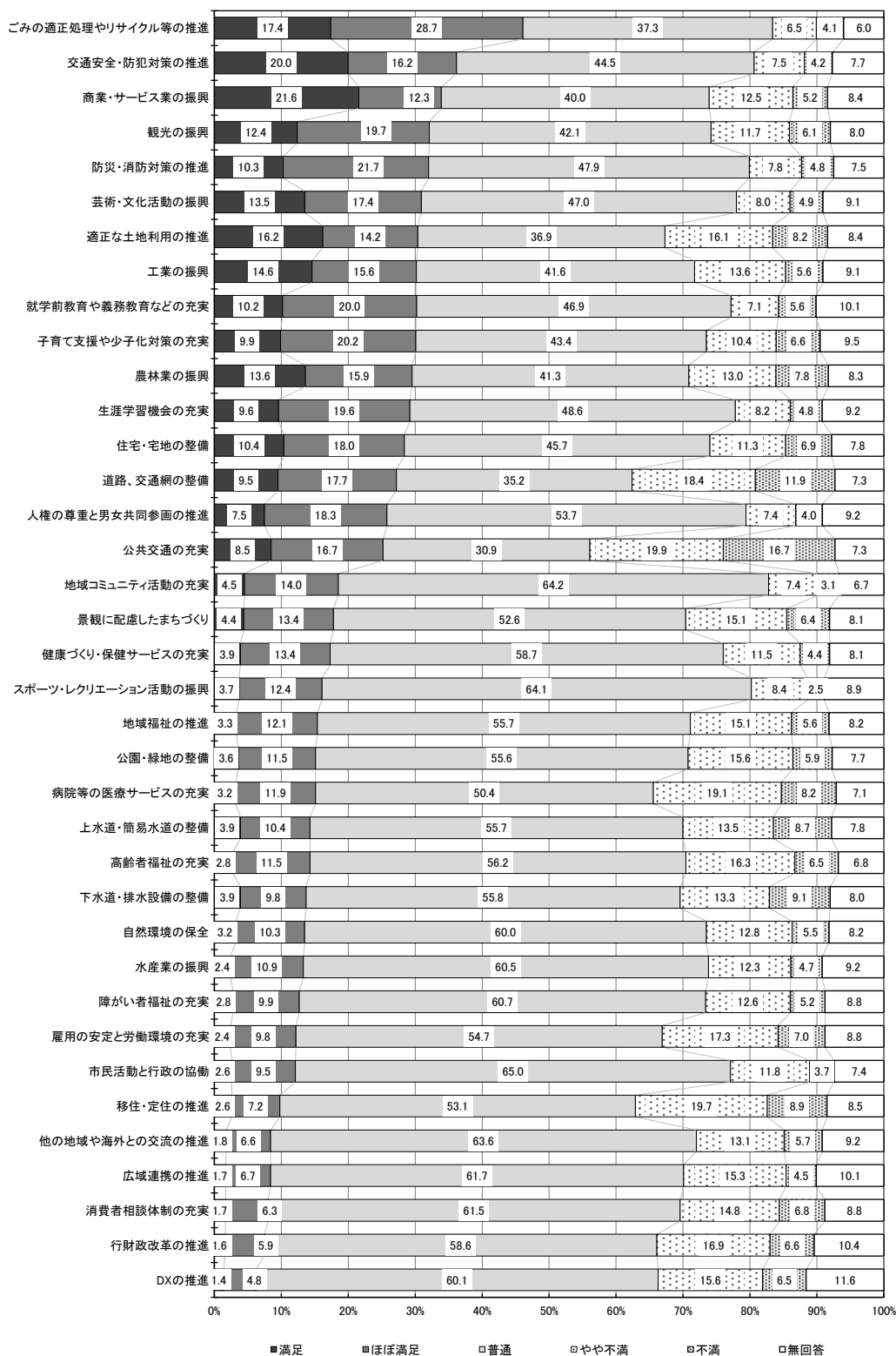
項目	内容	件数
学校	学校が遠い	10
	通学路が非常に危ない、心配	6
	通学が不便	6
	学校が少ない	5
	通学時間が長い	2
	送迎が必要	2
	教育環境が悪い、複式学級で教育レベルが低くなる	2
	小学校、中学校問題	2
	学校の規則が複雑	1
少子化	子どもが少ない	25
	同年代の子どもが少なく友達もできにくい	5
	子ども同士で成長しあえる場が少ない	1
遊び場	遊ぶところがない	9
	室内での遊び場が少ない	6
	公園も大小あっても小さい子どもを連れて遊びにくい	3
	公園などの遊び場が少ない	3
	娯楽施設がない	3
	他の市と比べて遊び場が豊富だけど、一カ所集中しすぎ	1
	ブルが高い	1
交通	交通の便が悪い	15
	道路状態が悪くベビーカーでとても危ない	2
	JR駅までの公共交通機関が少ない	2
	ガードレールのない道路も多く危険	1
	自家用車がないと行動できない	1
	自動運転バスなど市内を安価で移動できる交通手段がない	1
	交通量が増えた道路に対策がされていない	1
	伊陸から柳井に出るトンネルと自転車道をつくった方がいい	1
医療機関	小児科が少ない	8
	夜間、休日などの救急対応の病院が遠い	4
	病院が少ない	4
	産科がない	2
	伊陸から病院に連れて行きづらい	1
支援	おむつ、給食など経済的支援をもっとしてほしい	5
	公共の子育て支援の施設、子ども用のトイレなどがあると良い	4
	支援体制が不十分、市民の意見を聞くべき	3
	子育てのイベントなどもっと増やしてほしい	2
	困った時相談する場所がわからない	1
託児	子どもを預ける場所がない、少ない	5
	学童保育、児童クラブ、保育園の預かり時間が不満	3
	保育園入園に必要な情報が少なすぎる	1
	保育園が遠い	1
教育	教育機関が乏しい	4
	子どもの習いごとが少ない	2
	塾に行くとき送迎が必要	1
	教育現場の質、量が少ない、低い	1
	図書館も遠い	1
買い物	商店が少ない	3
	近くにスーパーもない、買い物不便	2
	大きなショッピングモールがない	1
	買物へ行くと子連れの人が少ないので肩身の狭い思いをする	1
若者	空き家が多く若者も少ない	4
	年寄りが多く若い人が少ない	2
	若者が働く場所が少ない	1
病児対応	病児保育がない	4
	病児保育できる病院がない	1
人間関係	村社会的なところがあり、人間関係を築くことが難しい	3
	子を持つ親に対してもう少し寛容になってお互いに思いやりをもちたい	1
行政	窓口担当が他部機能の施策を理解していない、市民に十分に知らせていない、相談の入り口もない	1
	リサーチ能力に乏しく住民の求めているものの理解が不十分のため、行政の支援サービスが遅い	1
	相談しても総合的最適手段が得られず担当する行政窓口の本気度が全くないと感じる	1
	市職員や市議などは市民の意見を聞く場をもっとつくるべき	1
親同士	親同士のコミュニケーションの場が少ない	2
	子育てをしている人が近くに住んでいないので孤独感がある	1
職	希望する就職先が見当たらない	2
	仕事の選択肢が少ない	1
その他		10
意見総数		363

問 13① あなたが感じている現在の満足度をお聞かせください(各SA)

満足度(「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合)が高い項目は、高い順に『ごみの適正処理やリサイクル等の推進』『交通安全・防犯対策の推進』『商業・サービス業の振興』となっています。

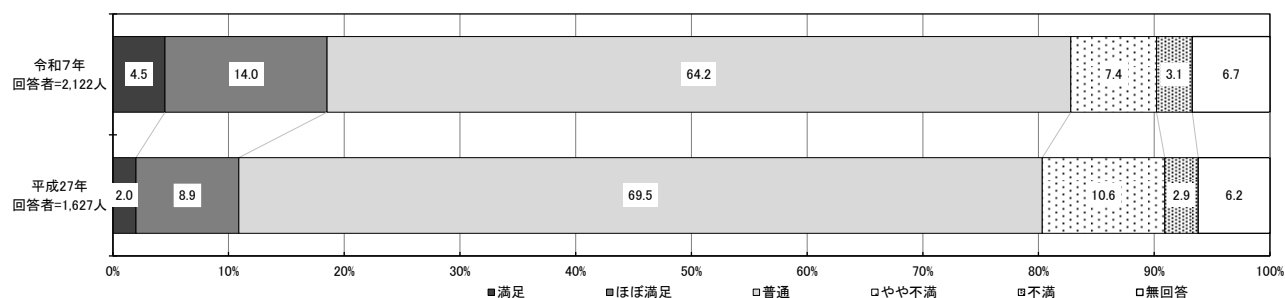
不満足(「不満」「やや不満」を合わせた割合)が高い項目は、高い順に『公共交通の充実』『道路、交通網の整備』『移住・定住の推進』となっています。

n=2, 122



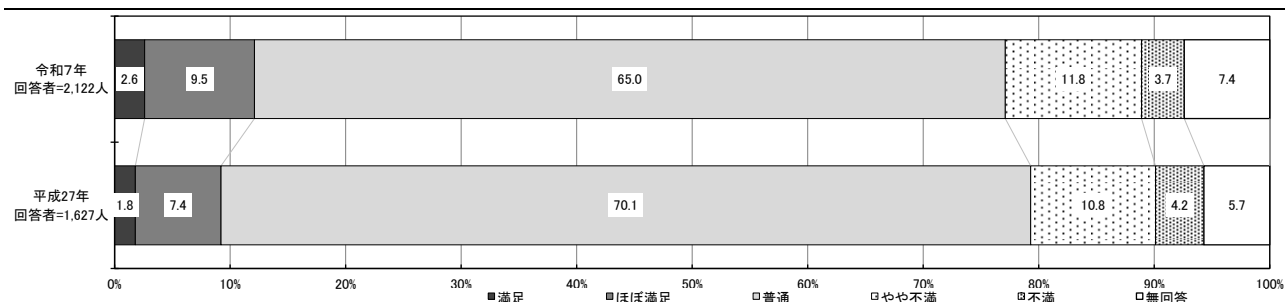
◆地域コミュニティ活動の充実（満足度）

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



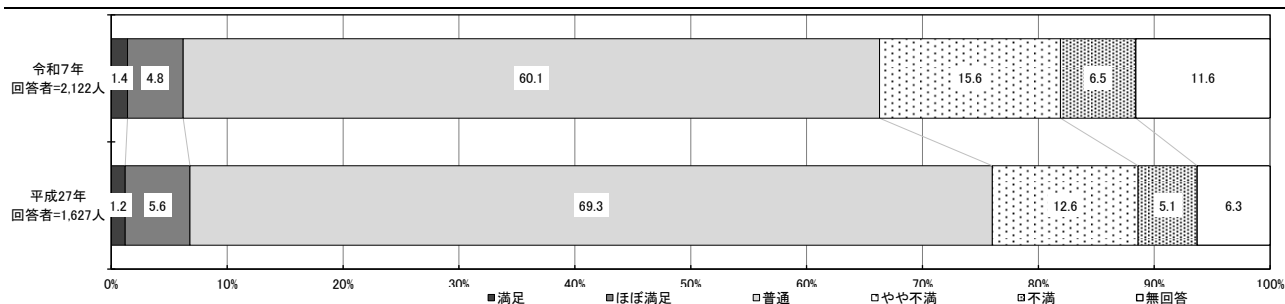
◆市民活動と行政の協働（満足度）

前回調査と概ね同様の傾向となっています。



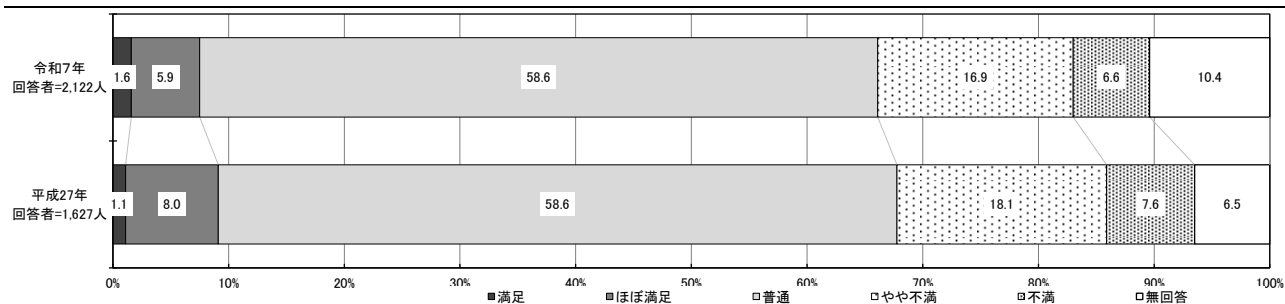
◆DXの推進（満足度）※前回は情報化の推進

前回調査と概ね同様の傾向となっています。



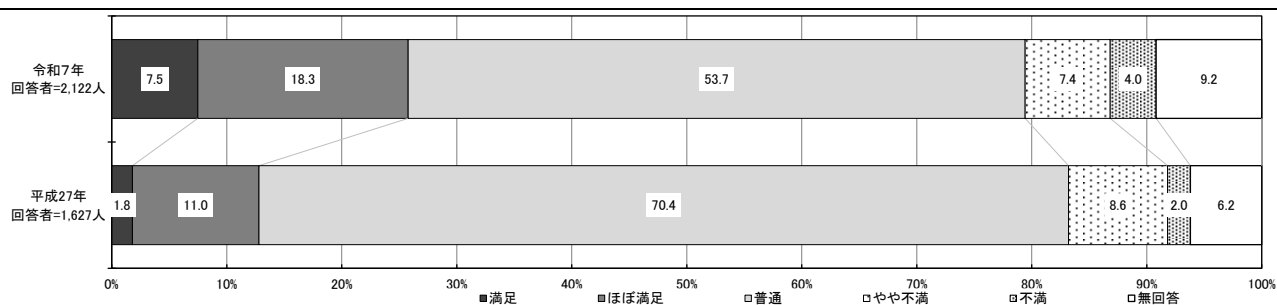
◆行財政改革の推進（満足度）

前回調査と概ね同様の傾向となっています。



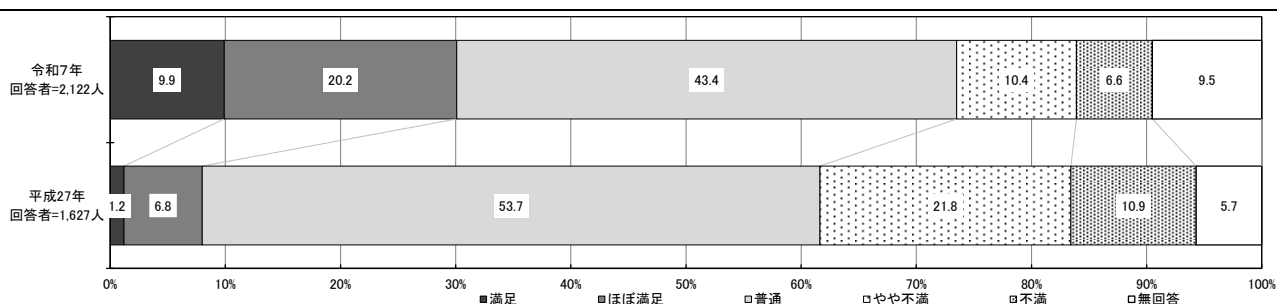
◆人権の尊重と男女共同参画の推進(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



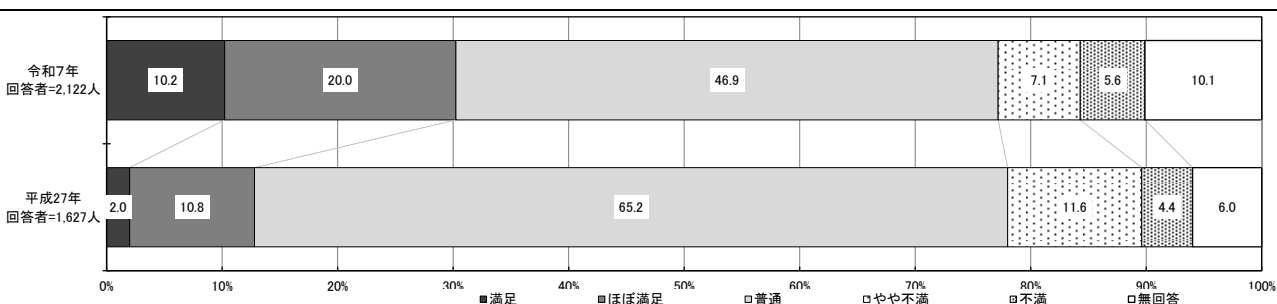
◆子育て支援や少子化対策の充実(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



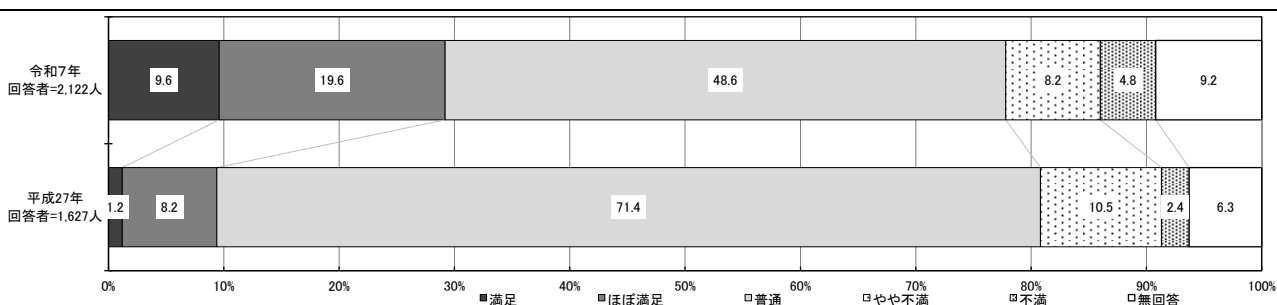
◆就学前教育や義務教育などの充実(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



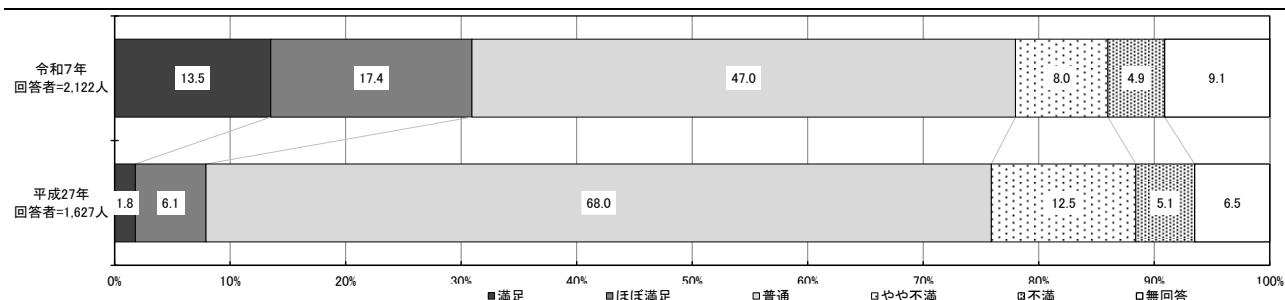
◆生涯学習機会の充実(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



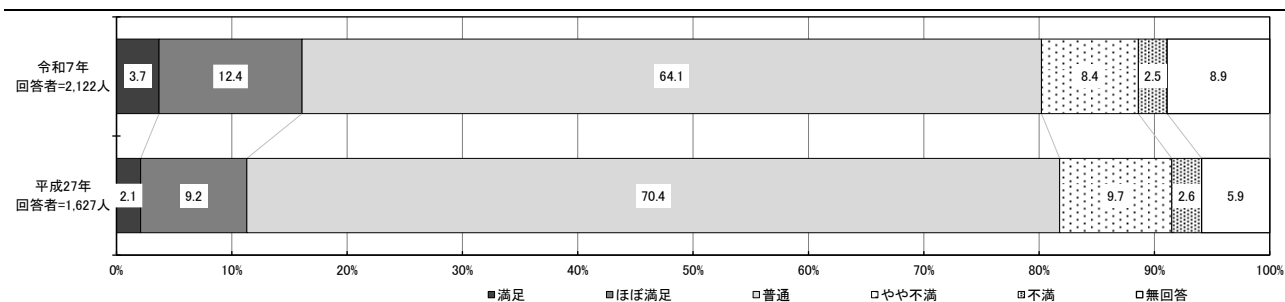
◆芸術・文化活動の振興(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



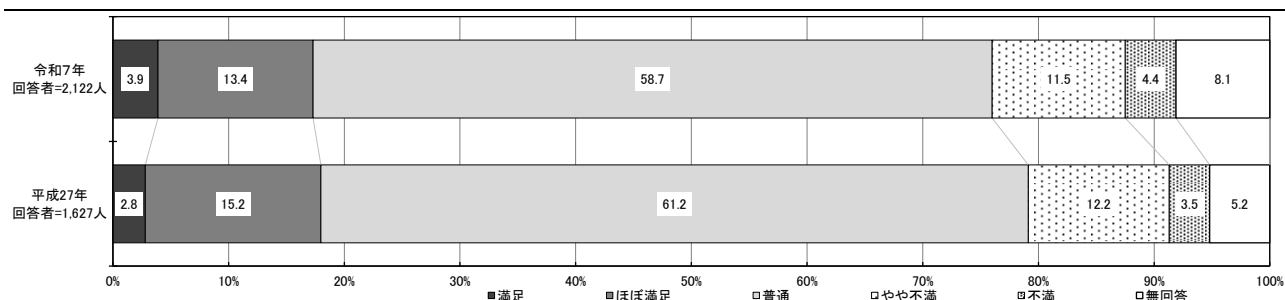
◆スポーツ・レクリエーション活動の振興(満足度)

前回調査と概ね同様の傾向となっています。



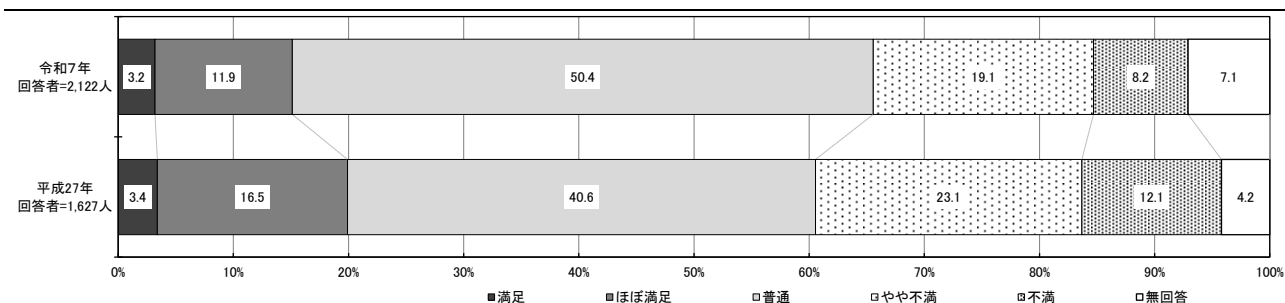
◆健康づくり・保健サービスの充実(満足度)

前回調査と概ね同様の傾向となっています。



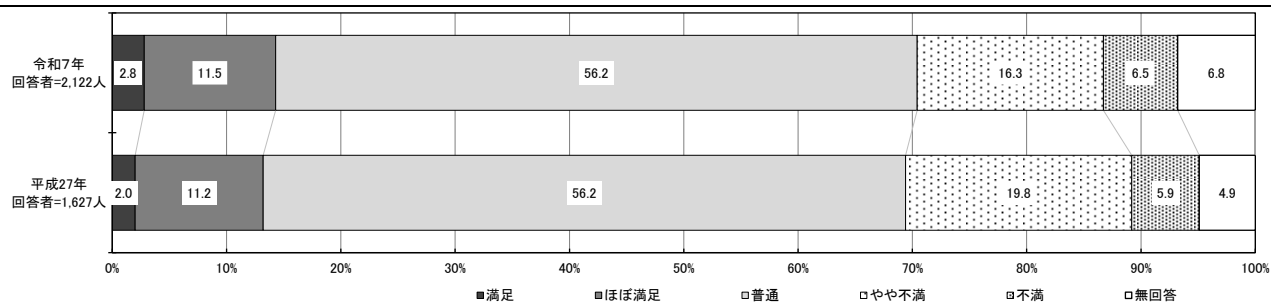
◆病院等の医療サービスの充実(満足度)

前回調査と概ね同様の傾向となっています。



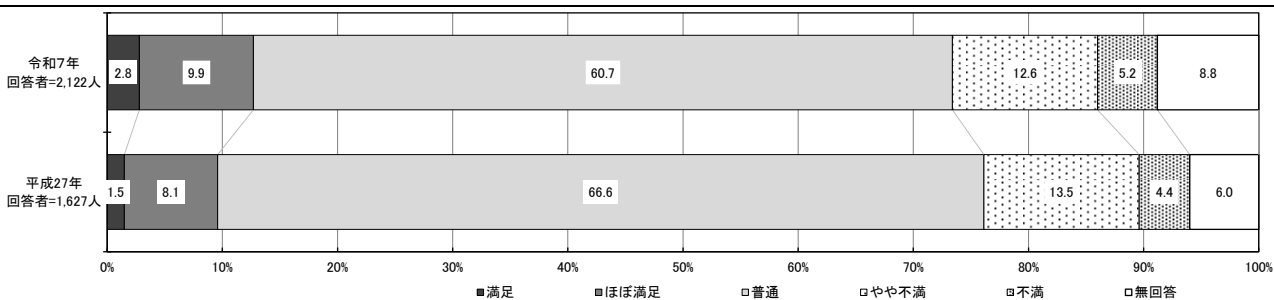
◆高齢者福祉の充実(満足度)

前回調査と概ね同様の傾向となっています。



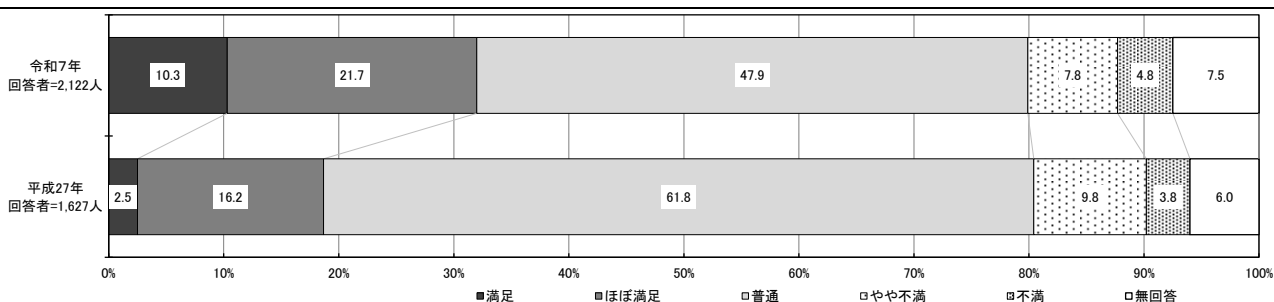
◆障がい者福祉の充実(満足度)

前回調査と概ね同様の傾向となっています。



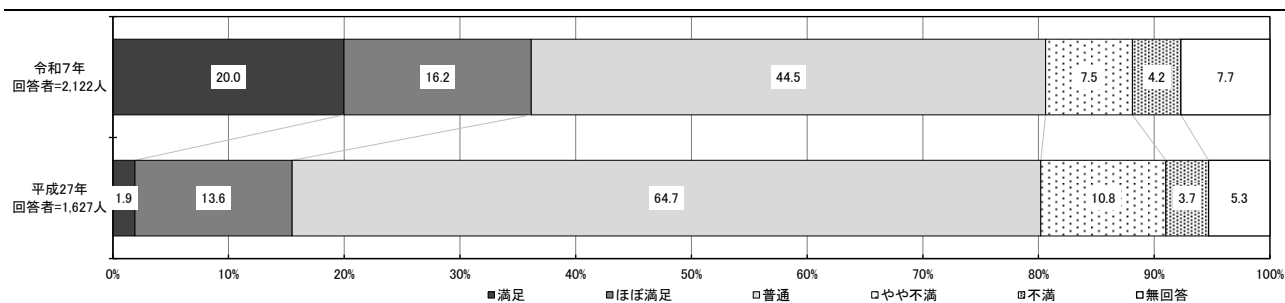
◆防災・消防対策の推進(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



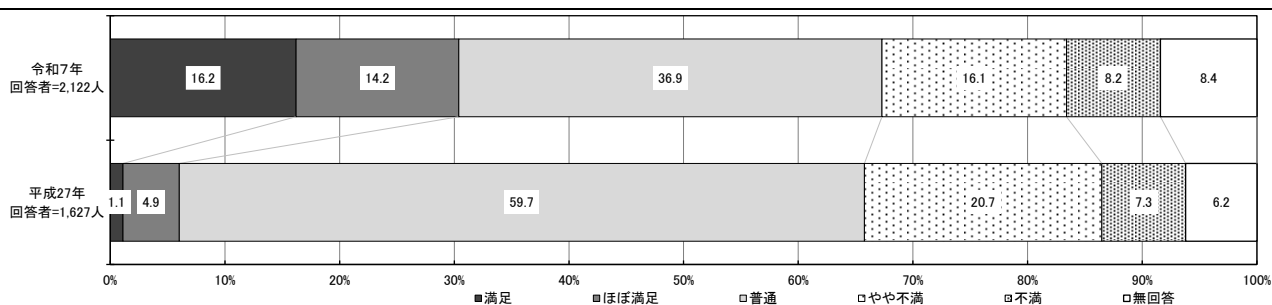
◆交通安全・防犯対策の推進(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



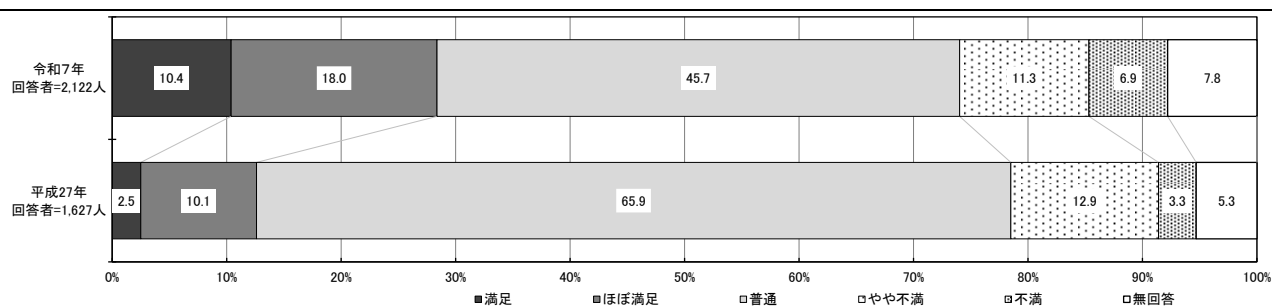
◆適正な土地利用の推進(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



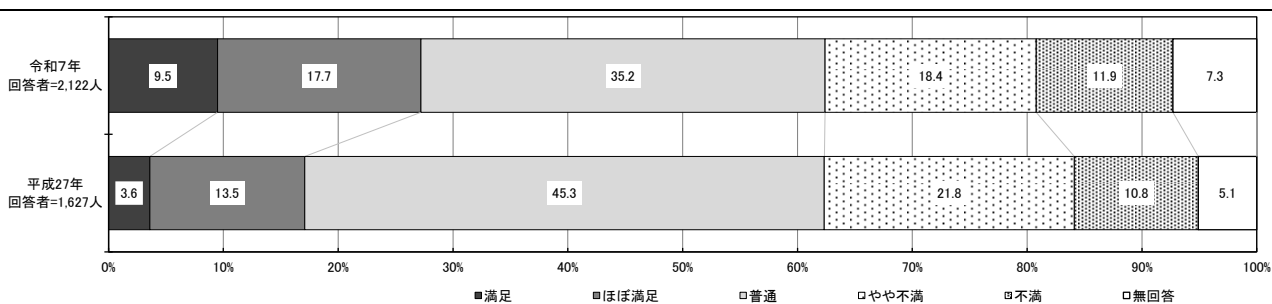
◆住宅・宅地の整備(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



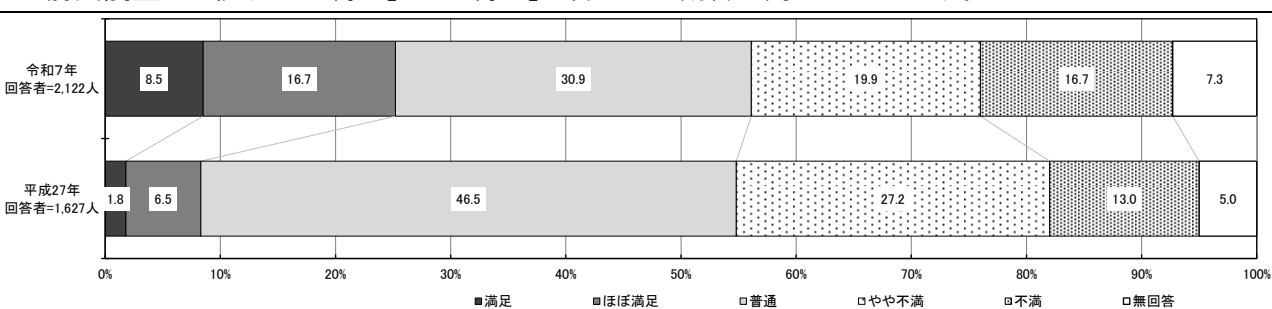
◆道路、交通網の整備(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



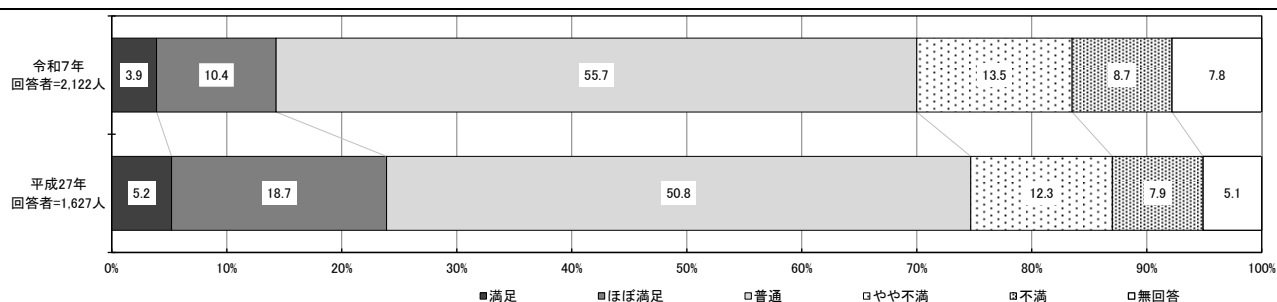
◆公共交通の充実(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



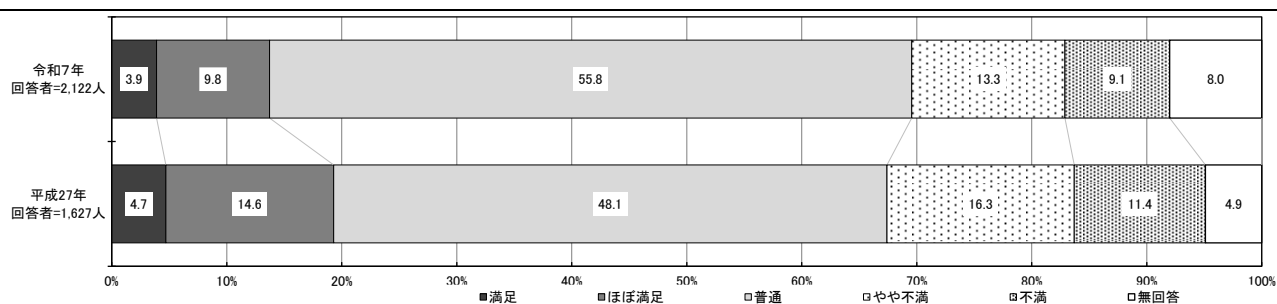
◆上水道・簡易水道の整備(満足度)

前回調査と比較すると「普通」の割合が高くなっています。



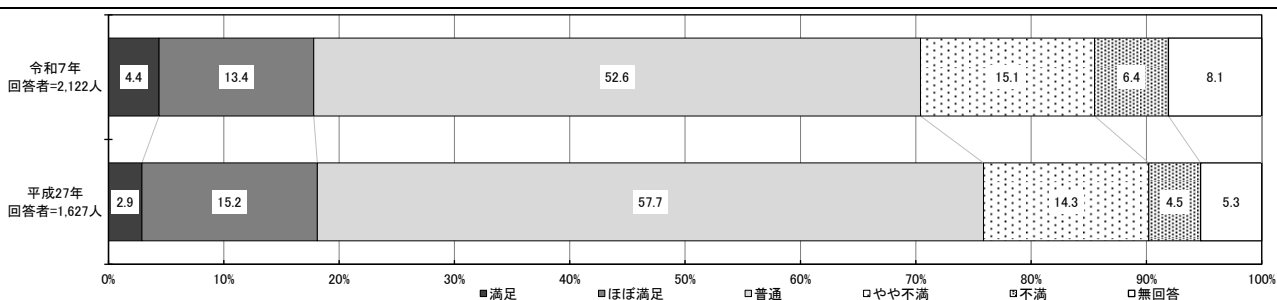
◆下水道・排水設備の整備(満足度)

前回調査と比較すると「不満」「やや不満」を合わせた割合と「普通」の割合が高くなっています。



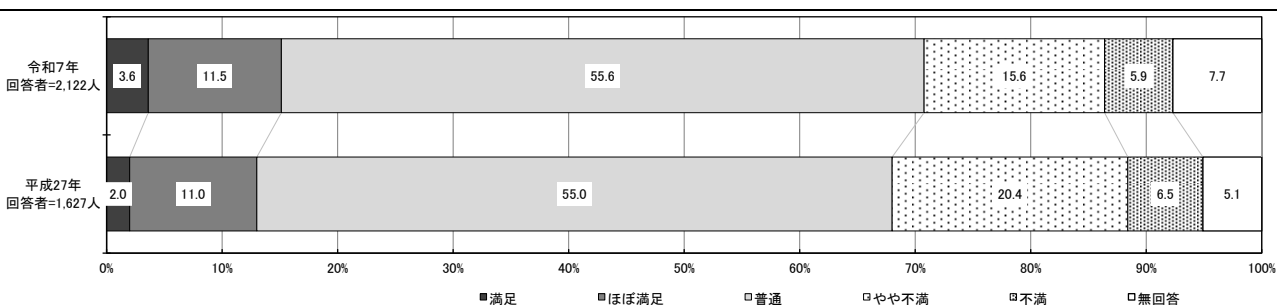
◆景観に配慮したまちづくり(満足度)

前回調査と概ね同様の傾向となっています。



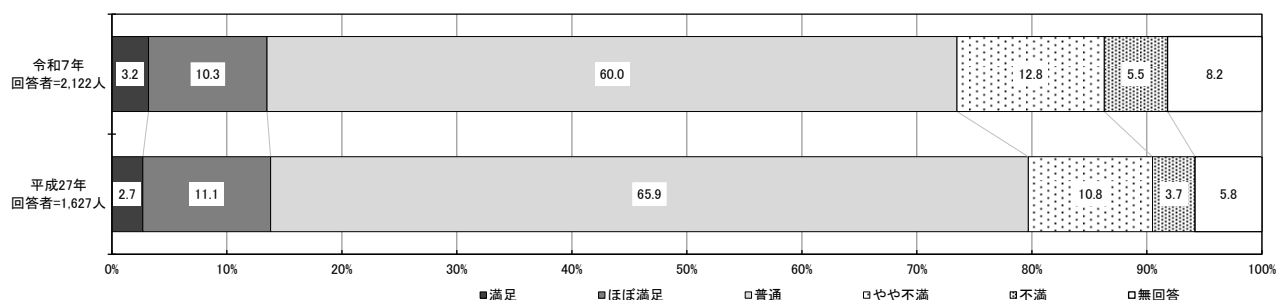
◆公園・緑地の整備(満足度)

前回調査と比較すると「不満」「やや不満」を合わせた割合が高くなっています。



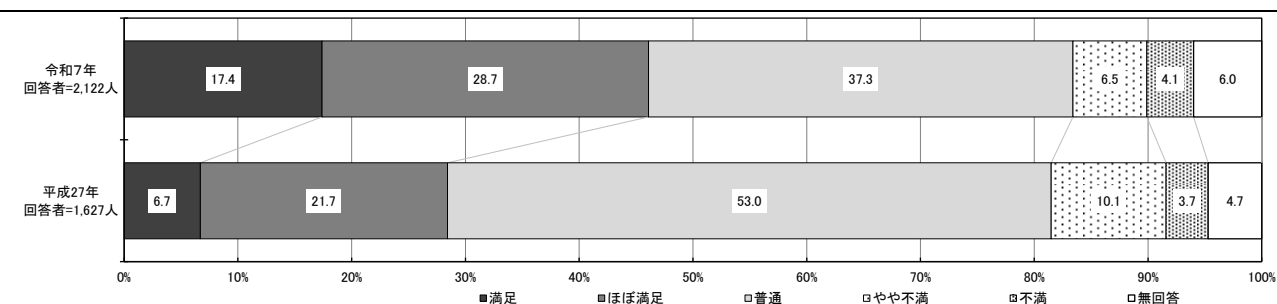
◆自然環境の保全(満足度)

前回調査と比較すると「普通」の割合が低くなっています。



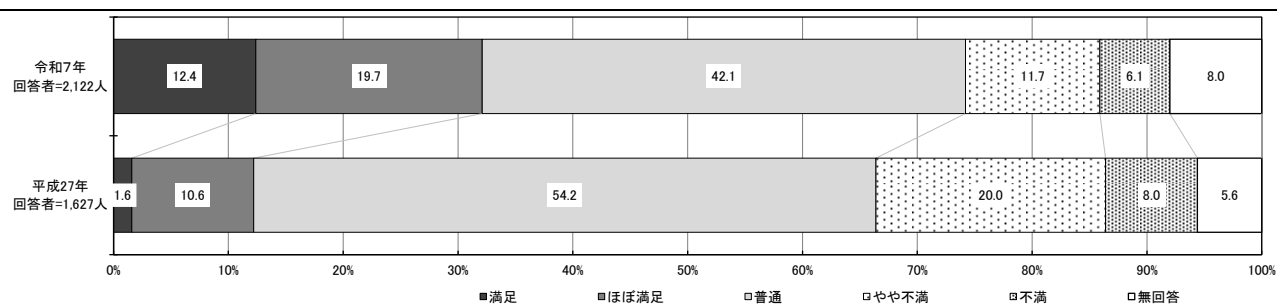
◆ごみの適正処理やリサイクル等の推進(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



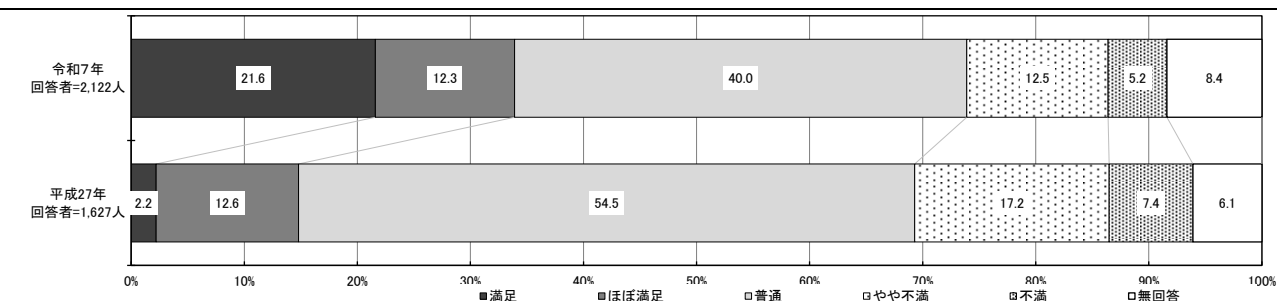
◆観光の振興(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



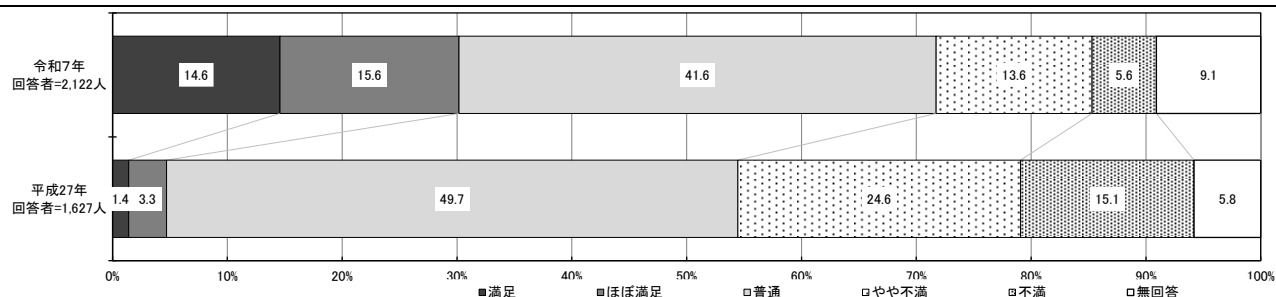
◆商業・サービス業の振興(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



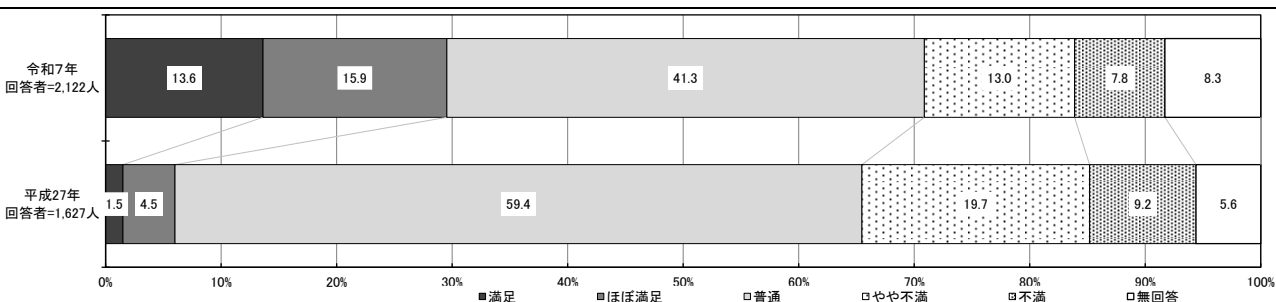
◆工業の振興(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



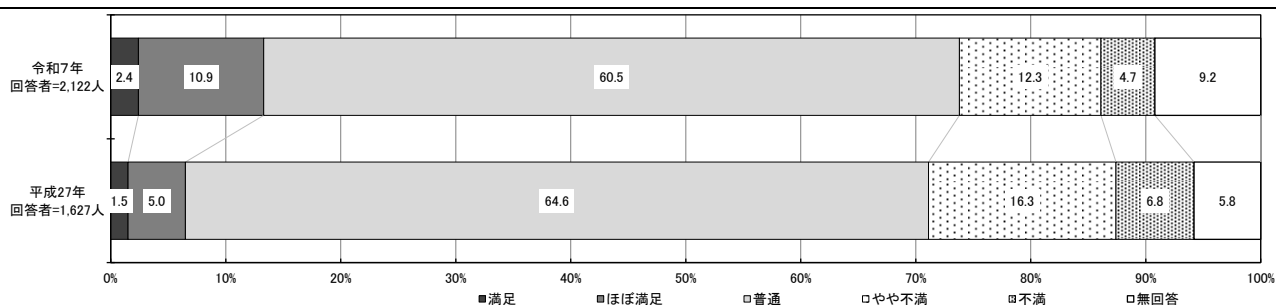
◆農林業の振興(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



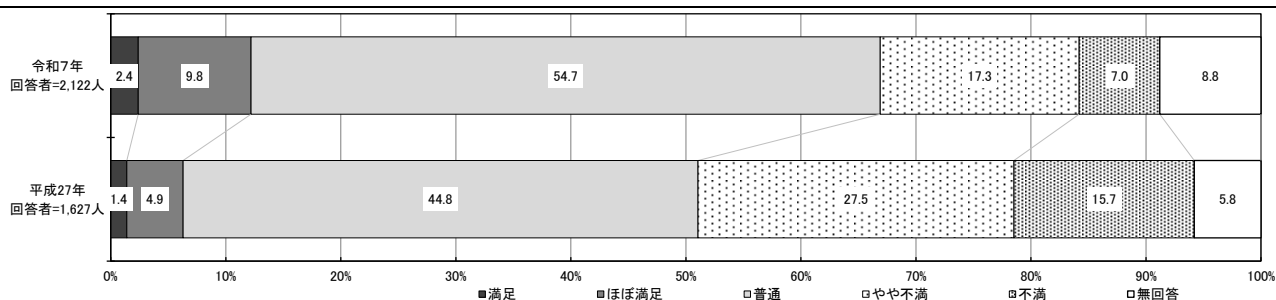
◆水産業の振興(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



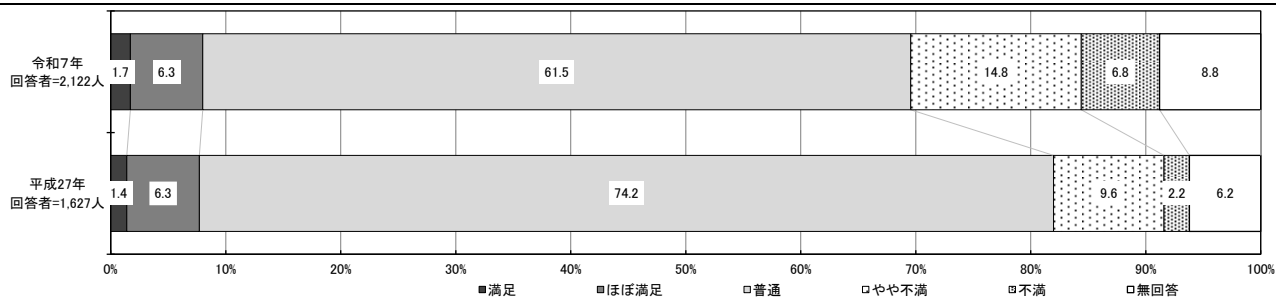
◆雇用の安定と労働環境の充実(満足度)

前回調査と比較すると「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高くなっています。



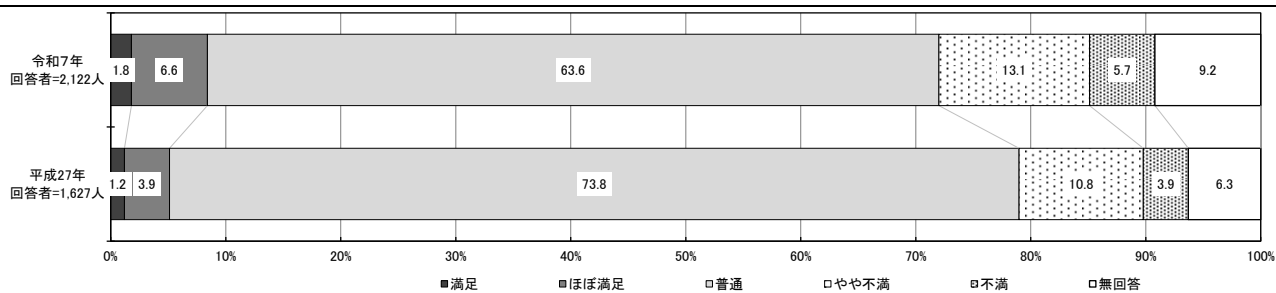
◆消費者相談体制の充実(満足度)

前回調査と比較すると「不満」「やや不満」を合わせた割合が高くなっています。



◆他の地域や海外との交流の推進(満足度)

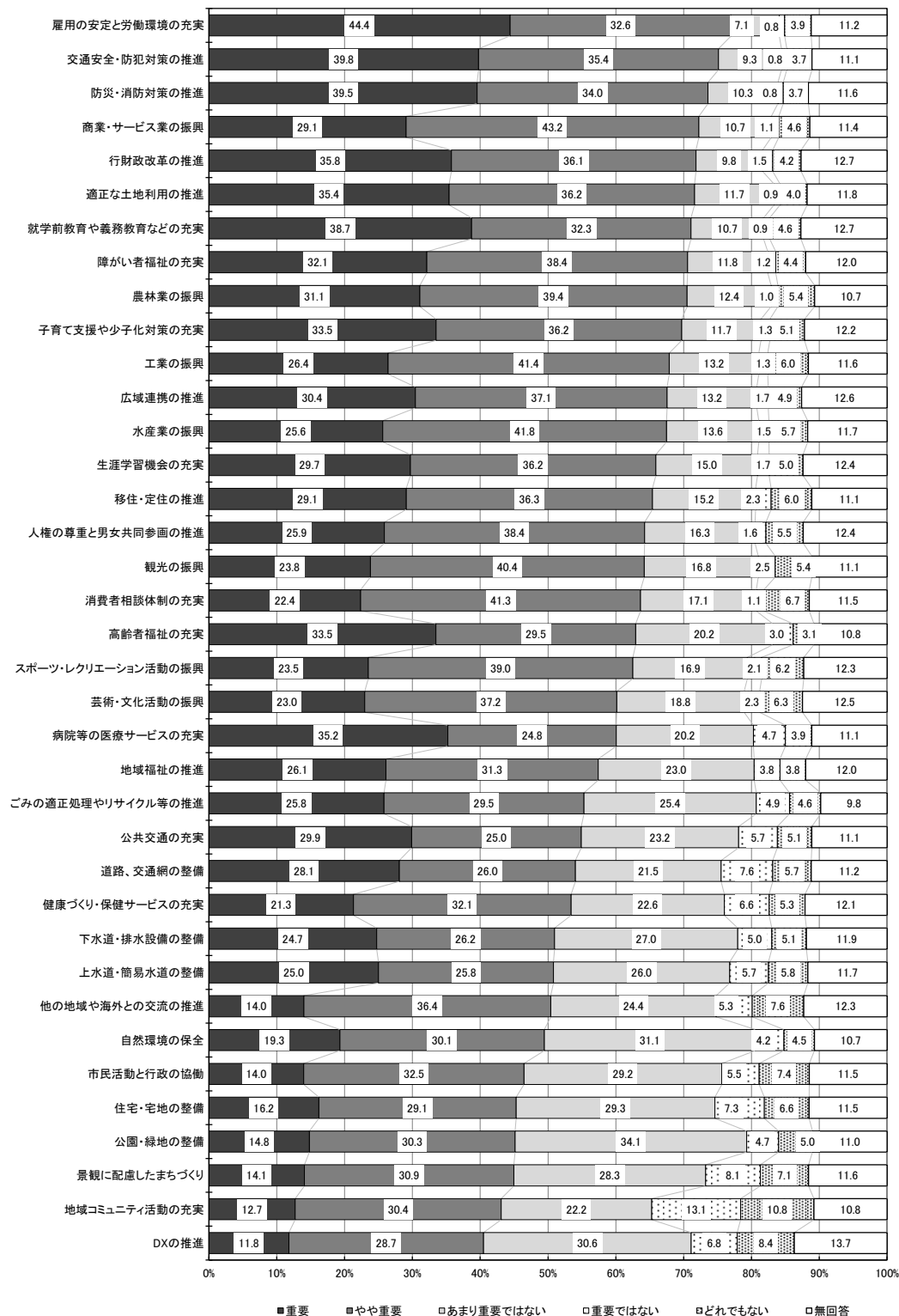
前回調査と比較すると「普通」の割合が低くなっています。



問 13② 今後の生活にとっての重要度をお聞かせください。(各SA)

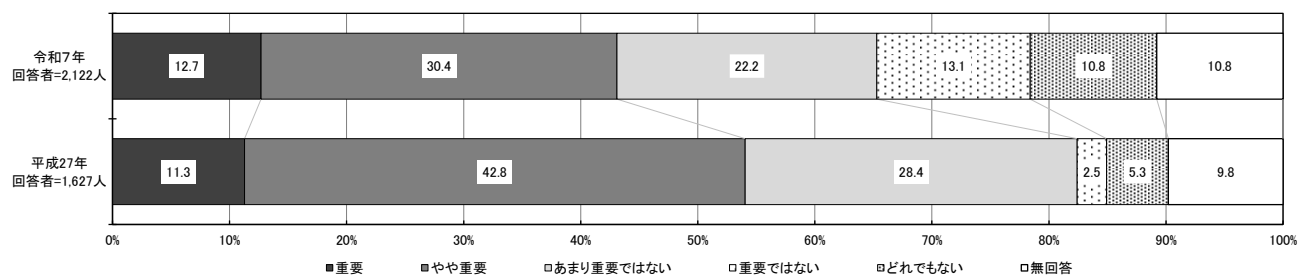
重要度(「重要」「やや重要」を合わせた割合)が高い項目は、高い順に『雇用の安定と労働環境の充実』、『交通安全・防犯対策の推進』、『防災・消防対策の推進』となっています。

n=2, 122



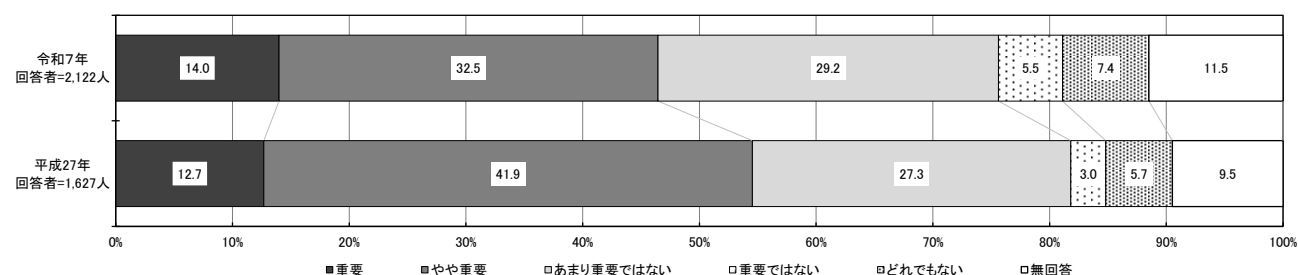
前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。

◆地域コミュニティ活動の充実(重要度)



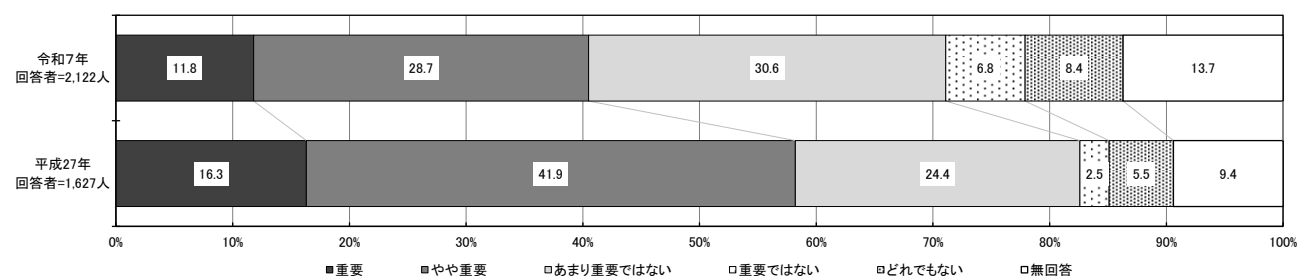
◆市民活動と行政の協働(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。



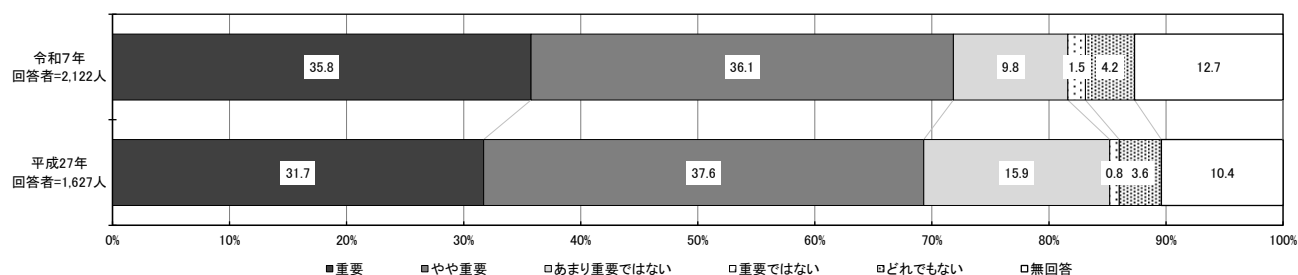
◆DXの推進(重要度)※前回は情報化の推進

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。



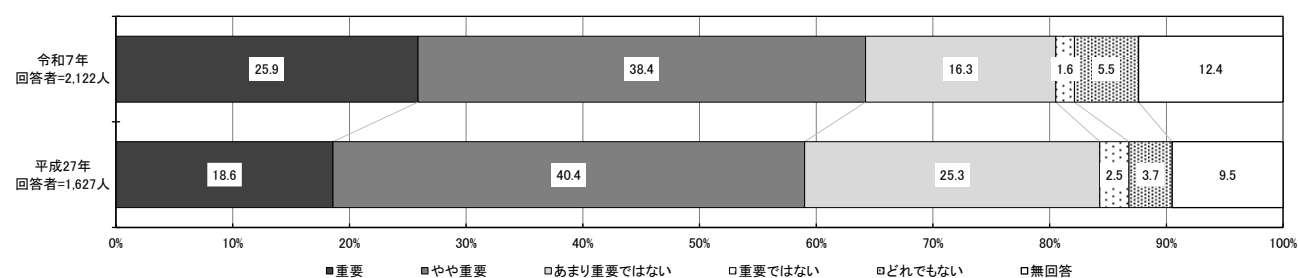
◆行財政改革の推進(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。



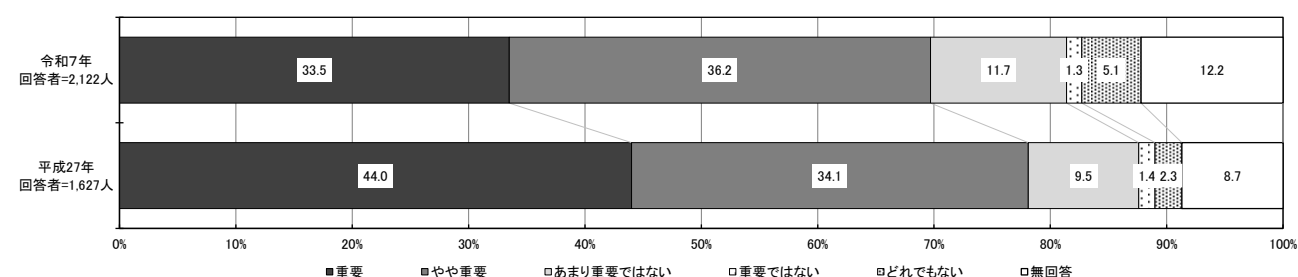
◆人権の尊重と男女共同参画の推進(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。



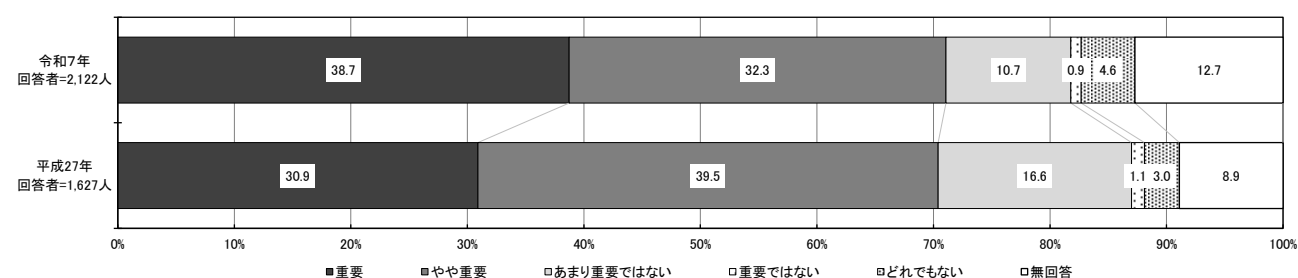
◆子育て支援や少子化対策の充実(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。



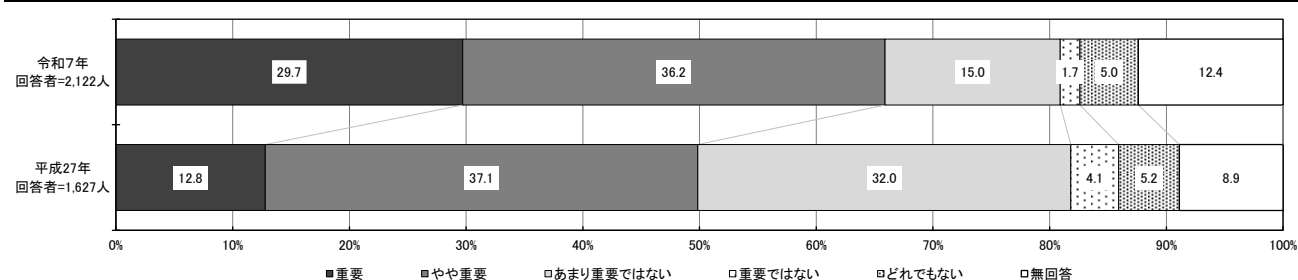
◆就学前教育や義務教育などの充実(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合は概ね同様の傾向となっています。



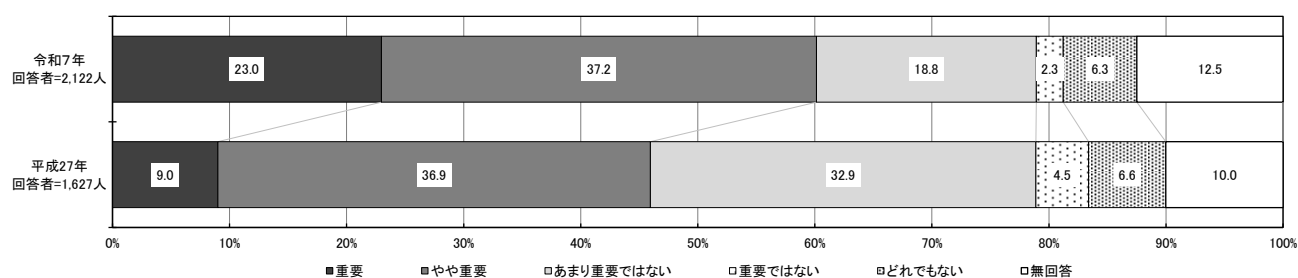
◆生涯学習機会の充実(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が高くなっています。



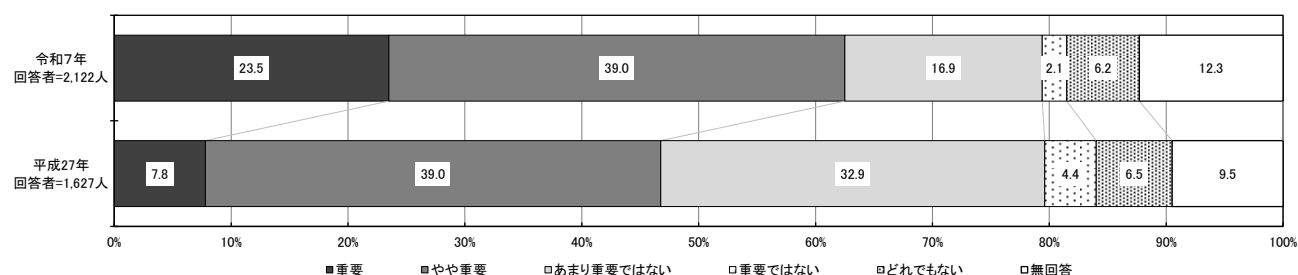
◆芸術・文化活動の振興(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が高くなっています。



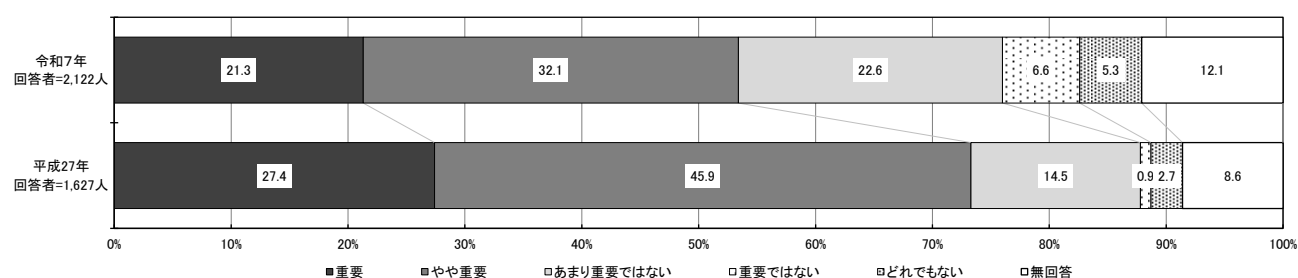
◆スポーツ・レクリエーション活動の振興(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が高くなっています。



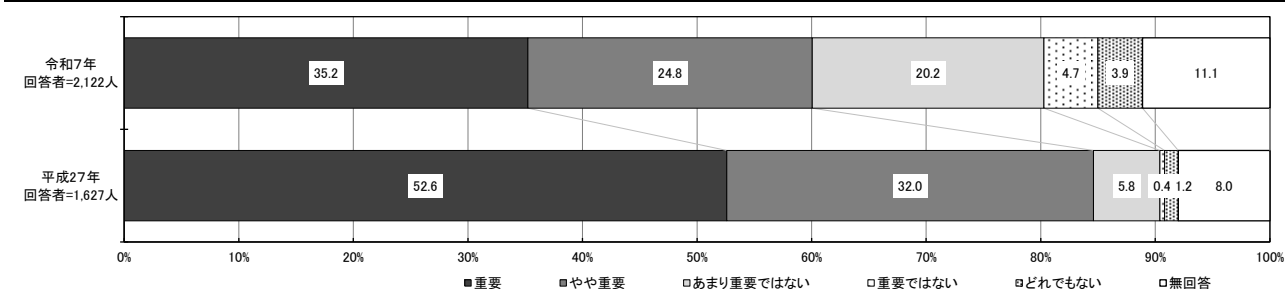
◆健康づくり・保健サービスの充実(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。



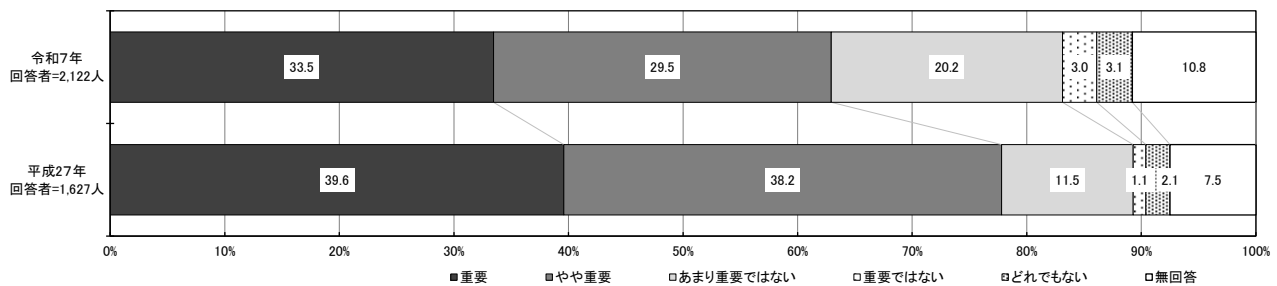
◆病院等の医療サービスの充実(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。



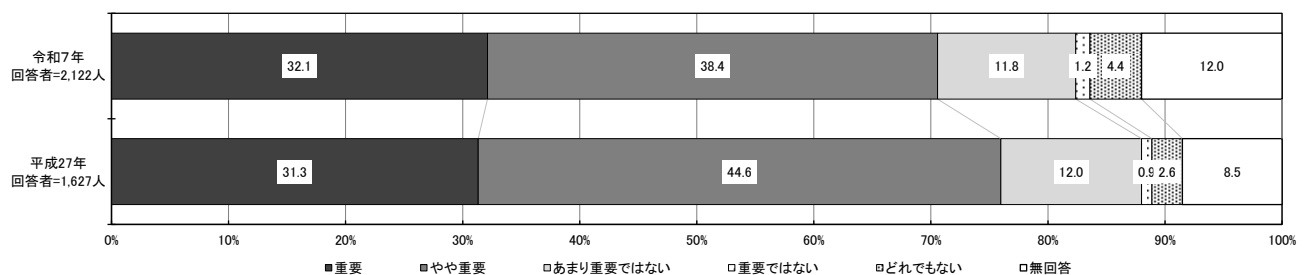
◆高齢者福祉の充実(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。



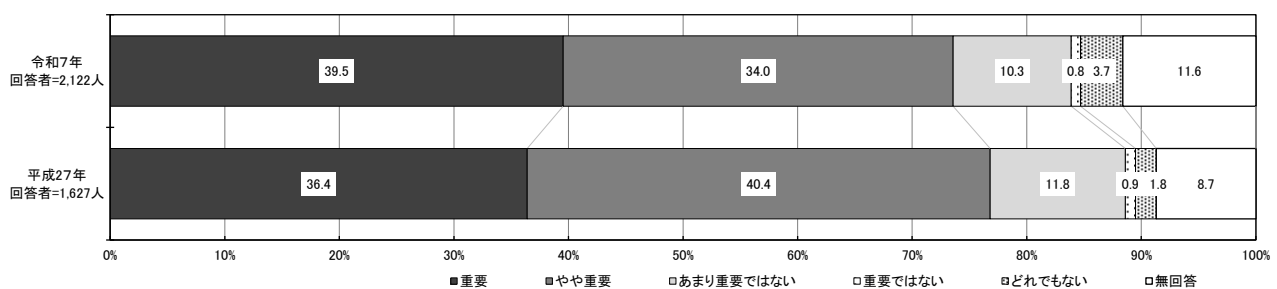
◆障がい者福祉の充実(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。



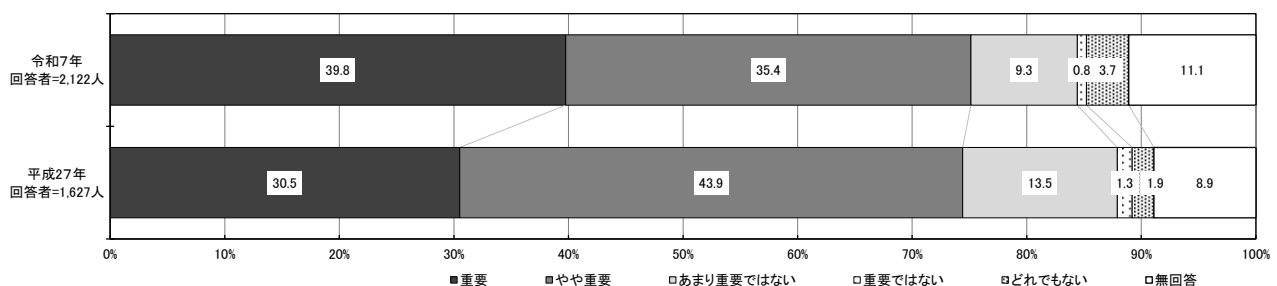
◆防災・消防対策の推進(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合は概ね同様の傾向となっています。



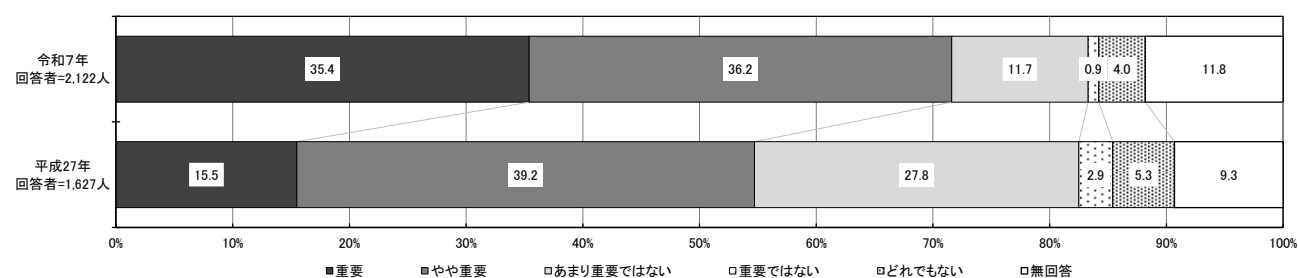
◆交通安全・防犯対策の推進(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合は概ね同様の傾向となっています。



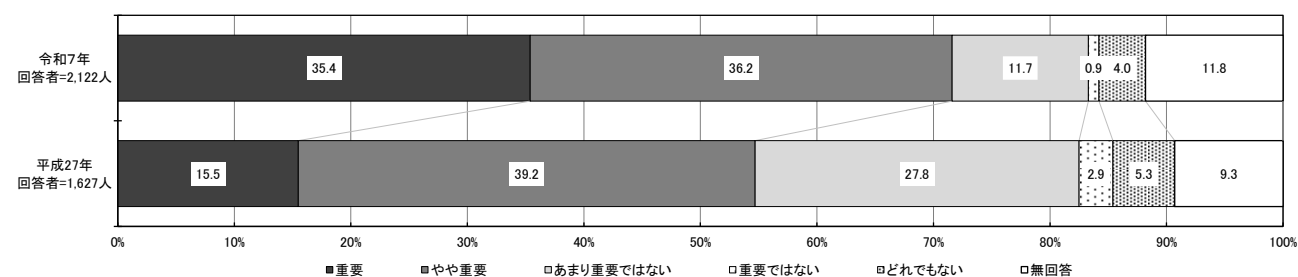
◆適正な土地利用の推進(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が高くなっています。



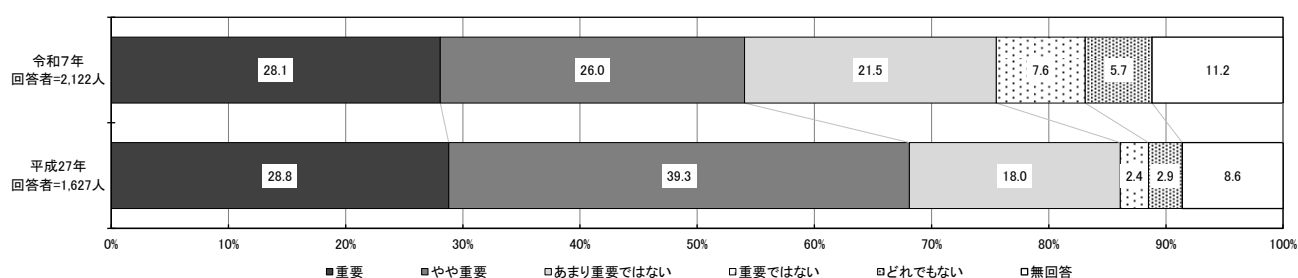
◆住宅・宅地の整備(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が高くなっています。



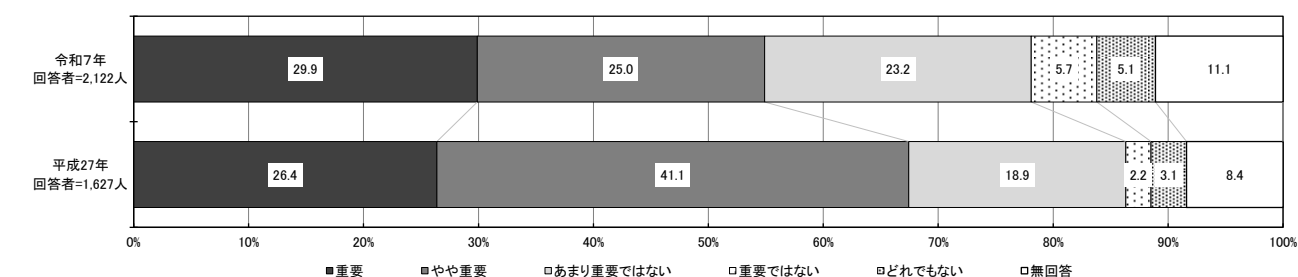
◆道路、交通網の整備(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。



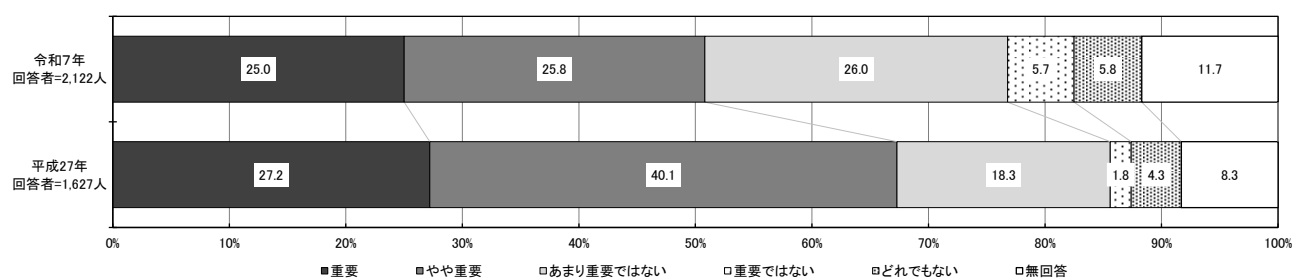
◆公共交通の充実(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。



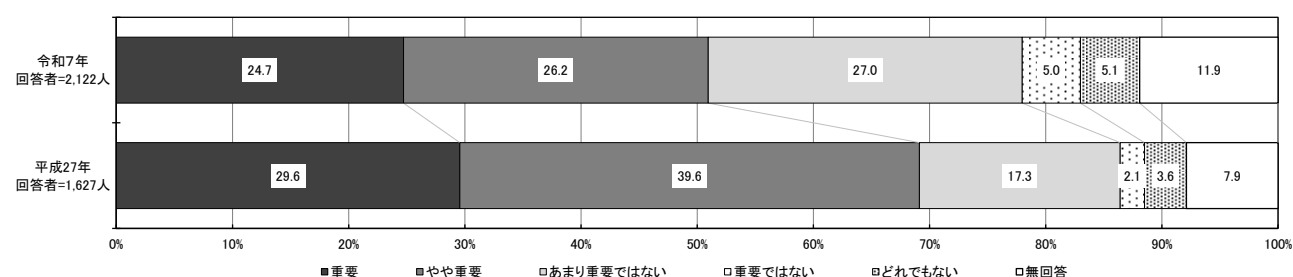
◆上水道・簡易水道の整備(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。



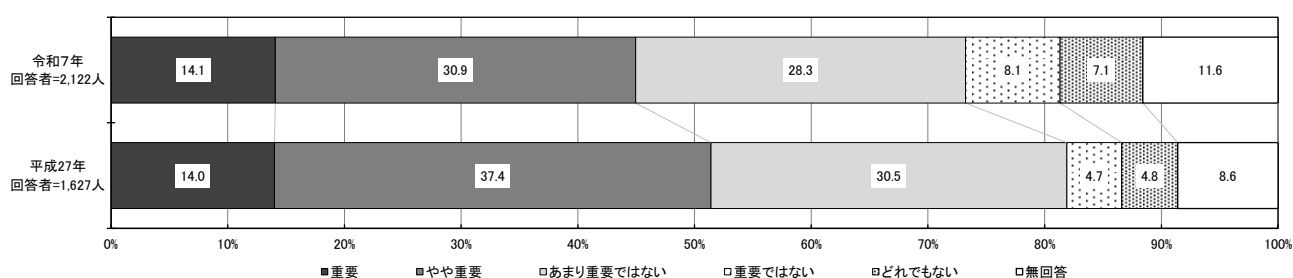
◆下水道・排水設備の整備(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。



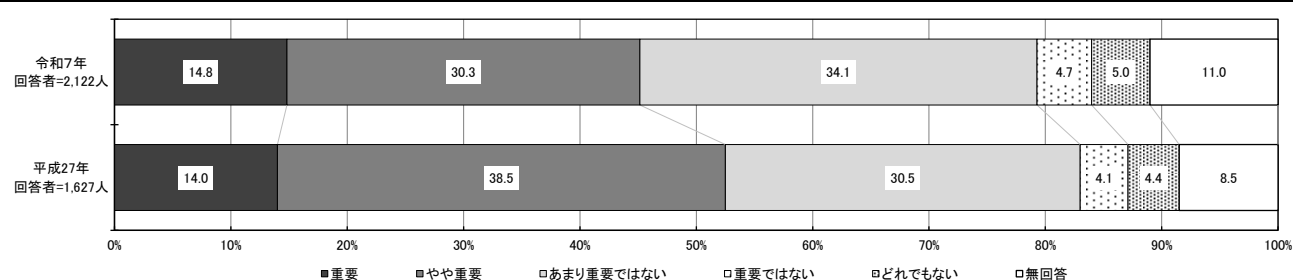
◆景観に配慮したまちづくり(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。



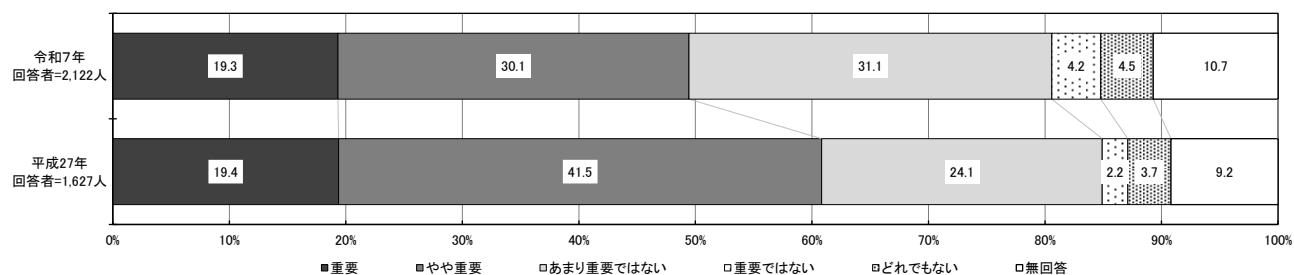
◆公園・緑地の整備(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。



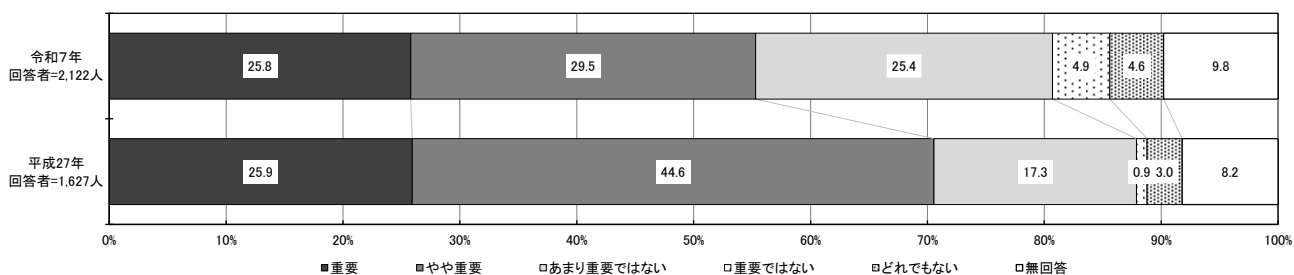
◆自然環境の保全(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。



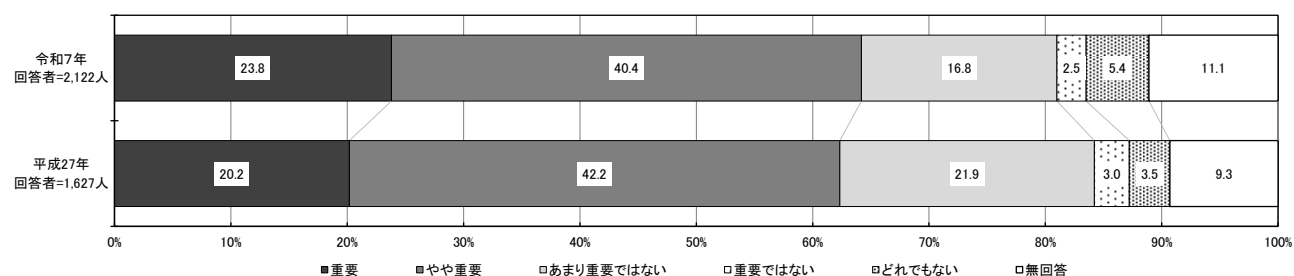
◆ごみの適正処理やリサイクル等の推進(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が低くなっています。



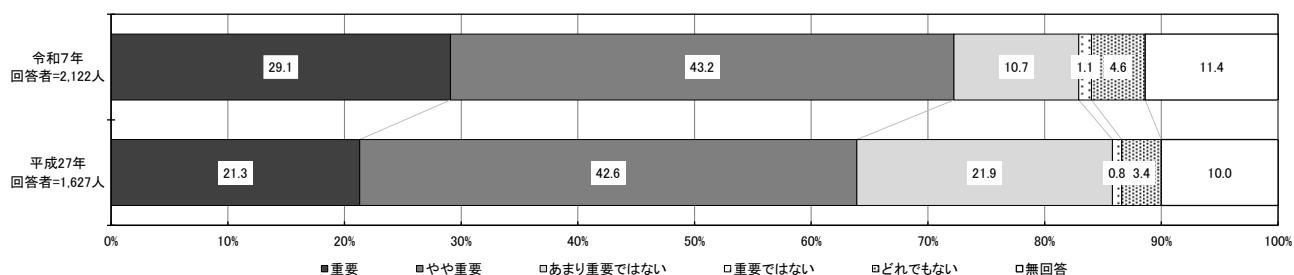
◆観光の振興

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合は概ね同様の傾向となっています。



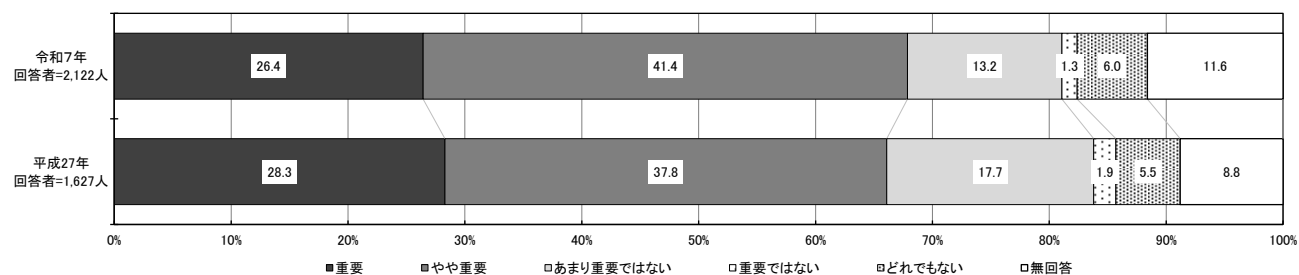
◆商業・サービス業の振興(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が高くなっています。



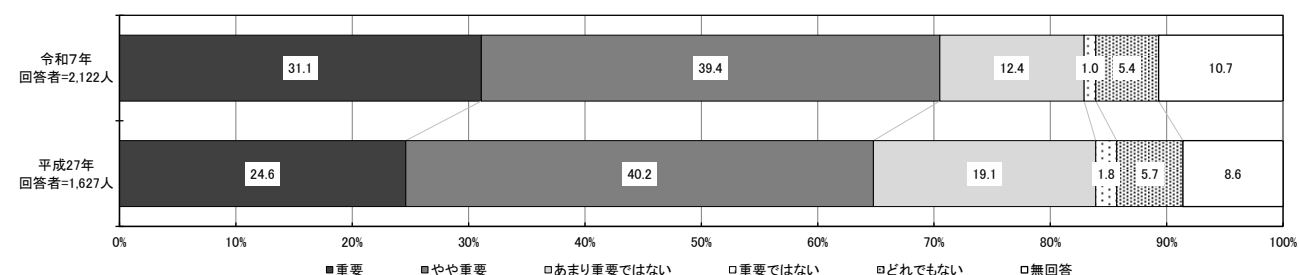
◆工業の振興(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合は概ね同様の傾向となっています。



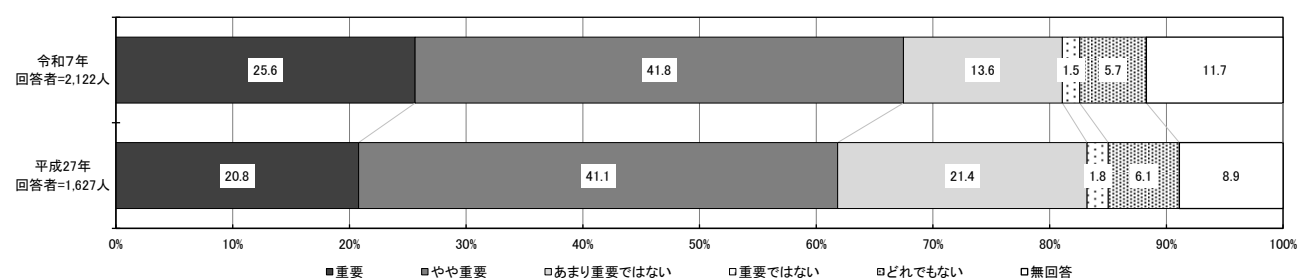
◆農林業の振興(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が高くなっています。



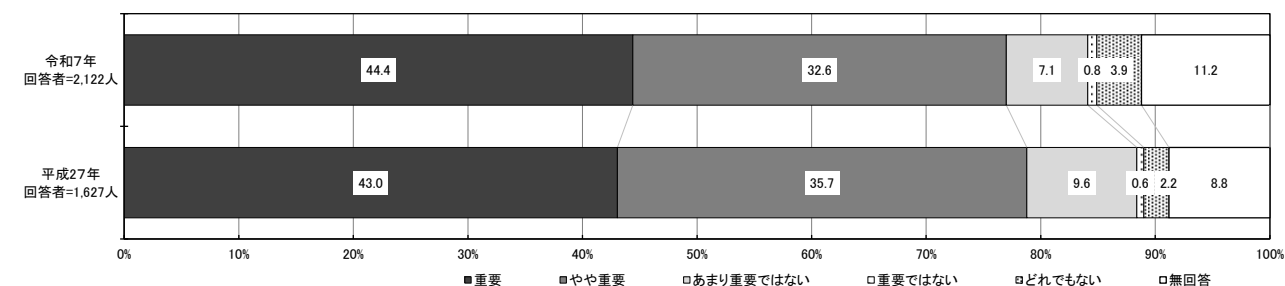
◆水産業の振興(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が高くなっています。



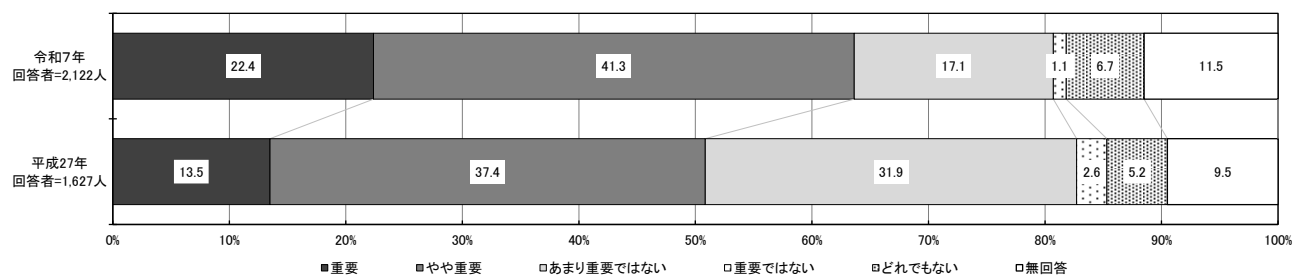
◆雇用の安定と労働環境の充実(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合は概ね同様の傾向となっています。



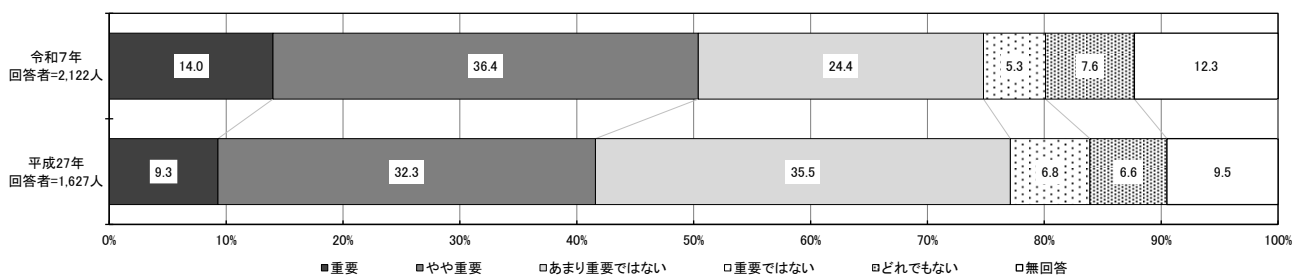
◆消費者相談体制の充実(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が高くなっています。



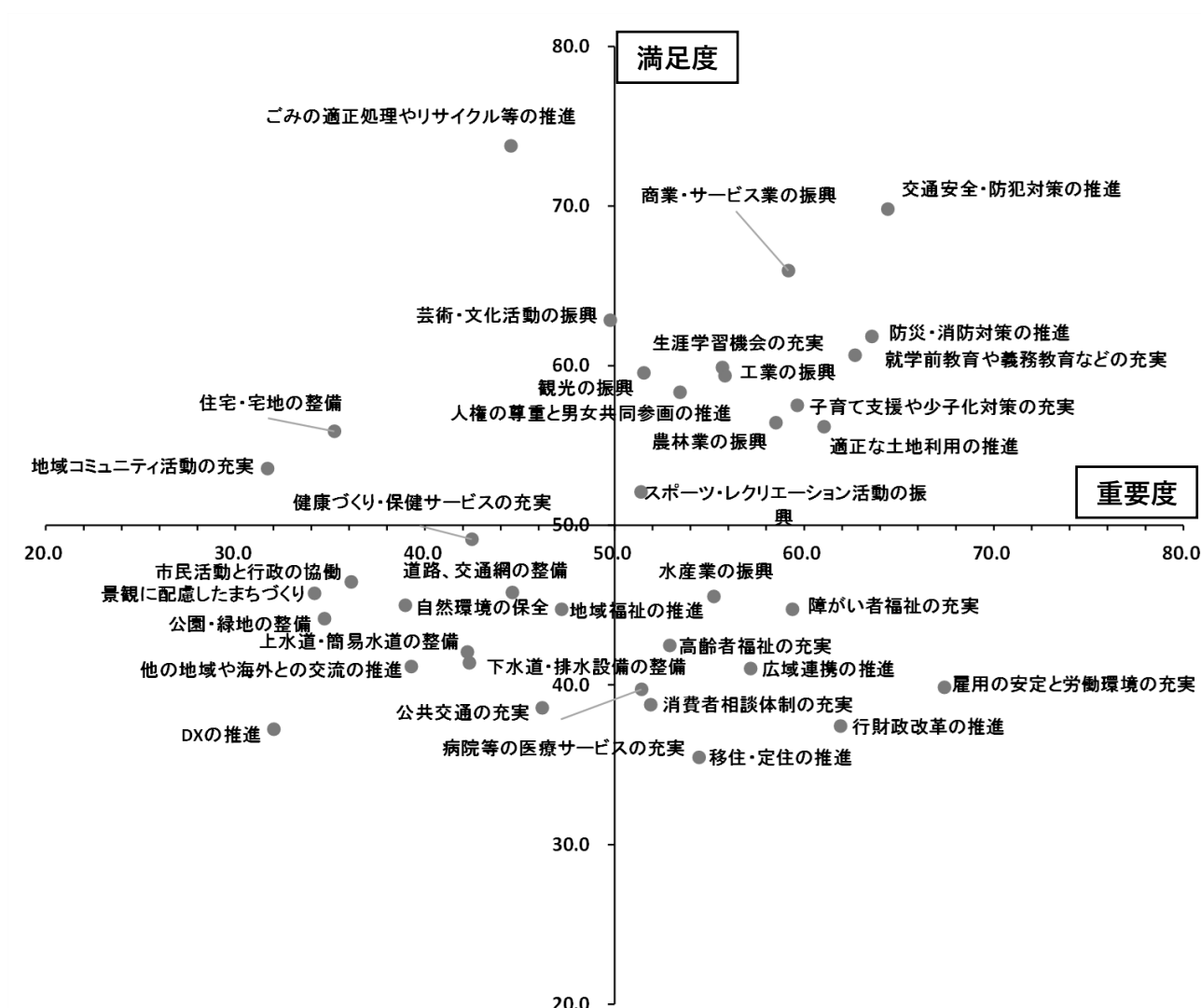
◆他の地域や海外との交流の推進(重要度)

前回調査と比較すると「重要」「やや重要」を合わせた割合が高くなっています。



◆施策に対する満足度と重要度の分布

問 13 における満足度と重要度について、得点化の上、偏差値を算出し、散布図に示しました。



○得点化

満足度

「満足」＝2点、「ほぼ満足」＝1点、「普通」＝0点、「やや不満」＝－1点、「不満」＝－2点

重要度

「重要」＝2点、「やや重要」＝1点、「あまり重要ではない」＝－1点、「重要でない」＝－2点、「どれでもない」＝0点

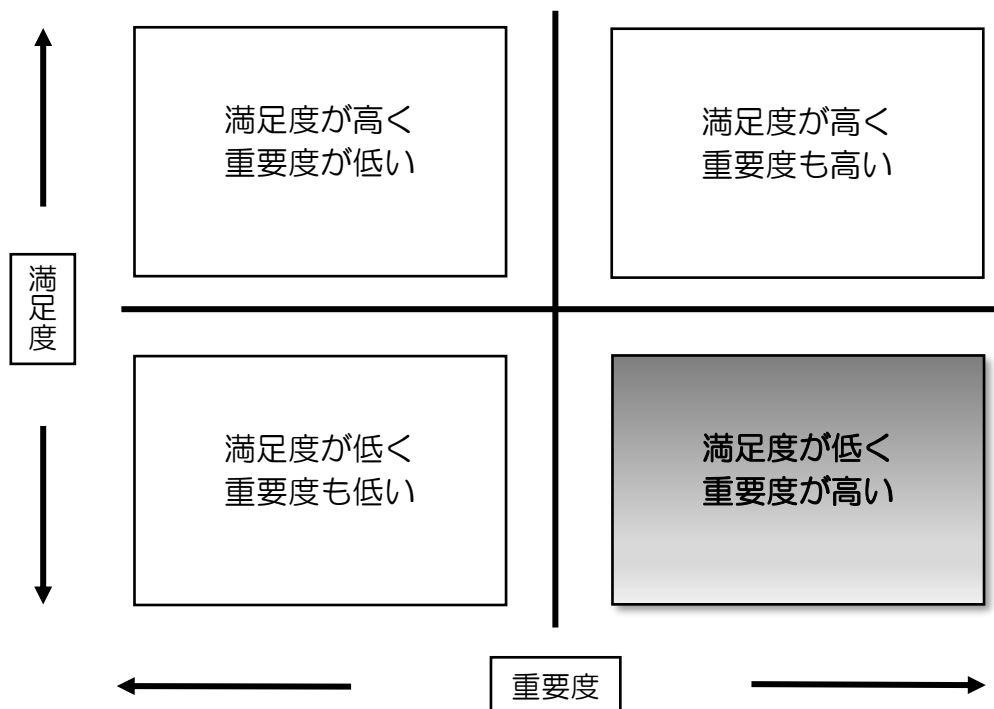
○偏差値

各項目における偏差値の算出方法は下記の通りです。

$$\text{偏差値} = \frac{(\text{施策の平均得点} - 37 \text{ 施策全ての平均点})}{37 \text{ 施策全ての標準偏差}} \times 10 + 50$$

○散布図

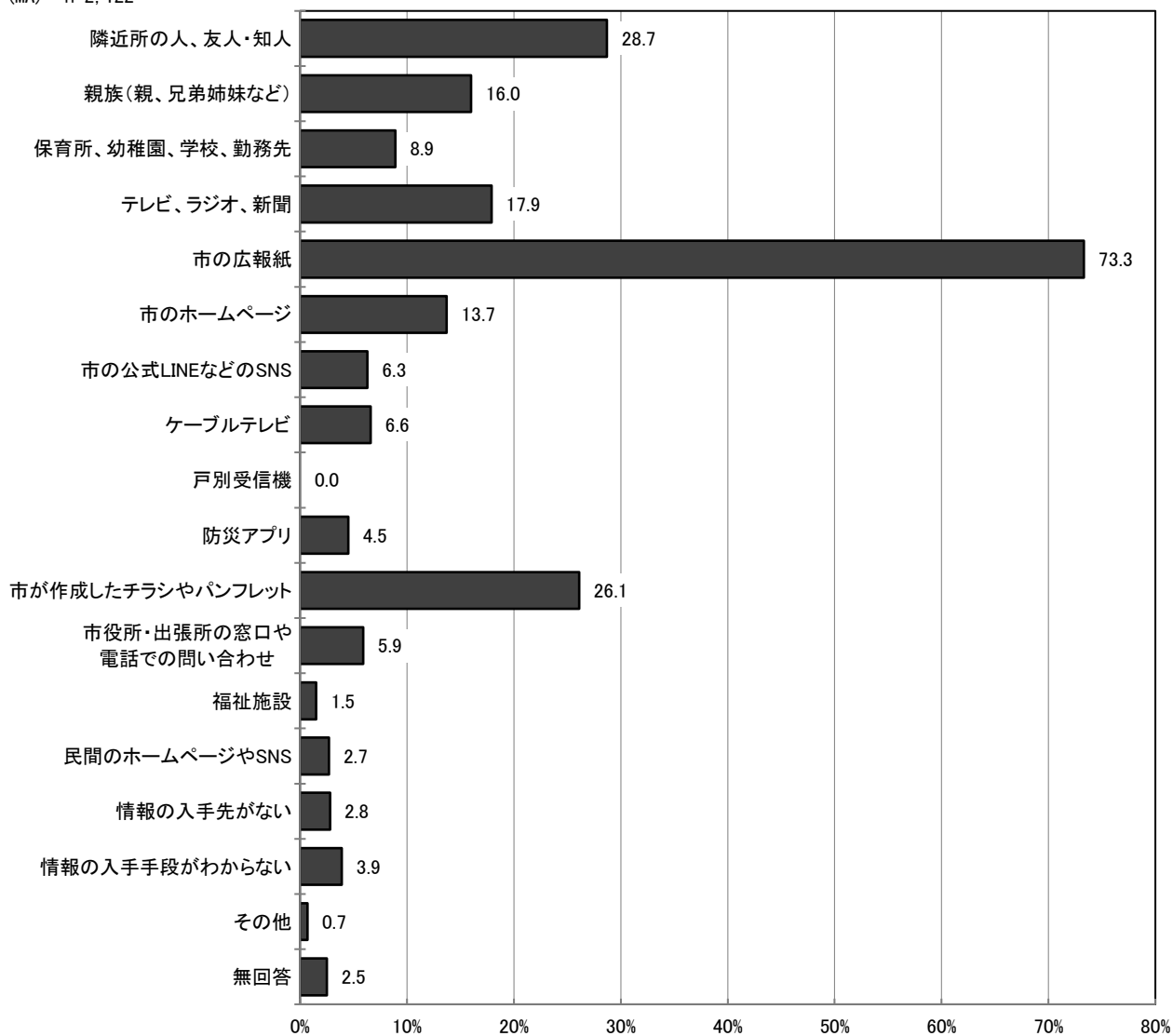
各施策について、満足度と重要度を散布図で示しました。



問 14 柳井市が実施している事業・行政サービスの情報はどのように入手していますか。
(MA)

「市の広報紙」が73.3%で最も高くなっています。次いで「隣近所の人、友人・知人」が28.7%、「市が作成したチラシやパンフレット」が26.1%が続いています。

(MA) n=2, 122



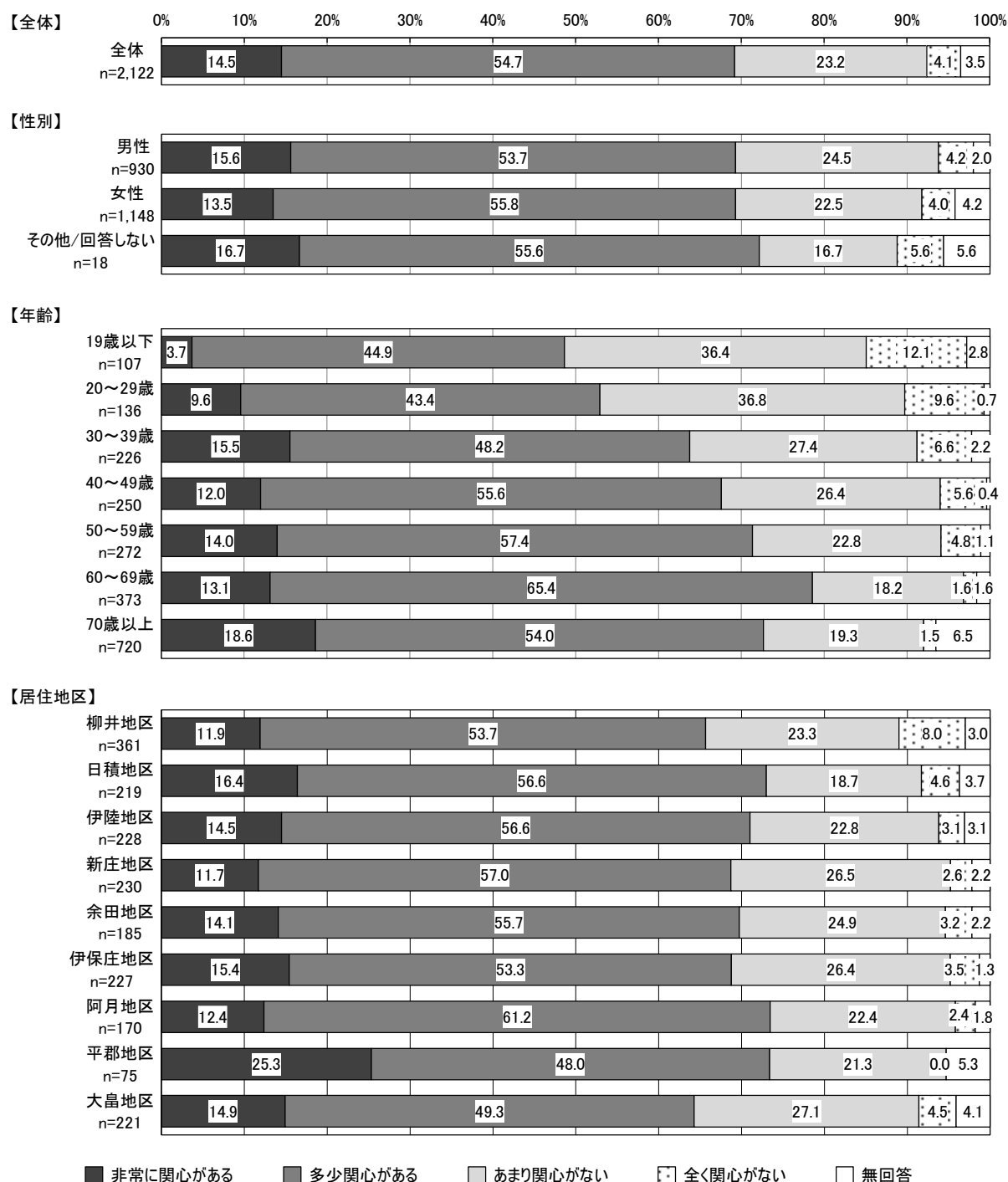
19 歳以下で「親族(親、兄弟姉妹など)」、20～29 歳と 30～39 歳、40～49 歳で「親族(親、兄弟姉妹など)」、「保育所、幼稚園、学校、勤務先」、50～59 歳で「市のホームページ」、60～69 歳で「市の広報紙」、70 歳以上で「隣近所の人、友人・知人」、「テレビ、ラジオ、新聞」、「市の広報紙」、「市が作成したチラシやパンフレット」の割合が全体と比べて高くなっています。

	年齢							
	全体 n=2,122	19歳以下 n=107	20～29歳 n=136	30～39歳 n=226	40～49歳 n=250	50～59歳 n=272	60～69歳 n=373	70歳以上 n=720
隣近所の人、友人・知人	28.7	31.8	27.9	25.7	29.2	20.2	25.7	33.9
親族(親、兄弟姉妹など)	16.0	61.7	41.9	27.9	22.4	9.6	5.6	6.5
保育所、幼稚園、学校、勤務先	8.9	5.6	15.4	26.5	20.4	8.8	5.1	0.8
テレビ、ラジオ、新聞	17.9	18.7	15.4	15.0	13.2	14.0	16.1	22.9
市の広報紙	73.3	31.8	44.9	58.0	75.2	77.2	83.6	82.6
市のホームページ	13.7	1.9	16.2	13.7	16.4	25.7	18.0	7.8
市の公式LINEなどのSNS	6.3	2.8	5.9	9.7	9.2	8.1	9.1	2.9
ケーブルテレビ	6.6	5.6	2.9	6.6	6.8	7.4	8.0	6.4
戸別受信機	—	—	—	—	—	—	—	0.1
防災アプリ	4.5	2.8	1.5	4.4	2.4	5.1	6.4	4.9
市が作成したチラシやパンフレット	26.1	5.6	10.3	14.6	14.4	19.9	29.5	40.8
市役所・出張所の窓口や電話での問い合わせ	5.9	0.9	2.2	3.1	3.2	5.9	6.4	8.8
福祉施設	1.5	2.8	1.5	0.4	0.4	0.4	0.8	2.8
民間のホームページやSNS	2.7	4.7	3.7	6.2	3.2	4.4	2.1	0.7
情報の入手先がない	2.8	1.9	2.9	2.7	4.0	3.3	1.9	2.9
情報の入手手段がわからない	3.9	8.4	4.4	3.1	4.4	1.8	2.4	4.3
その他	0.7	0.9	0.7	1.8	—	0.7	0.8	0.4
無回答	2.5	0.9	0.7	2.2	—	0.7	1.6	4.3

問 15 あなたは、柳井市で実施している行政サービスにどの程度関心をお持ちですか。(SA)

「多少関心がある」が 54.7%を占めています。関心がある層(「非常に関心がある」+「多少関心がある」)は7割近くとなっています。

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにつれて、関心がある層の割合が高くなっています。



暮らしの満足度別にみると、不満足で「全く関心がない」、満足で「非常に関心がある」の割合が高くなっています。

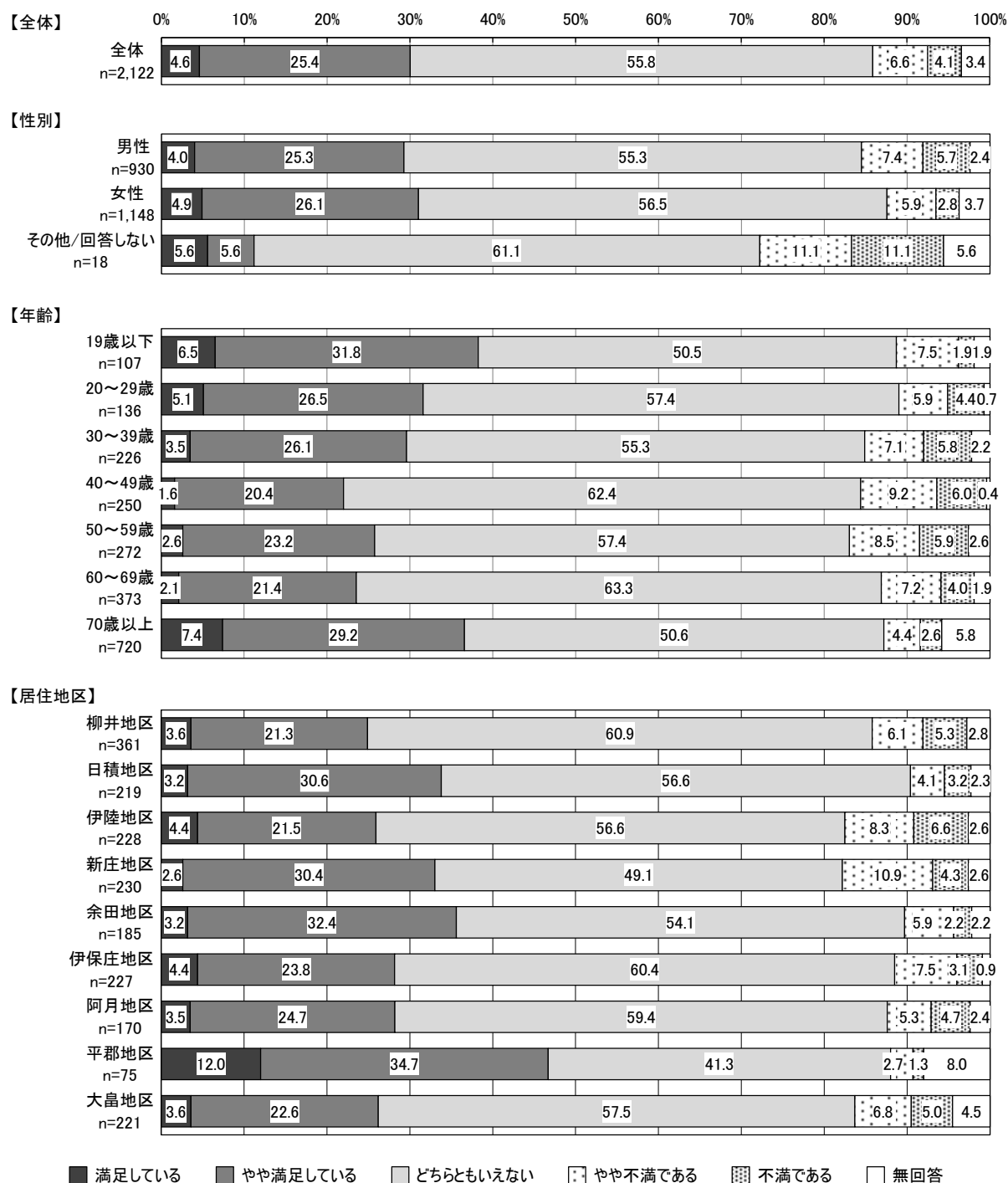
	暮らしの満足度			
	全体 n=2,122	不満足 n=359	普通 n=930	満足 n=758
非常に関心がある	 14.5	 10.3	 11.5	 20.4
多少関心がある	 54.7	 48.2	 56.1	 56.9
あまり関心がない	 23.2	 27.0	 26.5	 18.2
全く関心がない	 4.1	 11.7	 2.6	 2.1
無回答	 3.5	 2.8	 3.3	 2.4

問 16 あなたは柳井市で実施している行政サービスについて、どの程度満足されていますか。(SA)

「どちらともいえない」が 55.8%で最も高くなっています。次いで「やや満足している」が 25.4%となっています。満足層(満足している)+「やや満足している」は3割程度となっています。

年齢別にみると、19 歳以下と 70 歳以上で満足層の割合が高くなっています。

地区別にみると、平郡地区で満足層の割合が高くなっています。



現在の幸福度別にみると、不幸せで「やや不満である」、「不満である」、幸せで「やや満足している」の割合が全体と比べて高く、現在の幸福度が高いほど満足層の割合も高くなっています。

	現在の幸福度			
	全体 n=2,122	不幸せ n=182	普通 n=867	幸せ n=995
満足している	4.6	—	2.5	7.2
やや満足している	25.4	8.2	18.9	34.4
どちらともいえない	55.8	52.7	62.3	51.4
やや不満である	6.6	15.4	8.1	3.8
不満である	4.1	19.8	4.2	1.4
無回答	3.4	3.8	4.0	1.8

5年後の幸福度別にみると、不幸せで「やや不満である」、「不満である」、幸せで「やや満足している」の割合が全体と比べて高く、5年後の幸福度が高いほど満足層の割合も高くなっています。

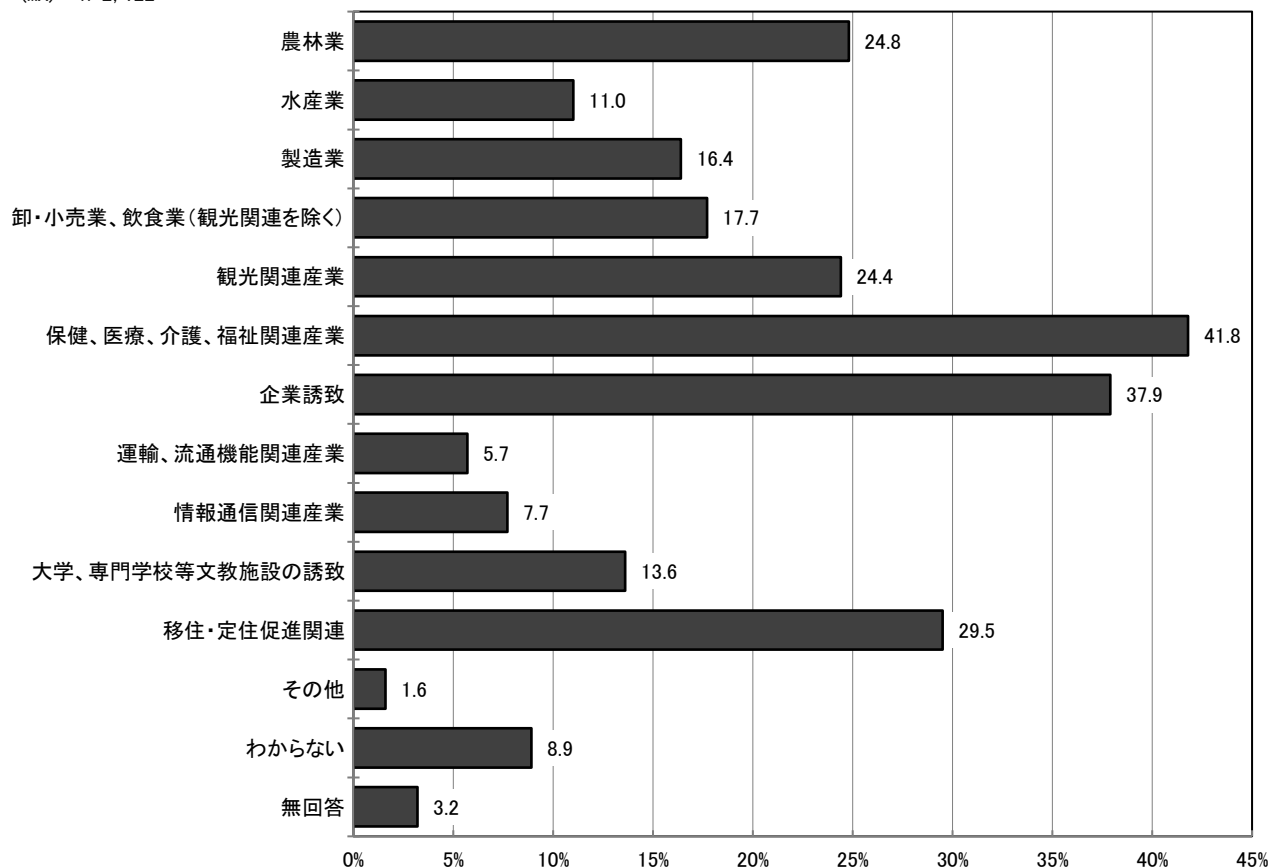
	5年後の幸福度			
	全体 n=2,122	不幸せ n=297	普通 n=897	幸せ n=845
満足している	4.6	1.0	2.7	7.7
やや満足している	25.4	9.4	22.1	34.8
どちらともいえない	55.8	56.2	61.8	50.4
やや不満である	6.6	15.5	6.5	3.7
不満である	4.1	14.1	3.3	1.8
無回答	3.4	3.7	3.7	1.7

3. 産業について

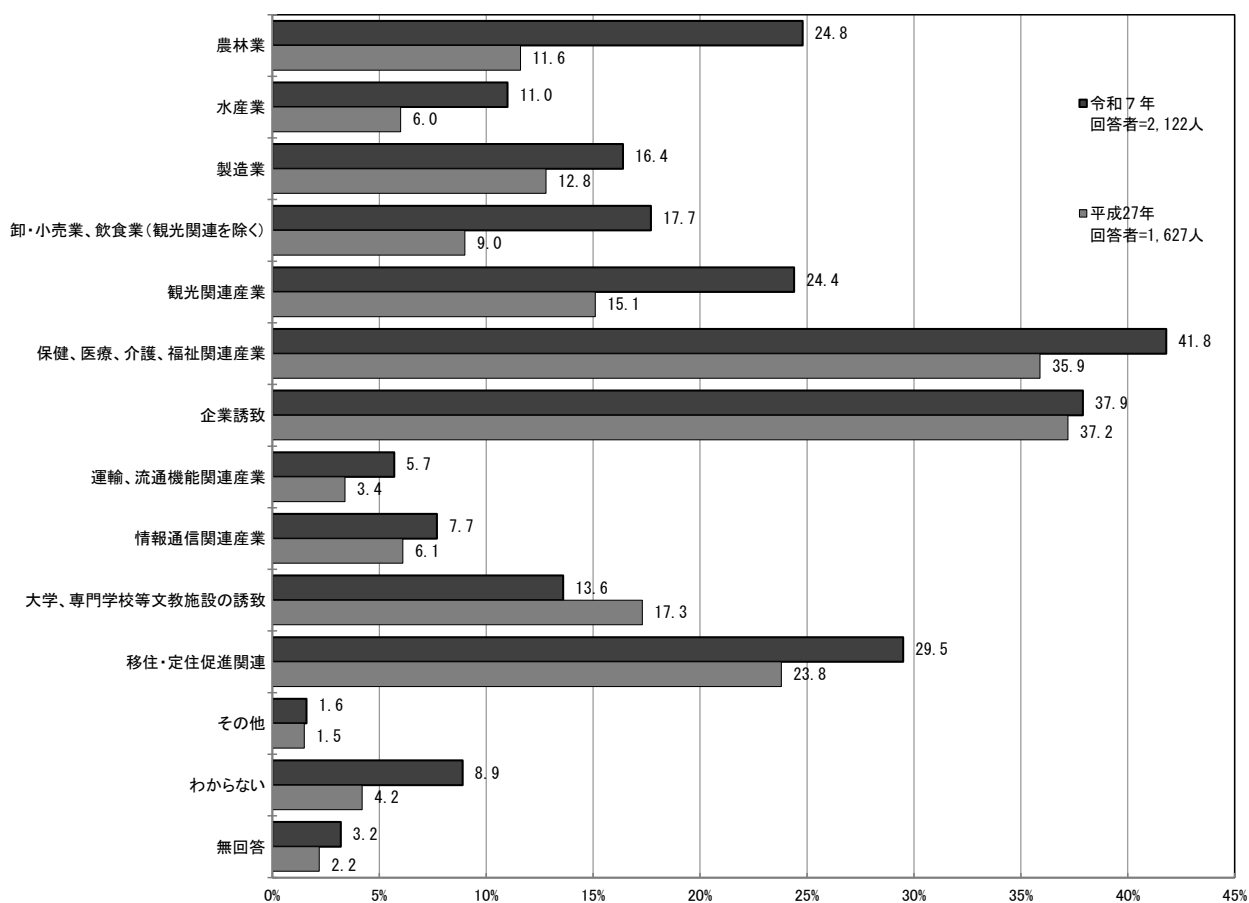
問 17 今後本市の経済を発展させるためには、どのような分野に力を入れればよいと思いますか。特に力を入れるべきものを3つ選んでください。(MA)

「保健、医療、介護、福祉関連産業」が 41.8%で最も高くなっています。次いで「企業誘致」が 37.9%、「移住・定住促進関連」が 29.5%で続いています。

(MA) n=2, 122



今回調査は前回調査に比べて、「農林業」、「観光関連産業」、「卸・小売業、飲食業（観光関連を除く）」、「移住・定住促進関連」、「水産業」、「保育、医療、介護、福祉関連産業」の割合が高くなっています。



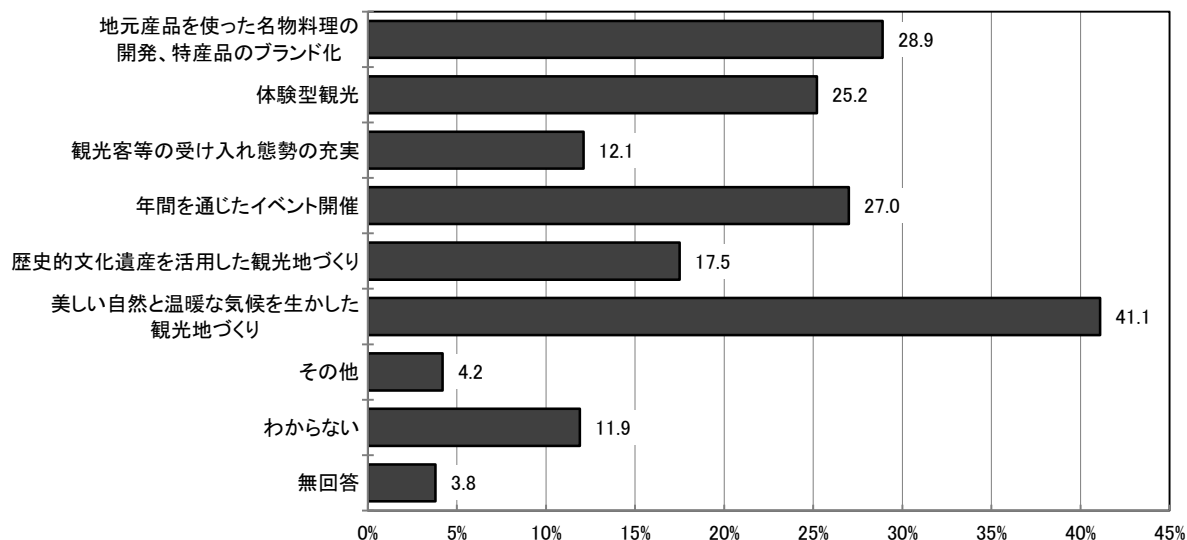
地区別にみると、柳井地区で「卸・小売業、飲食業（観光関連を除く）」、「大学、専門学校等文教施設の誘致」、日積地区と伊陸地区で「農林業」、新庄地区で「卸・小売業、飲食業（観光関連を除く）」、「観光関連産業」、余田地区で「企業誘致」、阿月地区で「水産業」、「企業誘致」、平郡地区で「移住・定住促進関連」、大畠地区で「水産業」の割合が全体と比べて高くなっています。

	地区									
	全体 n=2,122	柳井地区 n=361	日積地区 n=219	伊陸地区 n=228	新庄地区 n=230	余田地区 n=185	伊保庄地区 n=227	阿月地区 n=170	平郡地区 n=75	大畠地区 n=221
農林業	24.8	17.7	41.1	35.1	18.3	29.2	21.1	21.8	14.7	19.0
水産業	11.0	12.2	5.9	4.8	11.3	8.1	13.7	16.5	14.7	18.6
製造業	16.4	19.7	15.5	15.4	15.2	17.3	20.7	16.5	6.7	14.9
卸・小売業、飲食業（観光関連を除く）	17.7	22.7	18.7	14.0	23.9	14.6	19.8	15.3	9.3	18.6
観光関連産業	24.4	27.1	22.8	23.2	30.0	25.9	23.3	21.8	17.3	26.7
保健、医療、介護、福祉関連産業	41.8	41.3	43.8	46.5	44.8	37.8	37.9	44.1	30.7	39.4
企業誘致	37.9	32.1	35.6	39.9	40.0	46.5	39.6	44.1	36.0	31.2
運輸、流通機能関連産業	5.7	5.8	4.6	4.8	3.9	9.2	6.6	6.5	6.7	5.9
情報通信関連産業	7.7	6.1	6.8	10.1	6.1	10.3	9.3	10.6	9.3	6.3
大学、専門学校等文教施設の誘致	13.6	21.1	9.1	12.7	17.0	16.2	11.9	10.0	8.0	12.2
移住・定住促進関連	29.5	28.8	27.4	28.9	23.5	33.0	30.8	32.9	37.3	31.7
その他	1.6	2.8	0.9	3.1	0.9	1.1	2.2	1.2	-	0.9
わからない	8.9	8.3	7.8	8.8	7.0	2.7	11.0	8.8	14.7	11.3
無回答	3.2	2.8	1.4	2.2	2.2	2.7	1.8	2.4	9.3	3.2

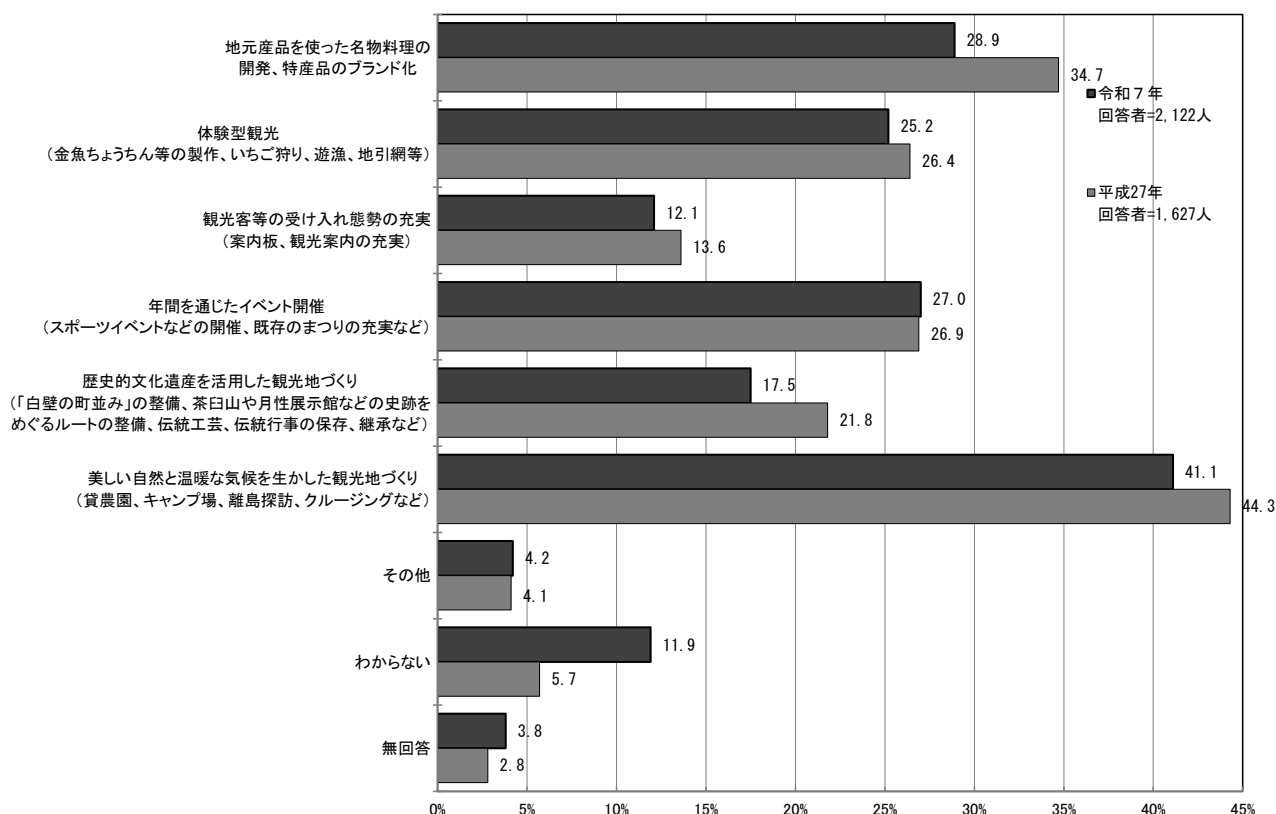
問 18 観光の振興として、今後何に力を入れる必要があると思いますか。特に力を入れるべきものを2つ選んでください。(MA)

「美しい自然と温暖な気候を生かした観光地づくり」が 41.1%で最も高くなっています。次いで「地元産品を使った名物料理の開発、特産品のブランド化」が 28.9%、「年間を通じたイベント開催」が 27.0%で続いています。

(MA) n=2, 122



今回調査は前回調査に比べて、「わからない」の割合が高くなっています。

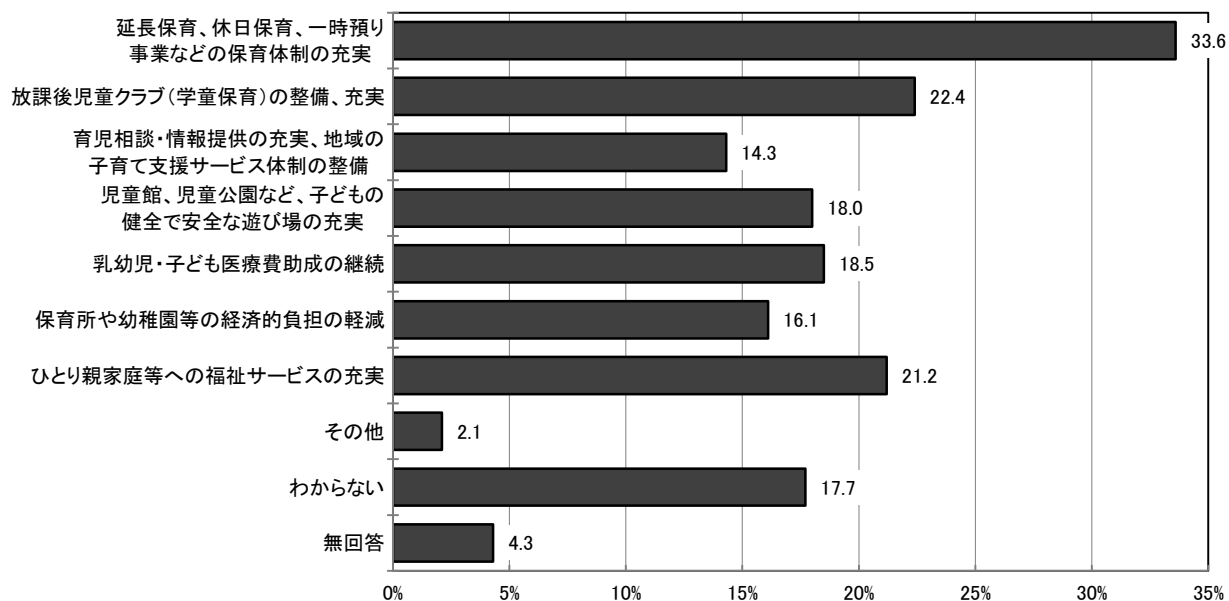


4. 福祉について

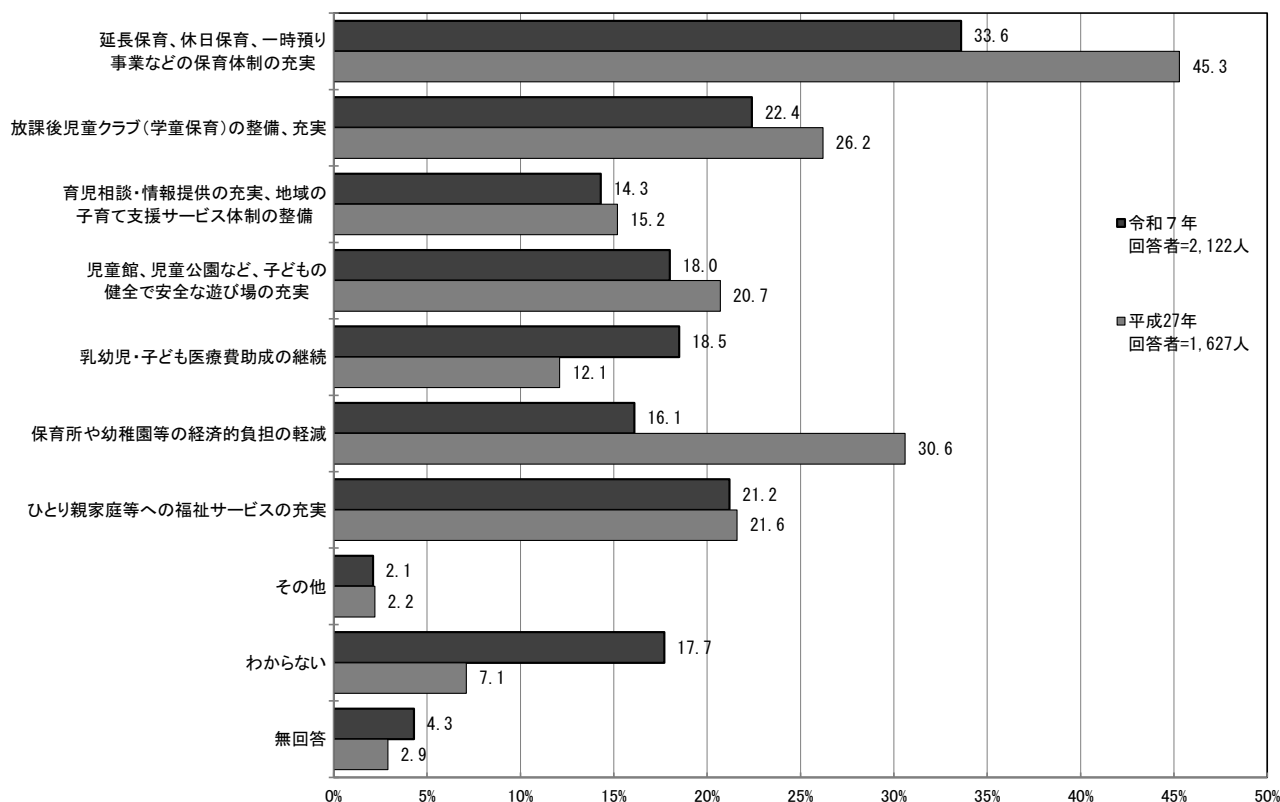
問 19 児童、ひとり親家庭等への福祉について、今後どのようなことに重点を置いたらよいと思いますか。特に重点を置くべきものを2つ選んでください。(MA)

「延長保育、休日保育、一時預り事業などの保育体制の充実」が 33.6%で最も高くなっています。次いで「放課後児童クラブ(学童保育)の整備、充実」が 22.4%、「ひとり親家庭等への福祉サービスの充実」が 21.2%で続いています。

(MA) n=2, 122



今回調査は前回調査に比べて、「乳幼児・子ども医療費助成の継続」、「わからない」の割合が高くなっています。



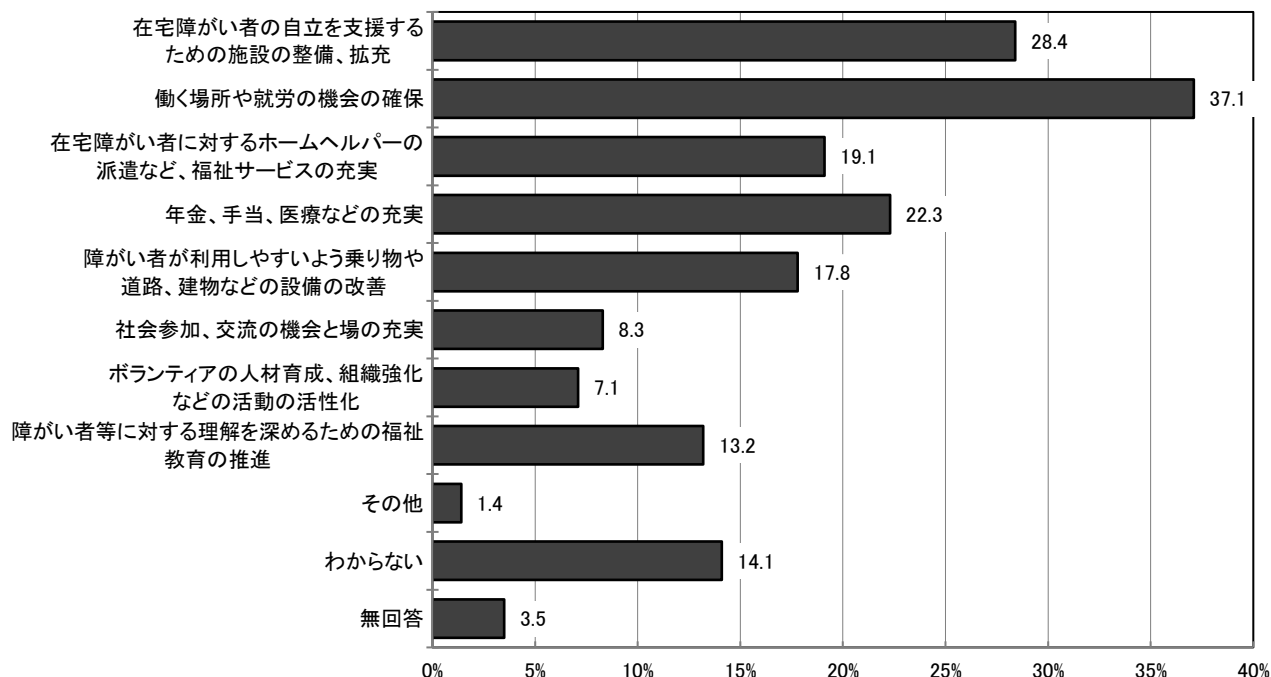
年齢別にみると、20～29歳で「保育所や幼稚園等の経済的負担の軽減」、30～39歳と40～49歳で「児童館、児童公園など、子どもの健全で安全な遊び場の充実」、「乳幼児・子ども医療費助成の継続」、50～59歳と60～69歳で「延長保育、休日保育、一時預り事業などの保育体制の充実」の割合が全体と比べて高くなっています。

	年齢							
	全体 n=2,122	19歳以下 n=107	20～29歳 n=136	30～39歳 n=226	40～49歳 n=250	50～59歳 n=272	60～69歳 n=373	70歳以上 n=720
延長保育、休日保育、一時預り事業などの保育体制の充実	33.6	30.8	36.8	29.2	33.6	39.3	42.9	27.9
放課後児童クラブ(学童保育)の整備、充実	22.4	16.8	24.3	23.9	22.8	22.4	27.3	19.3
育児相談・情報提供の充実、地域の子育て支援サービス体制の整備	14.3	11.2	15.4	14.2	14.4	18.4	14.2	13.5
児童館、児童公園など、子どもの健全で安全な遊び場の充実	18.0	14.0	18.4	34.1	24.4	12.9	15.8	14.3
乳幼児・子ども医療費助成の継続	18.5	18.7	21.3	26.1	29.6	18.4	18.0	12.2
保育所や幼稚園等の経済的負担の軽減	16.1	12.1	25.0	15.0	14.0	19.1	18.2	14.3
ひとり親家庭等への福祉サービスの充実	21.2	24.3	14.7	8.8	18.0	22.1	24.7	25.0
その他	2.1	0.9	—	2.7	5.2	2.9	1.3	1.4
わからない	17.7	28.0	16.9	15.9	14.8	14.7	11.3	22.5
無回答	4.3	0.9	0.7	2.2	0.4	1.1	2.7	8.8

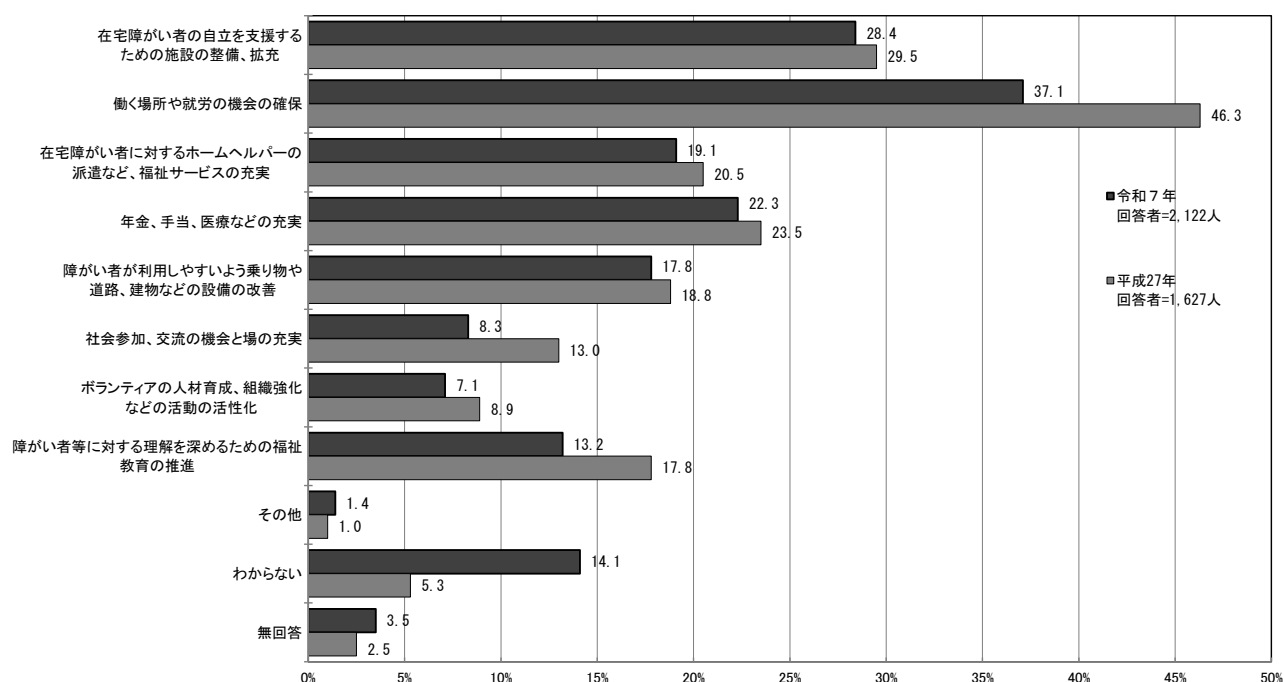
問 20 障がい者福祉について、今後どのようなことに重点を置いたらよいと思いますか。
特に重点を置くべきものを2つ選んでください。(MA)

「働く場所や就労の機会の確保」が 37.1%で最も高くなっています。次いで「在宅障がい者の自立を支援するための施設の整備、拡充」が 28.4%、「年金、手当、医療などの充実」が 22.3%で続いています。

(MA) n=2,122



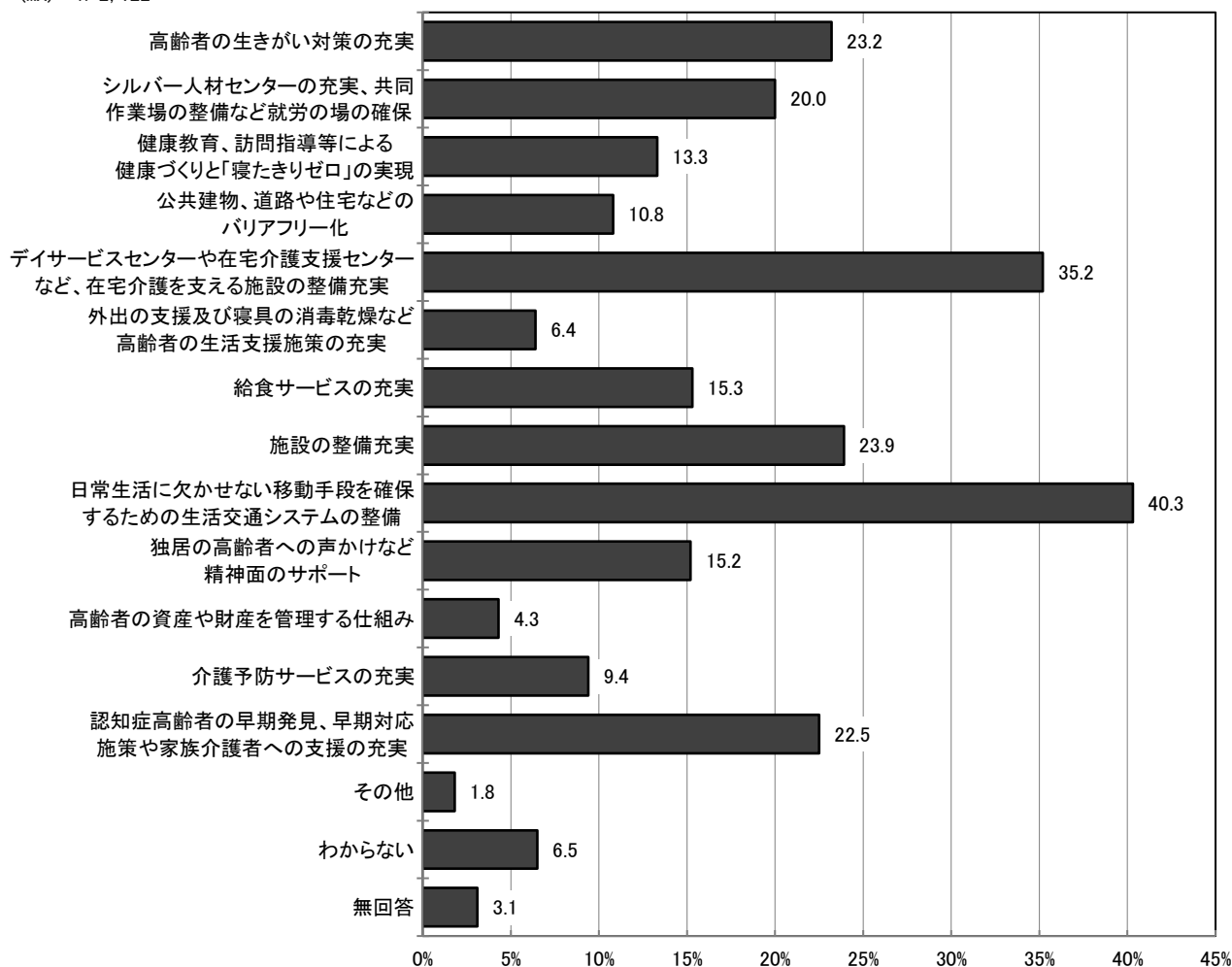
今回調査は前回調査に比べて、「わからない」の割合が高くなっています。



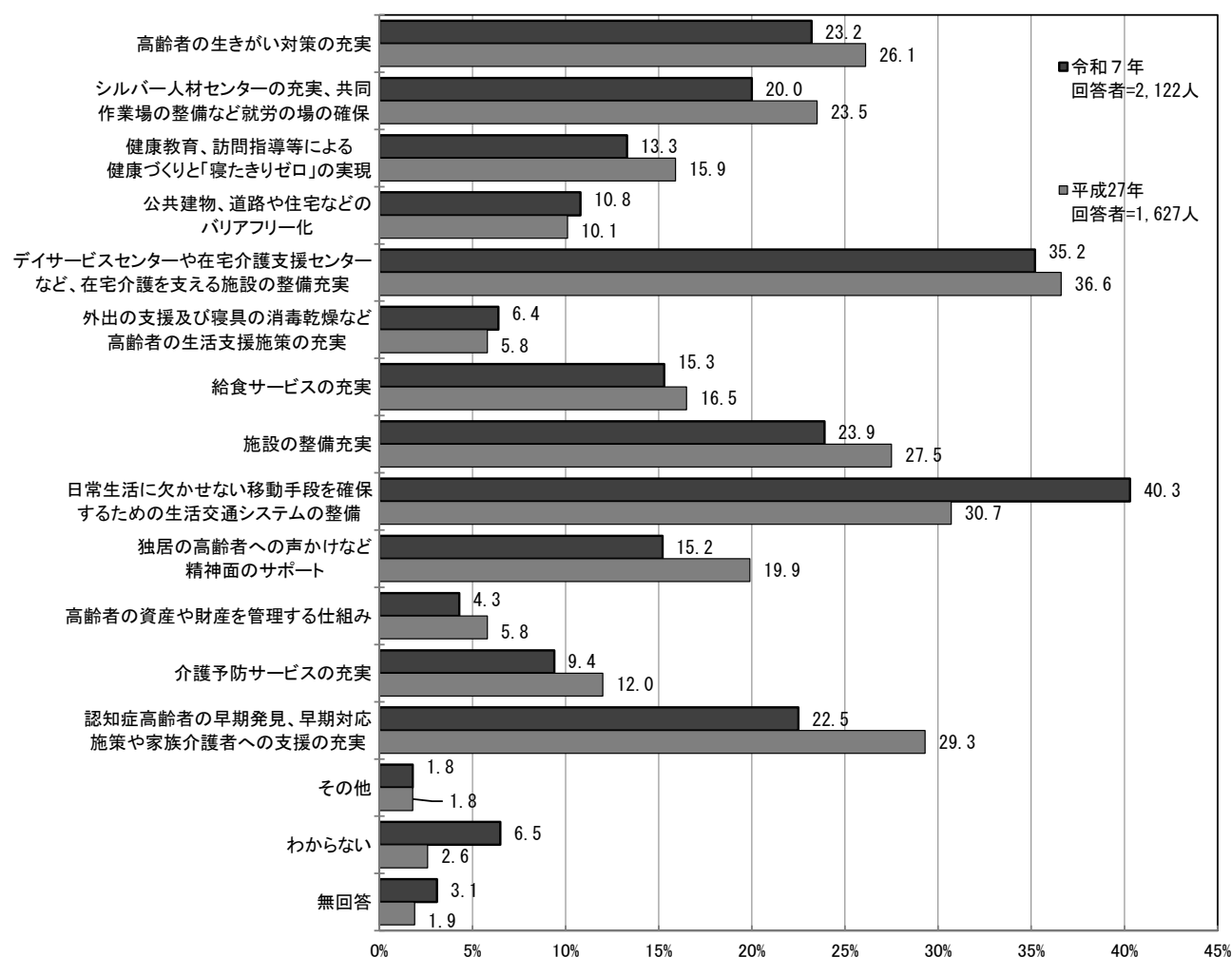
問 21 高齢者の増加に伴い、今後どのようなことに重点を置いたらよいと思いますか。特に重点を置くべきものを3つ選んでください。(MA)

「日常生活に欠かせない移動手段を確保するための生活交通システムの整備」が 40.3%で最も高くなっています。次いで「デイサービスセンターや在宅介護支援センターなど、在宅介護を支える施設の整備充実」が 35.2%、「施設の整備充実」が 23.9%で続いています。

(MA) n=2, 122



今回調査は前回調査に比べて、「日常生活に欠かせない移動手段を確保するための生活交通システムの整備」の割合が高くなっています。



地区別にみると、日積地区で「シルバー人材センターの充実、共同作業場の整備など就労の場の確保」、余田地区で「デイサービスセンター（給食、入浴サービス等のある通所施設）や在宅介護支援センターなど、在宅介護を支える施設の整備充実」、伊保庄地区で「高齢者の生きがい対策（趣味やスポーツ、社会参加）の充実」、阿月地区で「日常生活に欠かせない移動手段を確保するための生活交通システムの整備」、平郡地区で「健康教育、訪問指導等による健康づくりと『寝たきりゼロ』の実現」、「独居の高齢者への声かけなど精神面のサポート」、大畠地区で「日常生活に欠かせない移動手段を確保するための生活交通システムの整備」の割合が全体と比べて高くなっています。

	地区									
	全体 n=2,122	柳井地区 n=361	日積地区 n=219	伊陸地区 n=228	新庄地区 n=230	余田地区 n=185	伊保庄地区 n=227	阿月地区 n=170	平郡地区 n=75	大畠地区 n=221
高齢者の生きがい対策（趣味やスポーツ、社会参加）の充実	23.2	24.7	22.8	22.8	25.7	21.1	29.1	21.8	17.3	22.6
シルバー人材センターの充実、共同作業場の整備など就労の場の確保	20.0	23.3	29.7	17.5	22.2	18.4	18.9	14.1	16.0	20.8
健康教育、訪問指導等による健康づくりと『寝たきりゼロ』の実現	13.3	14.7	11.9	16.7	10.4	12.4	13.7	11.8	20.0	14.0
公共建物、道路や住宅などのバリアフリー化	10.8	11.9	9.1	7.9	13.9	11.4	11.5	10.6	12.0	11.3
デイサービスセンター（給食、入浴サービス等のある通所施設）や在宅介護支援センターなど、在宅介護を支える施設の整備充実	35.2	34.3	39.7	38.6	30.4	43.2	30.4	36.5	32.0	32.6
外出の支援及び寝具の消毒乾燥など高齢者の生活支援施策の充実	6.4	7.2	5.0	5.3	8.3	6.5	6.2	5.3	5.3	7.2
給食サービスの充実	15.3	15.8	14.6	17.5	13.9	8.6	17.2	17.6	14.7	13.6
施設の整備充実（特別養護老人ホーム、ケアハウス、認知症高齢者グループホーム、老人保健施設）	23.9	26.6	24.7	23.2	21.7	28.1	22.0	28.8	21.3	21.3
日常生活に欠かせない移動手段を確保するための生活交通システムの整備	40.3	33.8	42.5	42.5	42.6	44.3	39.2	47.6	12.0	46.6
独居の高齢者への声かけなど精神面のサポート	15.2	13.6	15.5	18.4	13.9	12.4	13.7	17.6	28.0	14.0
高齢者の資産や財産を管理する仕組み	4.3	2.8	5.9	2.6	5.2	4.9	3.5	5.3	4.0	5.9
介護予防サービスの充実（転倒骨折予防教室、筋力向上トレーニング、運動指導など）	9.4	9.1	8.2	8.8	9.1	5.4	11.5	8.2	5.3	10.0
認知症高齢者の早期発見、早期対応施策や家族介護者への支援の充実	22.5	19.4	20.1	24.6	25.2	20.5	23.3	25.9	25.3	20.8
その他	1.8	3.0	1.4	1.3	1.7	2.2	1.8	0.6	4.0	0.9
わからない	6.5	8.3	5.9	3.9	6.5	4.9	6.6	2.9	13.3	7.7
無回答	3.1	0.8	1.8	5.7	1.7	2.2	3.1	1.8	6.7	2.3

5年後の幸福度別にみると、不幸せで「給食サービスの充実」、「日常生活に欠かせない移動手段を確保するための生活交通システムの整備」、幸せで「高齢者の生きがい対策（趣味やスポーツ、社会参加の充実）」の割合が全体と比べて高くなっています。

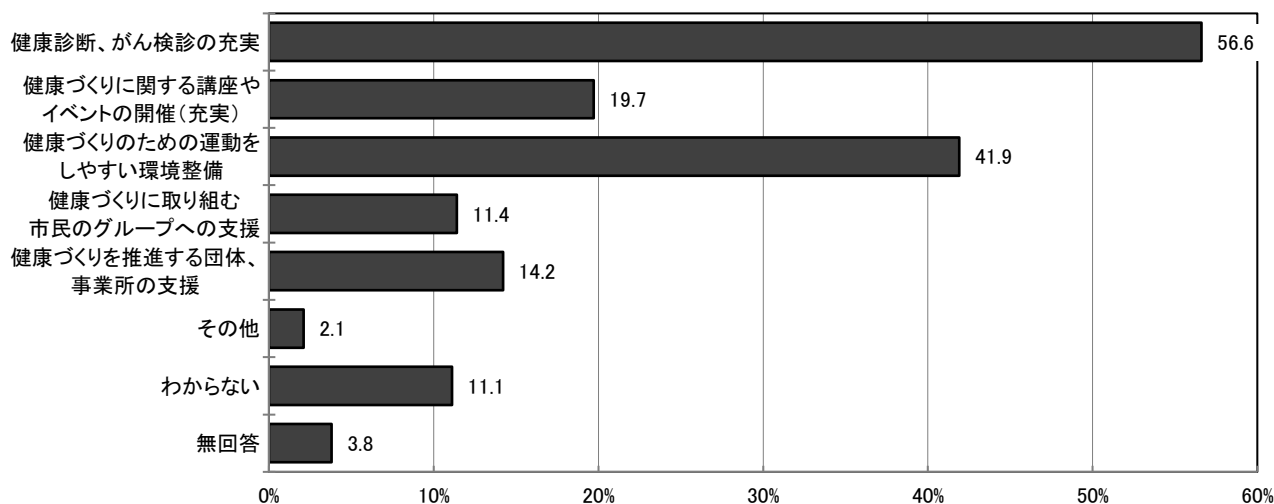
	5年後の幸福度			
	全体 n=2,122	不幸せ n=297	普通 n=897	幸せ n=845
高齢者の生きがい対策（趣味やスポーツ、社会参加）の充実	23.2	17.5	20.3	28.8
シルバー人材センターの充実、共同作業場の整備など就労の場の確保	20.0	17.2	19.0	22.7
健康教育、訪問指導等による健康づくりと『寝たきりゼロ』の実現	13.3	10.4	12.3	15.6
公共建物、道路や住宅などのバリアフリー化	10.8	12.1	10.8	10.7
デイサービスセンター（給食、入浴サービス等のある通所施設）や在宅介護支援センターなど、在宅介護を支える施設の整備充実	35.2	31.0	36.8	35.3
外出の支援及び寝具の消毒乾燥など高齢者の生活支援施策の充実	6.4	8.1	6.6	6.0
給食サービスの充実	15.3	20.5	16.1	12.3
施設の整備充実（特別養護老人ホーム、ケアハウス、認知症高齢者グループホーム、老人保健施設）	23.9	26.3	23.9	23.8
日常生活に欠かせない移動手段を確保するための生活交通システムの整備	40.3	45.5	42.6	36.6
独居の高齢者への声かけなど精神面のサポート	15.2	13.1	16.1	15.0
高齢者の資産や財産を管理する仕組み	4.3	6.1	4.6	3.6
介護予防サービスの充実（転倒骨折予防教室、筋力向上トレーニング、運動指導など）	9.4	7.1	9.0	9.9
認知症高齢者の早期発見、早期対応施策や家族介護者への支援の充実	22.5	22.9	23.6	21.9
その他	1.8	2.7	2.0	1.4
わからない	6.5	8.8	5.0	6.9
無回答	3.1	2.4	3.0	2.1

5. 健康づくりについて

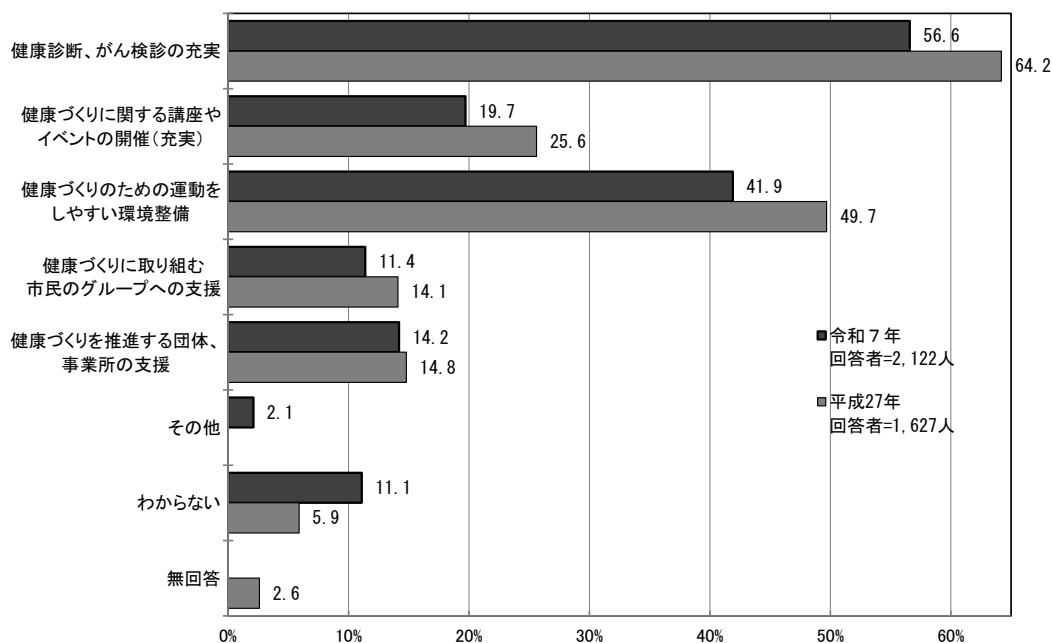
問 22 健康づくりのために、今後どのようなことに重点を置いたらよいと思いますか。特に重点を置くべきものを2つ選んでください。(MA)

「健康診断、がん検診の充実」が56.6%で最も高くなっています。次いで「健康づくりのための運動をしやすい環境整備」が41.9%、「健康づくりに関する講座やイベントの開催(充実)」が19.7%が続いています。

(MA) n=2,122



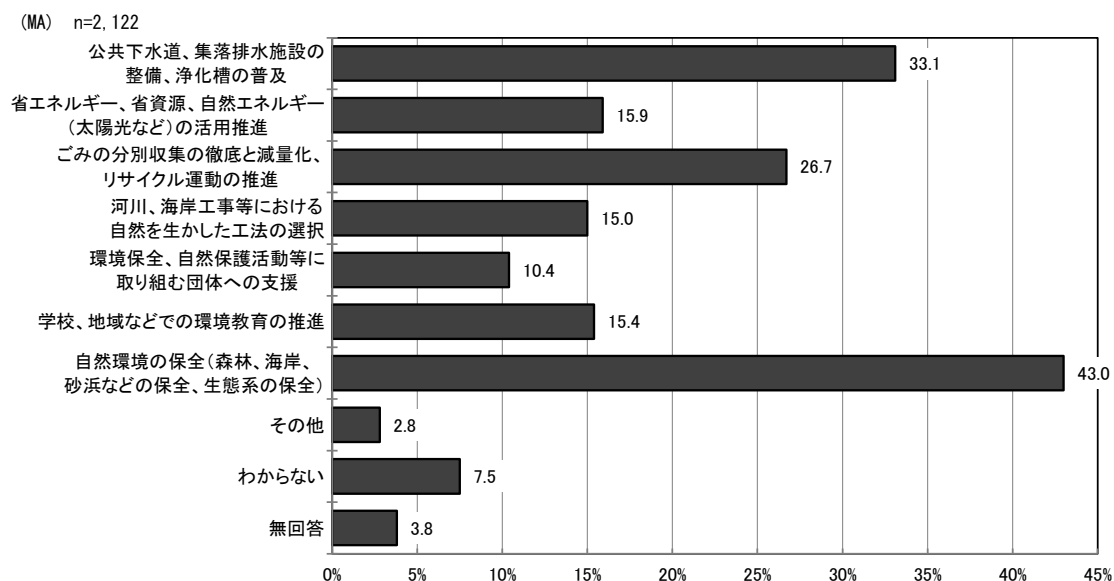
今回調査は前回調査に比べて、「健康づくりのための運動をしやすい環境整備」、「健康診断、がん検診の充実」、「健康づくりに関する講座やイベントの開催(充実)」の割合が低くなっています。



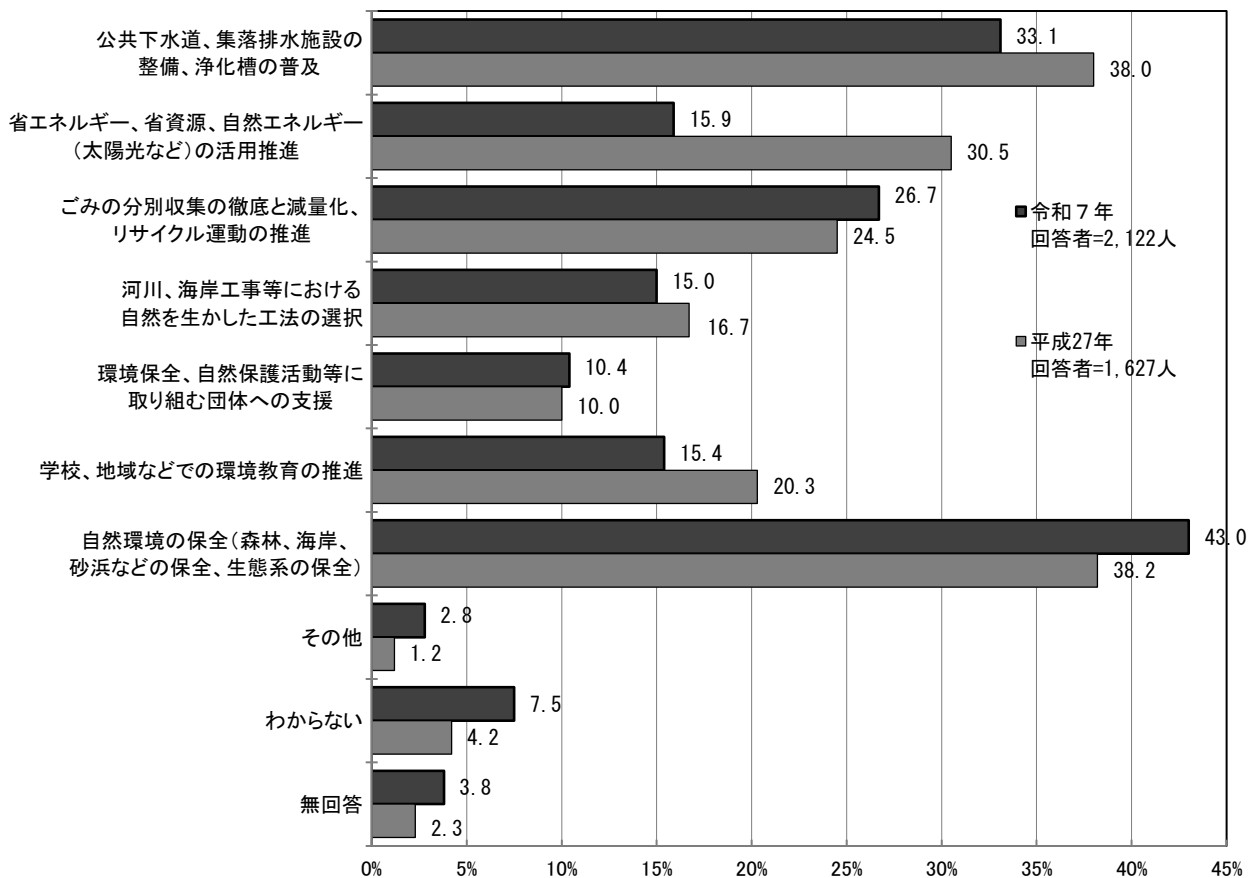
6. 環境問題、美しいまちづくりについて

問 23 環境を守るために、今後どのようなことに重点を置いたらよいと思いますか。特に重点を置くべきものを2つ選んでください。(MA)

「自然環境の保全(森林、海岸、砂浜などの保全、生態系の保全)」が 43.0%で最も高くなっています。次いで「公共下水道、集落排水施設の整備、浄化槽の普及」が 33.1%、「ごみの分別収集の徹底と減量化、リサイクル運動の推進」が 26.7%で続いています。



今回調査は前回調査に比べて「自然環境の保全(森林、海岸、砂浜などの保全、生態系の保全)」の割合が高くなっています。



地区別にみると、新庄地区で「公共下水道、集落排水施設の整備、浄化槽の普及」、余田地区で「省エネルギー、省資源、自然エネルギー(太陽光など)の活用推進」、阿月地区で「河川、海岸工事等における自然を生かした工法の選択」、「自然環境の保全(森林、海岸、砂浜などの保全、生態系の保全)」、平郡地区で「自然環境の保全(森林、海岸、砂浜などの保全、生態系の保全)」の割合が全体と比べて高くなっています。

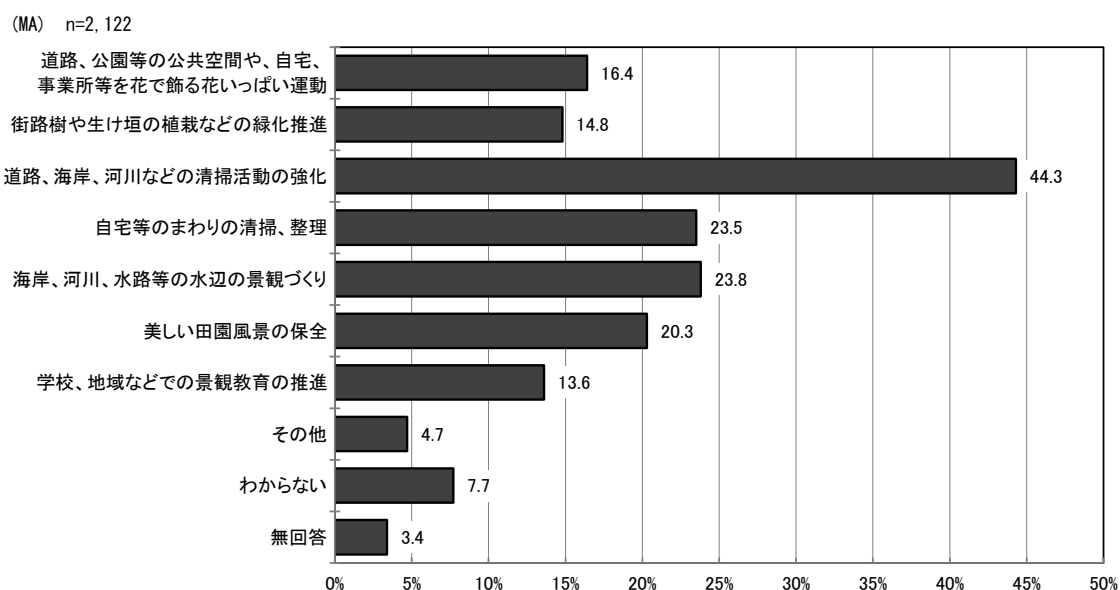
	地区									
	全体 n=2,122	柳井地区 n=361	日積地区 n=219	伊陸地区 n=228	新庄地区 n=230	余田地区 n=185	伊保庄地区 n=227	阿月地区 n=170	平郡地区 n=75	大畠地区 n=221
公共下水道、集落排水施設の整備、浄化槽の普及	33.1	38.0	34.2	27.6	40.0	29.7	34.4	27.1	29.3	32.6
省エネルギー、省資源、自然エネルギー(太陽光など)の活用推進	15.9	16.6	14.6	15.8	17.4	22.2	14.5	16.5	12.0	15.4
ごみの分別収集の徹底と減量化、リサイクル運動の推進	26.7	26.6	23.7	28.1	27.0	28.1	29.5	25.3	22.7	25.3
河川、海岸工事等における自然を生かした工法の選択	15.0	15.8	17.8	14.0	18.7	16.8	13.2	21.2	6.7	13.6
環境保全、自然保護活動等に取り組む団体への支援	10.4	11.1	9.6	10.5	9.1	9.7	10.6	8.8	8.0	12.7
学校、地域などでの環境教育の推進	15.4	18.0	18.7	17.1	13.0	18.4	14.5	11.2	10.7	13.6
自然環境の保全(森林、海岸、砂浜などの保全、生態系の保全)	43.0	36.0	40.6	43.4	39.6	40.0	45.8	59.4	50.7	45.2
その他	2.8	3.3	1.4	4.4	1.3	3.2	3.5	4.1	1.3	3.2
わからない	7.5	7.2	9.6	7.5	5.7	4.9	6.6	5.9	12.0	10.0
無回答	3.8	1.9	3.2	5.3	3.5	2.2	3.1	1.2	9.3	2.3

不幸せで「河川、海岸工事等における自然を生かした工法の選択」の割合が全体と比べて高く、「ごみの分別収集の徹底と減量化、リサイクル運動の推進」の割合が低くなっています。

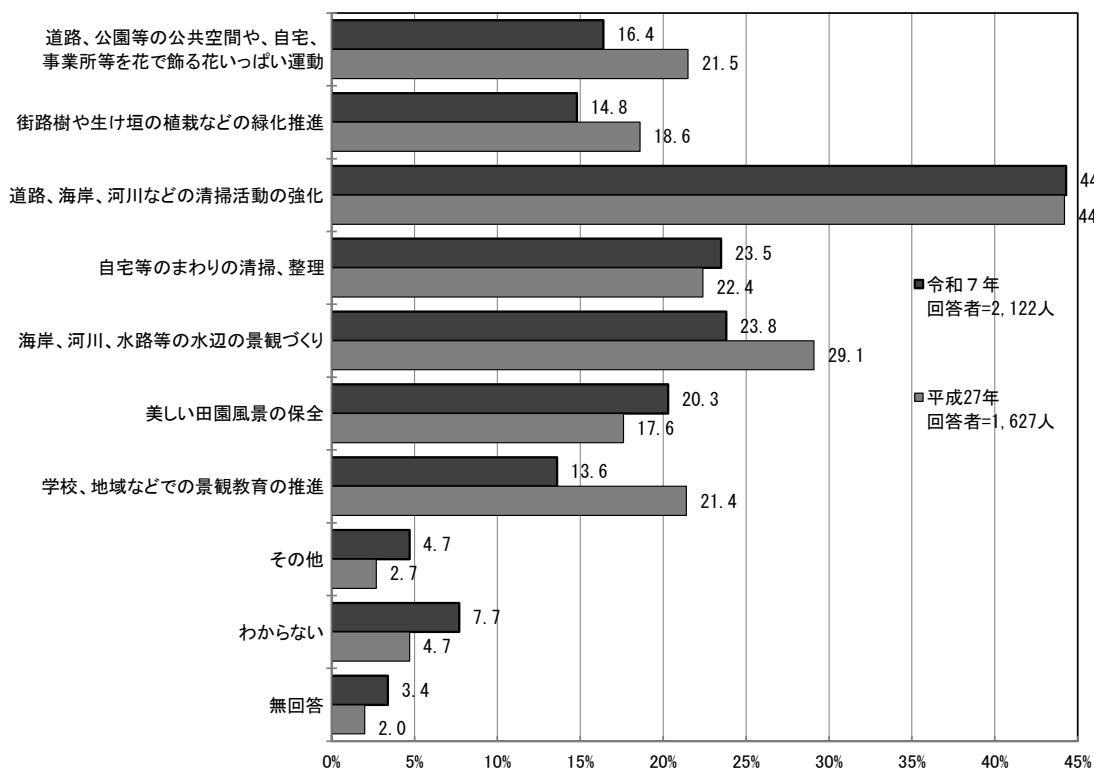
	現在の幸福度			
	全体 n=2,122	不幸せ n=182	普通 n=867	幸せ n=995
公共下水道、集落排水施設の整備、浄化槽の普及	33.1	37.4	33.4	32.2
省エネルギー、省資源、自然エネルギー(太陽光など)の活用推進	15.9	14.8	15.1	17.5
ごみの分別収集の徹底と減量化、リサイクル運動の推進	26.7	18.7	27.2	27.7
河川、海岸工事等における自然を生かした工法の選択	15.0	20.3	13.5	15.7
環境保全、自然保護活動等に取り組む団体への支援	10.4	9.9	10.4	10.6
学校、地域などでの環境教育の推進	15.4	13.7	14.5	16.6
自然環境の保全(森林、海岸、砂浜などの保全、生態系の保全)	43.0	34.1	43.6	45.3
その他	2.8	4.4	2.5	2.9
わからない	7.5	10.4	8.8	5.5
無回答	3.8	2.7	4.0	2.5

問 24 美しく住みよいまちづくりのために、今後どのようなことに重点を置いたらよいと思いますか。特に重点を置くべきものを2つ選んでください。(MA)

「道路、海岸、河川などの清掃活動の強化」が 44.3%で最も高くなっています。次いで「海岸、河川、水路等の水辺の景観づくり」が 23.8%、「自宅等のまわりの清掃、整理」が 23.5%で続いています。



今回調査は前回調査に比べて、「学校、地域などでの景観教育の推進」、「海岸、河川、水路等の水辺の景観づくり」、「道路、公園等の公共空間や、自宅、事業所等を花で飾る花いっぱい運動」の割合が低くなっています。

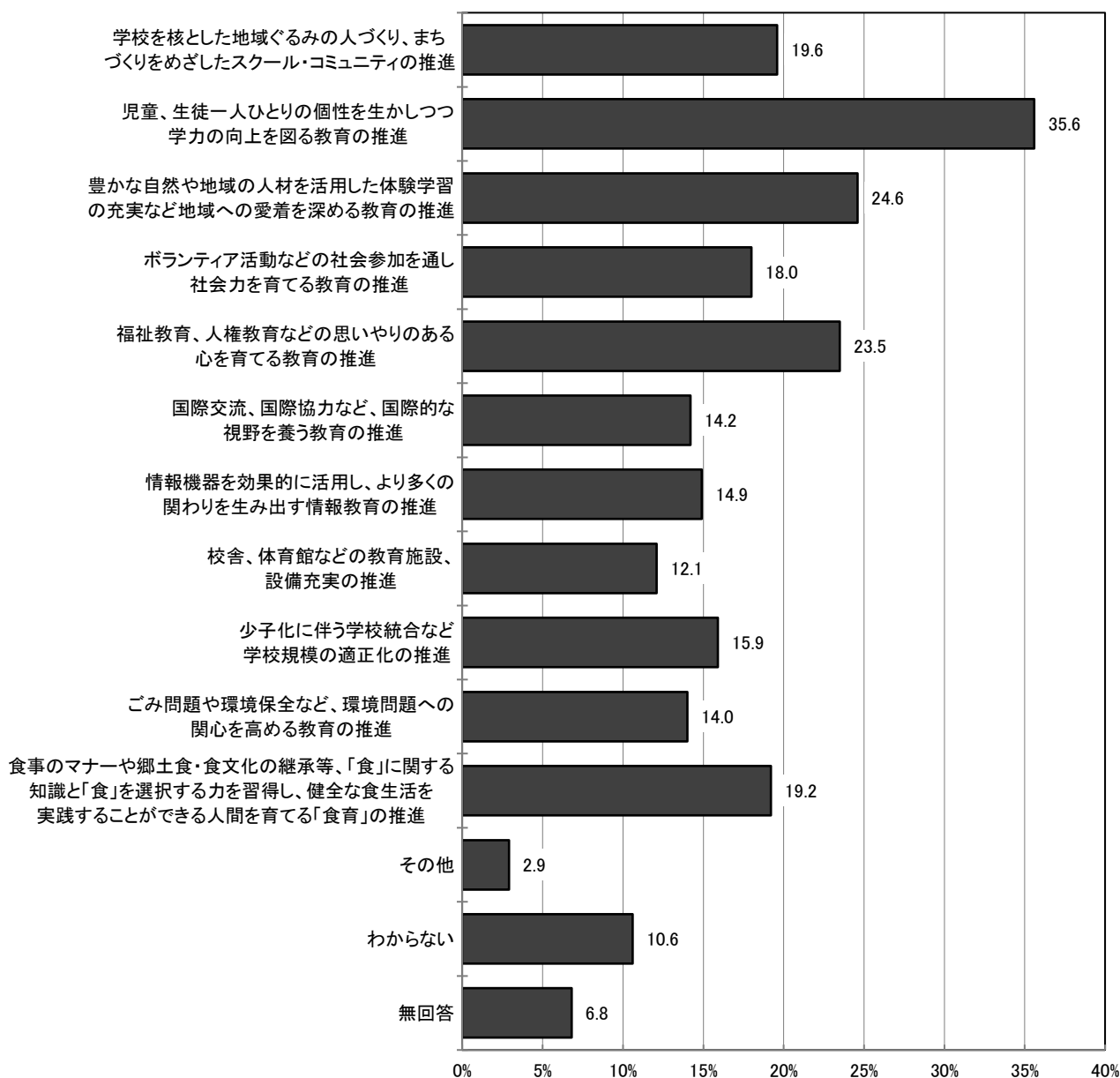


7. 教育・生涯学習について

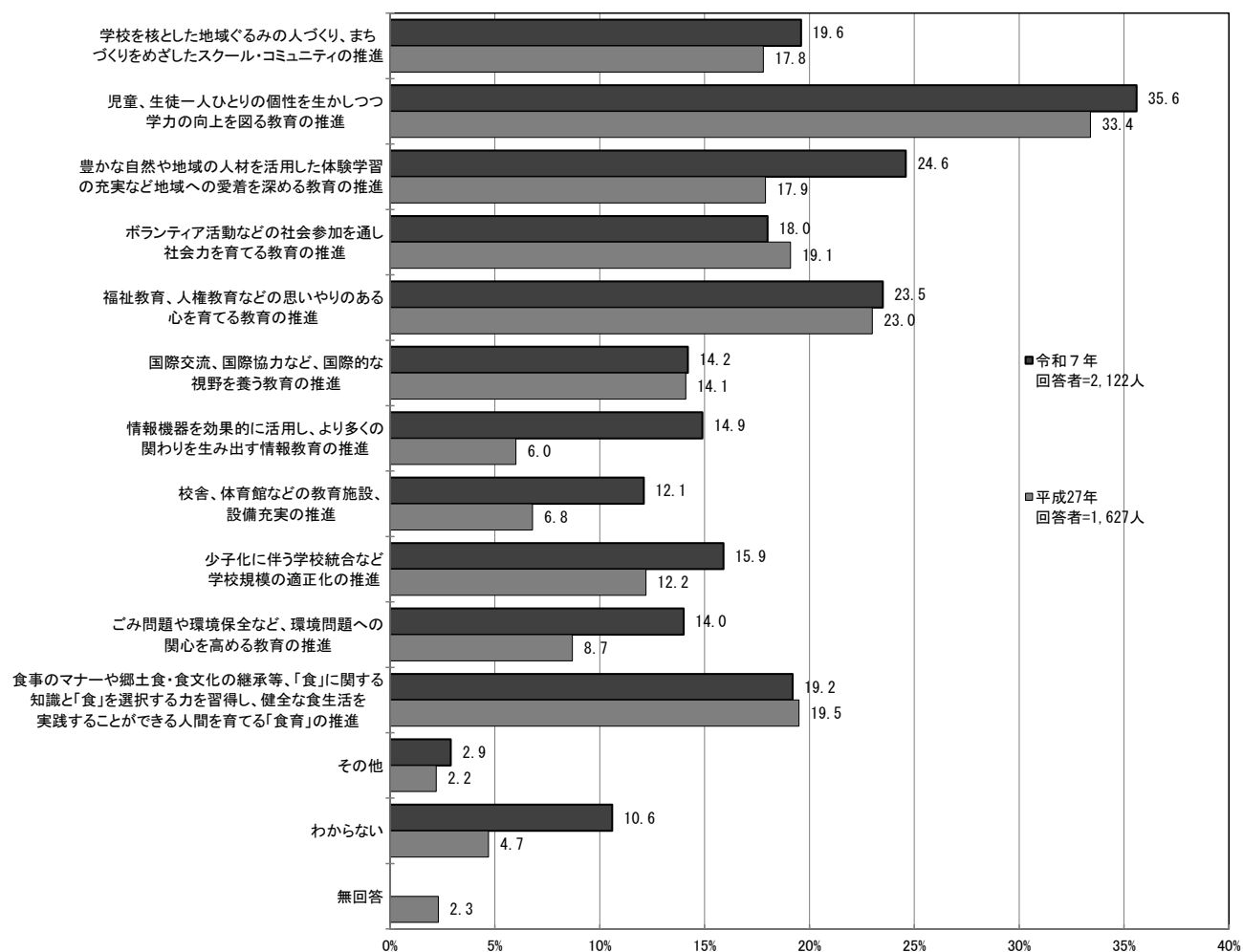
問 25 学校教育について、今後どのようなことに重点を置いたらよいと思いますか。特に重点を置くべきものを3つ選んでください。(MA)

「児童、生徒一人ひとりの個性を生かしつつ学力の向上を図る教育の推進」が 35.6%で最も高くなっています。次いで「豊かな自然や地域の人材を活用した体験学習の充実など地域への愛着を深める教育の推進」が 24.6%、「福祉教育、人権教育などの思いやりのある心を育てる教育の推進」が 23.5%で続いています。

(MA) n=2, 122



今回調査は前回調査に比べて、「情報機器を効果的に活用し、より多くの関わりを生み出す情報教育の推進」、「豊かな自然や地域の人材を活用した体験学習の充実など地域への愛着を深める教育の推進」が、「校舎、体育館などの教育施設、設備充実の推進」と「ごみ問題や環境保全など、環境問題への関心を高める教育の推進」の割合が高くなっています。



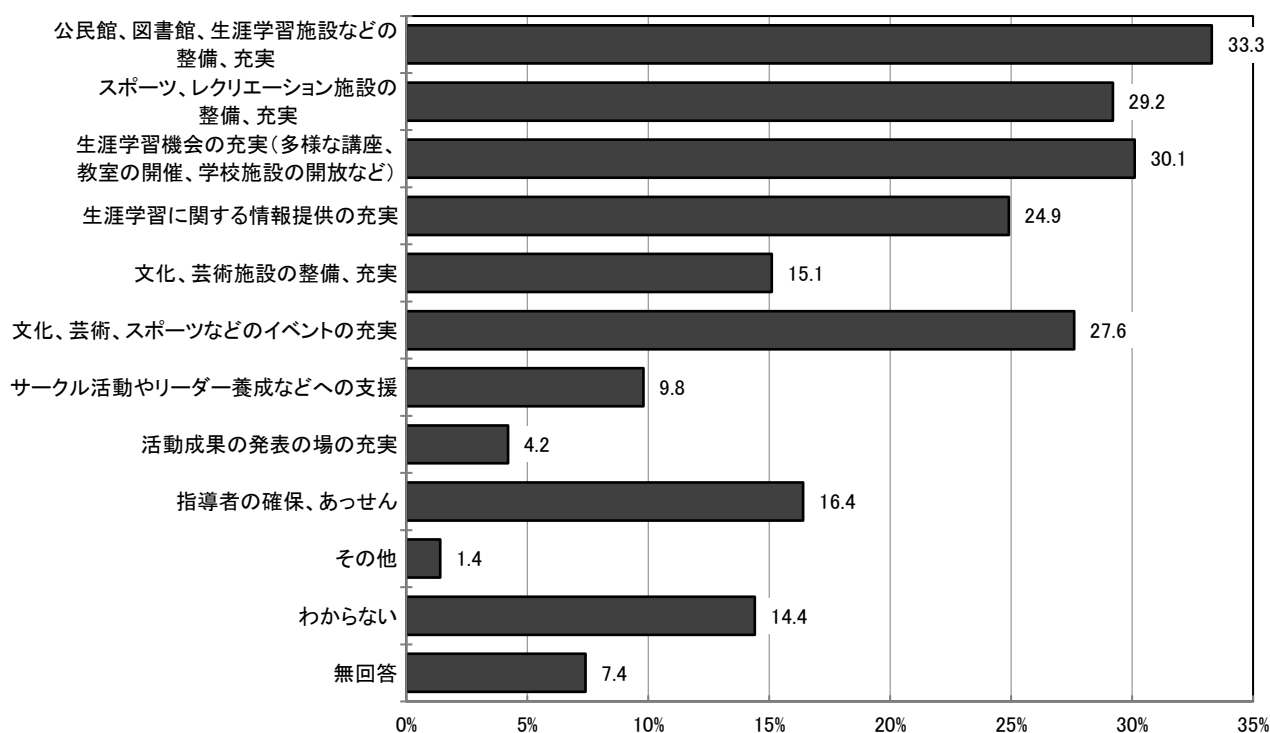
年齢別にみると、19 歳以下で「校舎・体育館などの教育施設、設備充実の推進」、20～29 歳で「児童、生徒一人ひとりの個性を生かしつつ学力の向上を図る教育の推進」、「情報機器を効果的に活用し、より多くの関わりを生み出す情報教育の推進」、「校舎・体育館などの教育施設、設備充実の推進」、30～39 歳で「児童、生徒一人ひとりの個性を生かしつつ学力の向上を図る教育の推進」、「国際交流、国際協力など、国際的な視野を養う教育の推進」、「情報機器を効果的に活用し、より多くの関わりを生み出す情報教育の推進」、40～49 歳で「児童、生徒一人ひとりの個性を生かしつつ学力の向上を図る教育の推進」、「少子化に伴う学校統合など学校規模の適正化の推進」、50～59 歳で「豊かな自然や地域の人材を活用した体験学習の充実など地域への愛着を深める教育の推進」、「食事のマナーや郷土食・食文化の継承等、『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる『食育』の推進」、60～69 歳で「ボランティア活動などの社会参加を通し社会力を育てる教育の推進」の割合が全体と比べて高くなっています。

	年齢							
	全体 n=2,122	19歳以下 n=107	20～29歳 n=136	30～39歳 n=226	40～49歳 n=250	50～59歳 n=272	60～69歳 n=373	70歳以上 n=720
学校を核とした地域ぐるみの人づくり、まちづくりをめざしたスクール・コミュニティの推進	19.6	17.8	20.6	20.4	16.4	19.1	22.3	19.2
児童、生徒一人ひとりの個性を生かしつつ学力の向上を図る教育の推進	35.6	40.2	44.1	47.8	44.0	36.4	34.6	27.4
豊かな自然や地域の人材を活用した体験学習の充実など地域への愛着を深める教育の推進	24.6	22.4	27.9	19.0	23.6	30.9	26.3	23.3
ボランティア活動などの社会参加を通し社会力を育てる教育の推進	18.0	15.0	12.5	15.0	15.2	18.4	23.6	18.2
福祉教育、人権教育などの思いやりのある心を育てる教育の推進	23.5	15.9	18.4	18.1	22.4	26.5	24.7	26.7
国際交流、国際協力など、国際的な視野を養う教育の推進	14.2	16.8	16.9	23.9	18.4	12.1	15.5	9.7
情報機器を効果的に活用し、より多くの関わりを生み出す情報教育の推進	14.9	11.2	25.7	22.6	18.0	16.9	14.7	9.4
校舎、体育館などの教育施設、設備充実の推進	12.1	26.2	21.3	15.9	16.0	14.0	11.0	5.4
少子化に伴う学校統合など学校規模の適正化の推進	15.9	11.2	16.9	17.7	24.4	15.1	13.1	14.7
ごみ問題や環境保全など、環境問題への関心を高める教育の推進	14.0	10.3	10.3	9.3	8.8	14.7	18.0	16.3
食事のマナーや郷土食・食文化の継承等、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる「食育」の推進	19.2	16.8	14.0	19.9	19.2	24.3	18.0	18.8
その他	2.9	—	1.5	4.0	5.6	2.9	3.2	1.9
わからない	10.6	15.0	8.8	8.8	7.6	8.5	7.5	14.4
無回答	6.8	0.9	2.2	2.7	2.4	2.9	4.3	13.1

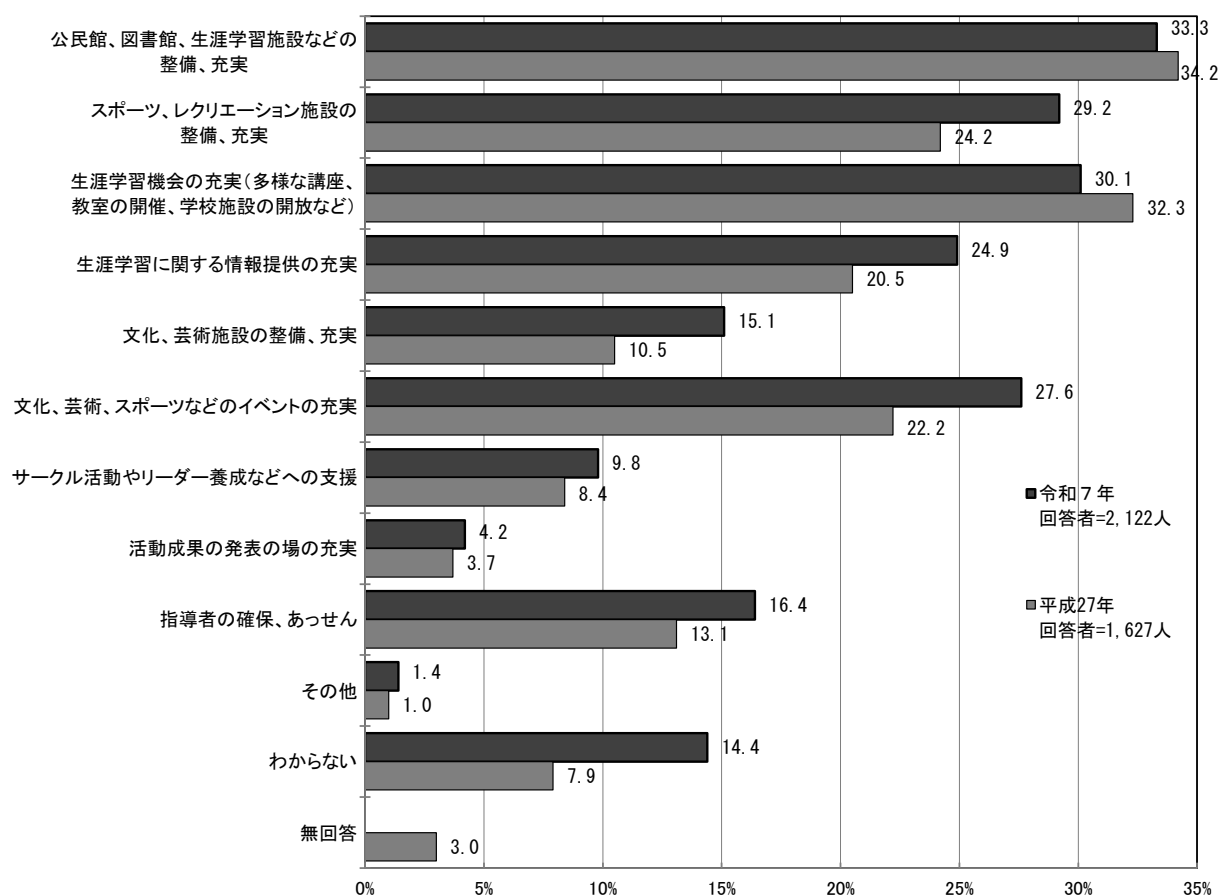
問 26 生涯学習の取組として、今後どのようなことに重点を置いたらよいと思いますか。
特に重点を置くべきものを3つ選んでください。(MA)

「公民館、図書館、生涯学習施設などの整備、充実」が 33.3%で最も高くなっています。次いで「生涯学習機会の充実(多様な講座、教室の開催、学校施設の開放など)」が 30.1%、「スポーツ、レクリエーション施設の整備、充実」が 29.2%で続いています。

(MA) n=2,122



今回調査は前回調査に比べて、「文化、芸術、スポーツなどのイベントの充実」が5.4ポイント、「スポーツ、レクリエーション施設の整備、充実」の割合が高くなっています。



年齢別にみると、19歳以下で「公民館、図書館、生涯学習施設などの整備、充実」、「スポーツ、レクリエーション施設の整備、充実」、「文化、芸術、スポーツなどのイベントの充実」、20～29歳で「公民館、図書館、生涯学習施設などの整備、充実」、「スポーツ、レクリエーション施設の整備、充実」、30～39歳で「スポーツ、レクリエーション施設の整備、充実」、「指導者の確保、あつせん」、40～49歳で「公民館、図書館、生涯学習施設などの整備、充実」、「スポーツ、レクリエーション施設の整備、充実」、「文化・芸術施設の整備、充実」、50～59歳で「公民館、図書館、生涯学習施設などの整備、充実」、「文化・芸術施設の整備、充実」、60～69歳で「生涯学習機会の充実(多様な講座、教室の開催、学校施設の開放など)」、「文化・芸術施設の整備、充実」、70歳以上で「生涯学習に関する情報提供の充実」の割合が全体と比べて高くなっています。

	年齢							
	全体 n=2,122	19歳以下 n=107	20～29歳 n=136	30～39歳 n=226	40～49歳 n=250	50～59歳 n=272	60～69歳 n=373	70歳以上 n=720
公民館、図書館、生涯学習施設などの整備、充実	33.3	43.0	42.6	35.4	38.4	38.6	30.6	27.9
スポーツ、レクリエーション施設の整備、充実	29.2	50.5	47.8	38.9	36.8	33.8	23.9	18.1
生涯学習機会の充実(多様な講座、教室の開催、学校施設の開放など)	30.1	22.4	23.5	27.4	34.4	31.3	35.4	28.9
生涯学習に関する情報提供の充実	24.9	7.5	20.6	16.8	20.0	27.6	28.2	30.3
文化、芸術施設の整備、充実	15.1	8.4	14.7	14.2	20.8	20.6	20.1	9.7
文化、芸術、スポーツなどのイベントの充実	27.6	36.4	30.9	30.1	32.0	29.4	31.4	20.6
サークル活動やリーダー養成などへの支援	9.8	7.5	10.3	9.7	8.8	8.5	8.0	11.9
活動成果の発表の場の充実	4.2	7.5	3.7	8.4	2.4	2.6	4.0	3.8
指導者の確保、あつせん	16.4	8.4	16.2	23.5	15.6	14.3	18.0	15.6
その他	1.4	-	0.7	1.3	2.4	1.5	2.1	0.8
わからない	14.4	17.8	15.4	10.6	12.0	11.0	12.1	18.3
無回答	7.4	1.9	3.7	4.0	2.4	3.3	4.6	13.8

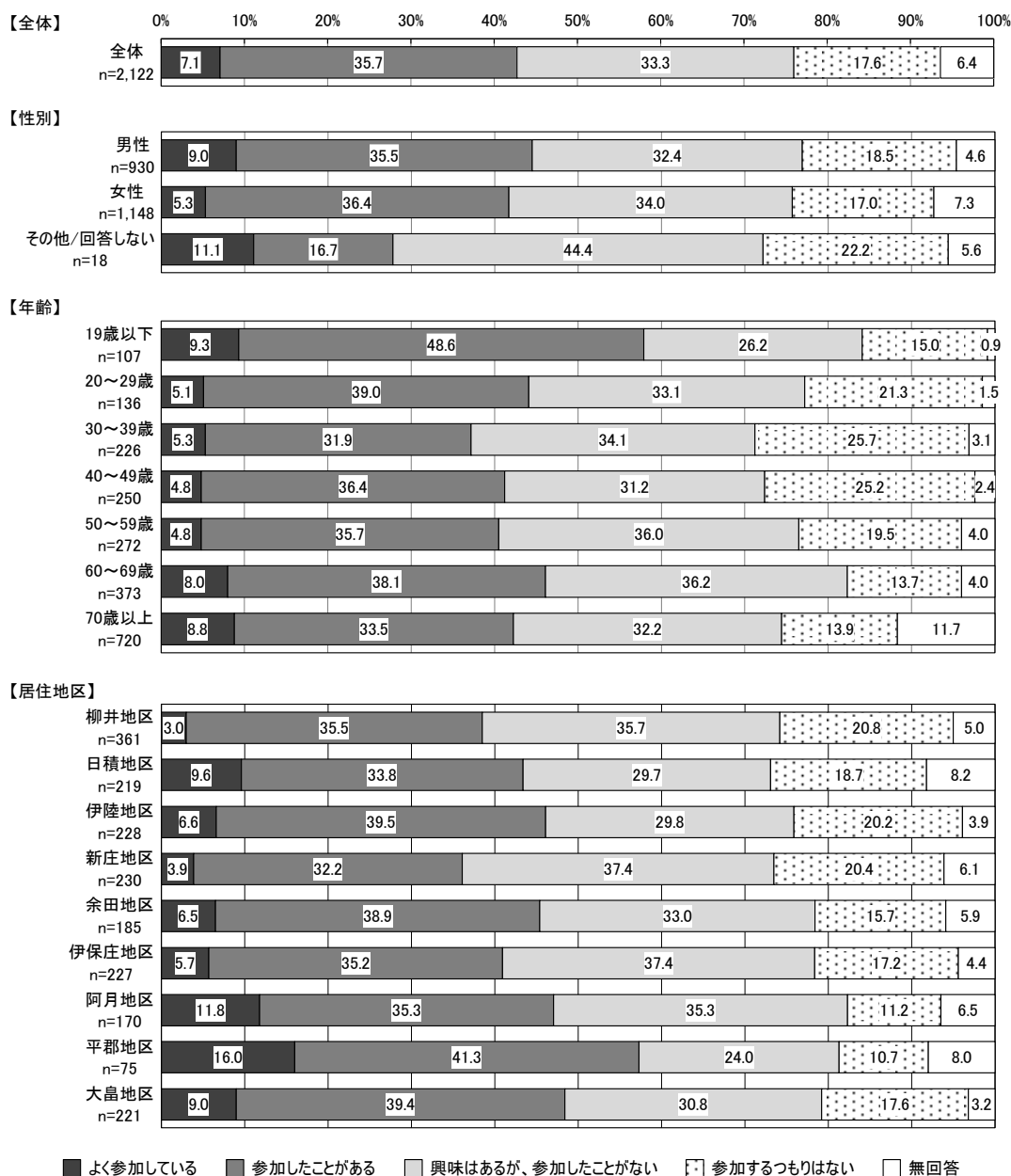
8. 今後のまちづくりについて

問 27 これまで地域活動・ボランティア活動やNPO活動などの社会貢献活動に参加したことがありますか。(SA)

「参加したことがある」が 35.7%で最も高くなっています。次いで「興味はあるが、参加したことがない」が 33.3%、「参加するつもりはない」が 17.6%で続いています。参加した層(「よく参加している」+「参加したことがある」)は4割以上となっています。

年齢別にみると、19歳以下で参加した層の割合が高くなっています。

地区別にみると、平郡地区と大畠地区で参加した層の割合が高くなっています。



現在の幸福度別にみると、不幸せで「参加するつもりはない」の割合が全体と比べて高くなっています。

	現在の現在の幸福度			
	全体 n=2,122	不幸せ n=182	普通 n=867	幸せ n=995
よく参加している	7.1	6.6	4.6	9.1
参加したことがある	35.7	28.6	33.3	39.7
興味はあるが、参加したことがない	33.3	29.7	35.4	32.5
参加するつもりはない	17.6	29.1	20.2	13.7
無回答	6.4	6.0	6.5	5.0

5年後の幸福度別にみると、不幸せで「参加するつもりはない」の割合が全体と比べて高くなっています。

	5年後の幸福度			
	全体 n=2,122	不幸せ n=297	普通 n=897	幸せ n=845
よく参加している	7.1	5.4	5.4	9.3
参加したことがある	35.7	30.6	34.7	39.5
興味はあるが、参加したことがない	33.3	32.3	34.7	32.3
参加するつもりはない	17.6	24.9	18.8	14.3
無回答	6.4	6.7	6.5	4.5

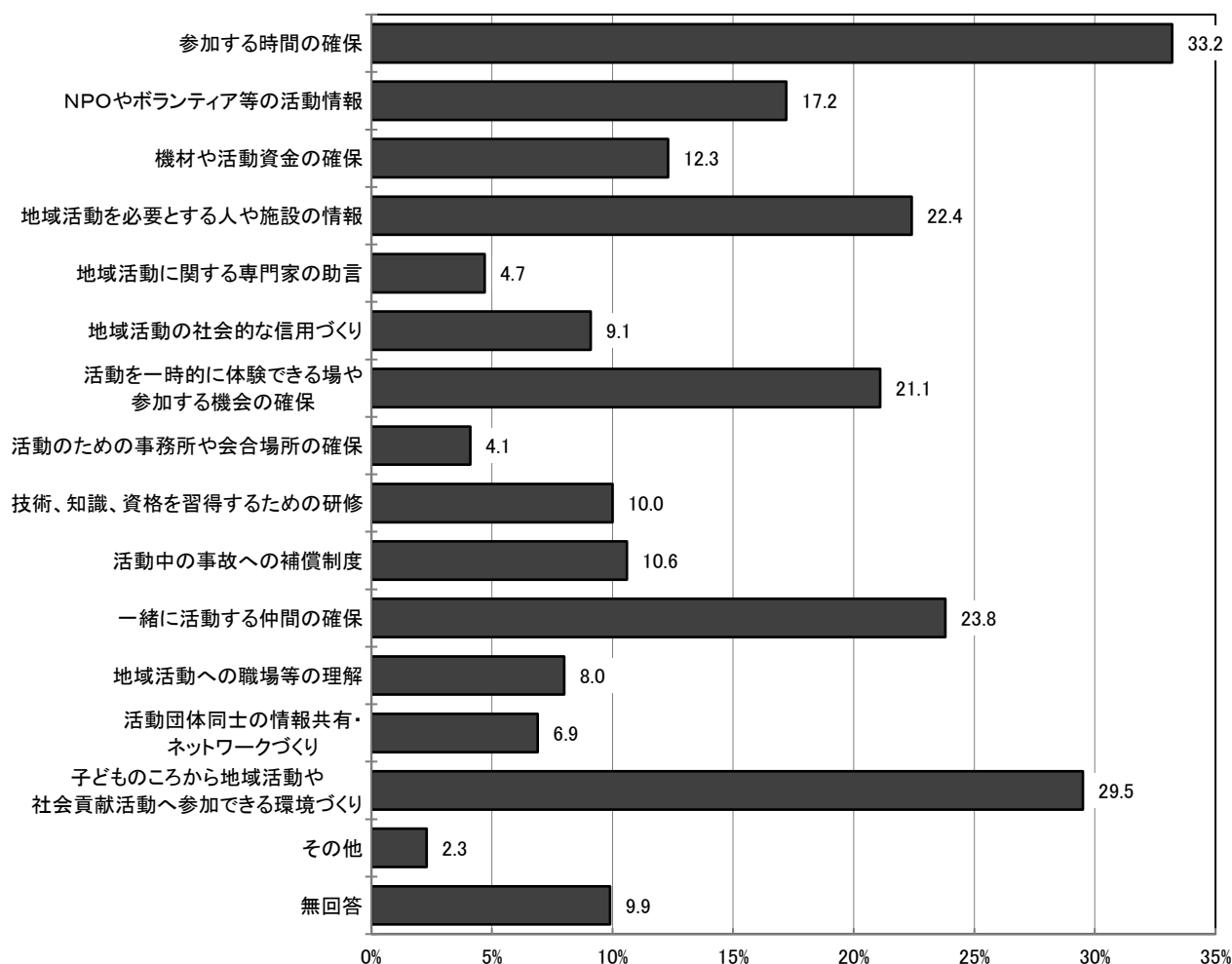
暮らしの満足度別にみると、不満足で「参加するつもりはない」、満足で「参加したことがある」の割合が全体と比べて高くなっています。

	暮らしの満足度			
	全体 n=2,122	不満足 n=359	普通 n=930	満足 n=758
よく参加している	7.1	6.7	4.8	9.9
参加したことがある	35.7	27.0	36.1	40.8
興味はあるが、参加したことがない	33.3	31.2	35.7	31.1
参加するつもりはない	17.6	28.7	17.0	13.3
無回答	6.4	6.4	6.3	4.9

問 28 地域活動や社会貢献活動に参加しやすくなるためには何が必要だと思いますか。
(MA)

「参加する時間の確保」が 33.2%で最も高くなっています。次いで「子どものころから地域活動や社会貢献活動へ参加できる環境づくり」が 29.5%、「一緒に活動する仲間の確保」が 23.8%で続いています。

(MA) n=2, 122



年齢別にみると、19 歳以下と 20～29 歳、40～49 歳、50～59 歳で「参加する時間の確保」、30～39 歳で「参加する時間の確保」、「地域活動への職場等の理解」、60～69 歳で「活動を一時的に体験できる場や参加する機会の確保」の割合が全体と比べて高くなっています。

	年齢							
	全体 n=2,122	19歳以下 n=107	20～29歳 n=136	30～39歳 n=226	40～49歳 n=250	50～59歳 n=272	60～69歳 n=373	70歳以上 n=720
参加する時間の確保	33.2	50.5	51.5	50.4	54.0	38.2	24.9	17.8
NPOやボランティア等の活動情報	17.2	17.8	21.3	15.9	18.8	20.6	17.7	15.1
機材や活動資金の確保	12.3	10.3	10.3	14.6	14.8	14.0	13.9	9.9
地域活動を必要とする人や施設の情報	22.4	9.3	15.4	20.8	18.0	25.4	26.0	25.1
地域活動に関する専門家の助言	4.7	2.8	5.1	3.1	3.6	4.4	5.4	5.6
地域活動の社会的な信用づくり	9.1	10.3	10.3	11.5	8.4	6.6	11.0	8.2
活動を一時的に体験できる場や参加する機会の確保	21.1	22.4	17.6	19.5	15.2	21.7	27.1	20.7
活動のための事務所や会合場所の確保	4.1	5.6	5.1	3.1	1.2	3.7	4.0	5.0
技術、知識、資格を習得するための研修	10.0	7.5	10.3	7.1	13.2	11.0	11.5	9.2
活動中の事故への補償制度	10.6	5.6	5.9	7.1	9.6	11.0	13.4	11.8
一緒に活動する仲間の確保	23.8	28.0	24.3	24.3	24.8	21.7	19.3	25.3
地域活動への職場等の理解	8.0	7.5	7.4	13.7	12.4	11.8	7.2	4.0
活動団体同士の情報共有・ネットワークづくり	6.9	8.4	11.0	7.1	8.4	7.0	7.2	5.1
子どものころから地域活動や社会貢献活動へ参加できる環境づくり	29.5	29.0	25.7	26.5	25.2	25.4	32.4	32.9
その他	2.3	-	0.7	4.0	1.6	2.9	2.1	2.2
無回答	9.9	1.9	5.1	4.0	4.8	5.5	6.7	18.3

職業区分別にみると、自営で「機材や活動資金の確保」、「活動団体同士の情報共有・ネットワークづくり」、おつとめで「参加する時間の確保」の割合が全体と比べて高くなっています。

	職業区分			
	全体 n=2,122	自営 n=232	おつとめ n=872	家事専業 n=977
参加する時間の確保	33.2	33.6	44.7	23.4
NPOやボランティア等の活動情報	17.2	16.4	18.7	16.4
機材や活動資金の確保	12.3	18.1	13.9	9.6
地域活動を必要とする人や施設の情報	22.4	26.3	22.4	21.7
地域活動に関する専門家の助言	4.7	5.2	3.4	5.4
地域活動の社会的な信用づくり	9.1	11.2	9.1	8.6
活動を一時的に体験できる場や参加する機会の確保	21.1	17.2	20.6	22.3
活動のための事務所や会合場所の確保	4.1	3.0	3.7	4.4
技術、知識、資格を習得するための研修	10.0	9.9	9.7	10.5
活動中の事故への補償制度	10.6	14.2	8.8	11.4
一緒に活動する仲間の確保	23.8	25.9	22.9	24.1
地域活動への職場等の理解	8.0	4.3	12.3	5.3
活動団体同士の情報共有・ネットワークづくり	6.9	12.1	7.6	5.1
子どものころから地域活動や社会貢献活動へ参加できる環境づくり	29.5	27.6	25.9	33.1
その他	2.3	2.2	2.3	2.1
無回答	9.9	5.6	5.5	14.4

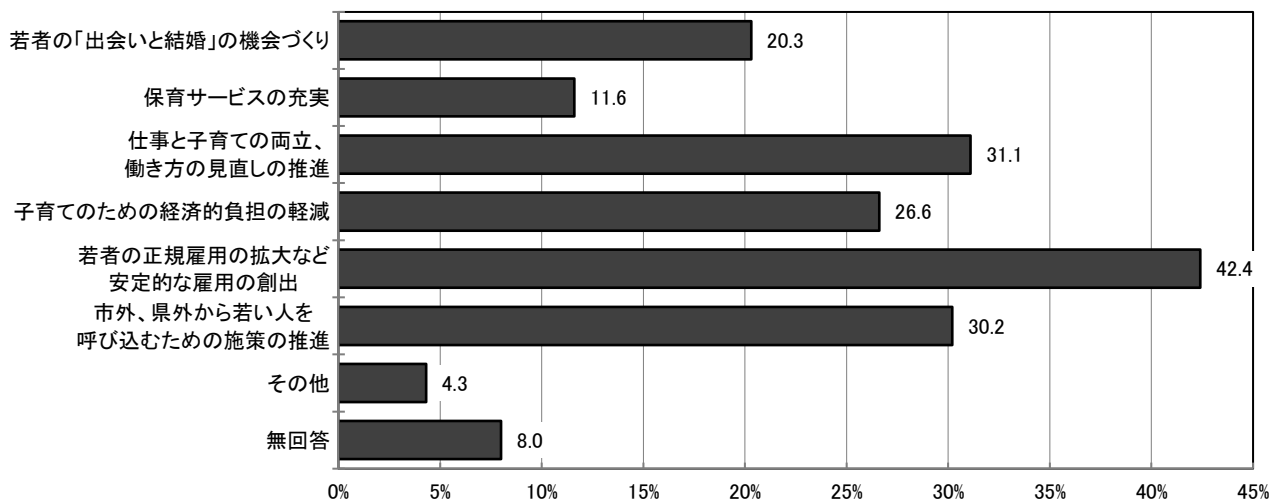
地区別にみると、新庄地区と伊保地区で「参加する時間の確保」、余田地区で「地域活動を必要とする人や施設の情報」、阿月地区で「子どものころから地域活動や社会貢献活動へ参加できる環境づくり」、平郡地区で「一緒に活動する仲間の確保」の割合が全体と比べて高くなっています。

	地区									
	全体 n=2,122	柳井地区 n=361	日積地区 n=219	伊陸地区 n=228	新庄地区 n=230	余田地区 n=185	伊保地区 n=227	阿月地区 n=170	平郡地区 n=75	大島地区 n=221
参加する時間の確保	33.2	36.0	30.1	35.1	41.3	37.3	39.6	23.5	17.3	33.9
NPOやボランティア等の活動情報	17.2	21.1	11.9	18.4	19.1	18.9	17.6	15.3	13.3	18.1
機材や活動資金の確保	12.3	13.3	16.0	14.0	12.2	13.5	11.0	11.8	8.0	11.8
地域活動を必要とする人や施設の情報	22.4	21.6	18.7	22.4	24.3	27.6	21.1	25.9	24.0	23.1
地域活動に関する専門家の助言	4.7	4.7	3.7	5.7	3.0	4.3	5.7	7.1	-	4.5
地域活動の社会的な信用づくり	9.1	6.6	10.0	10.5	10.0	8.6	7.9	8.8	8.0	11.8
活動を一時的に体験できる場や参加する機会の確保	21.1	22.2	20.1	20.6	19.6	21.6	23.8	20.0	20.0	23.1
活動のための事務所や会合場所の確保	4.1	5.0	5.0	5.7	3.5	3.8	4.4	2.4	1.3	3.2
技術、知識、資格を習得するための研修	10.0	11.1	10.0	14.0	11.7	10.8	7.5	7.1	6.7	7.7
活動中の事故への補償制度	10.6	8.3	14.2	12.7	6.5	7.6	10.6	12.4	13.3	10.0
一緒に活動する仲間の確保	23.8	23.5	24.2	23.7	22.6	24.9	23.8	21.8	32.0	24.0
地域活動への職場等の理解	8.0	8.6	11.9	6.6	10.4	7.0	7.0	8.8	4.0	8.1
活動団体同士の情報共有・ネットワークづくり	6.9	8.6	8.2	11.4	7.0	5.9	4.4	5.3	2.7	6.8
子どものころから地域活動や社会貢献活動へ参加できる環境づくり	29.5	28.3	22.8	26.3	27.4	30.3	29.5	42.9	33.3	30.3
その他	2.3	2.5	1.8	2.6	1.3	1.1	3.1	0.6	1.3	3.2
無回答	9.9	8.3	11.9	5.7	9.1	8.1	7.9	10.6	20.0	5.4

問 29 本市への移住・定住を進めていくために必要な施策は、どれだと思いますか。 (MA)

「若者の正規雇用の拡大など安定的な雇用の創出」が 42.4%で最も高くなっています。次いで「仕事と子育ての両立、働き方の見直しの推進」が 31.1%、「市外、県外から若い人を呼び込むための施策の推進」が 30.2%で続いています。

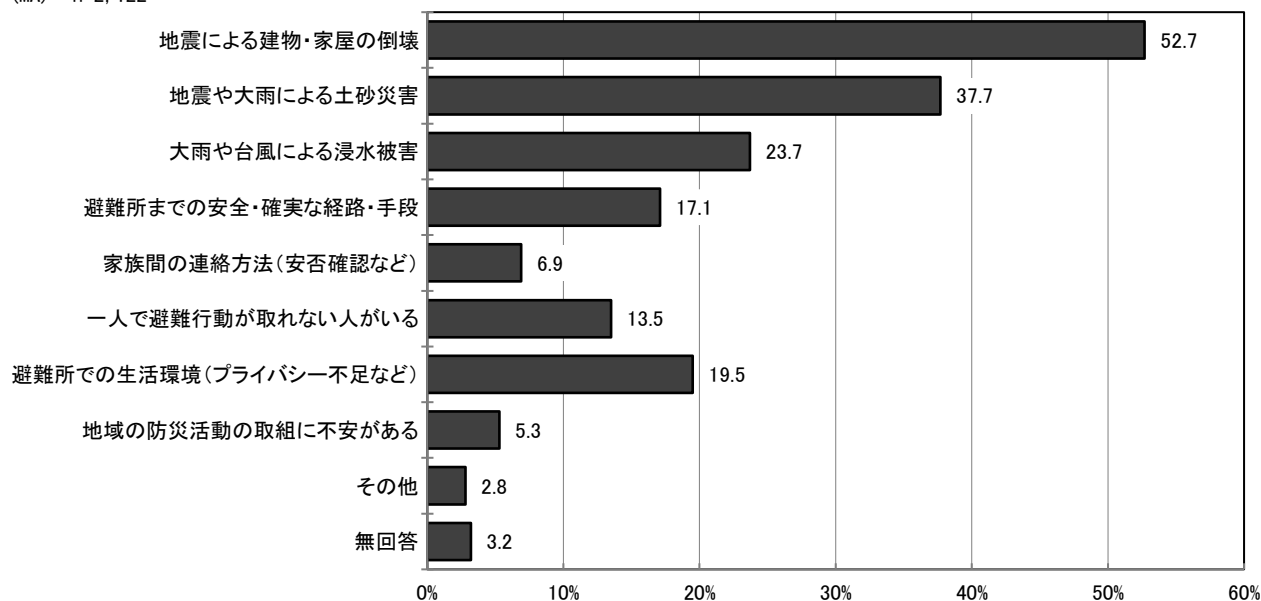
(MA) n=2,122



問 30 地震や大雨などの災害に対して、特に不安に思うことは何ですか。(MA)

「地震による建物・家屋の倒壊」が 52.7%で最も高くなっています。次いで「地震や大雨による土砂災害」が 37.7%、「大雨や台風による浸水被害」が 23.7%が続いています。

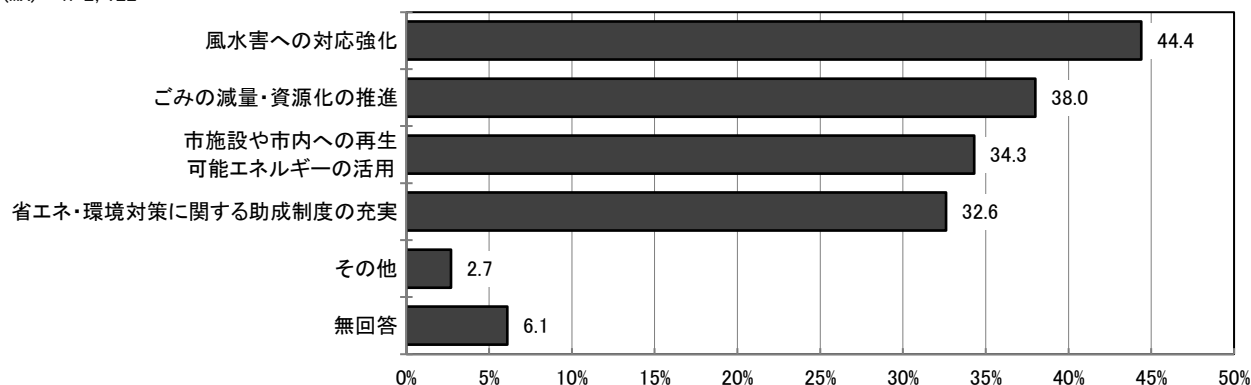
(MA) n=2, 122



問 31 脱炭素政策及び気候変動対策について、市が重点的に進めるべき施策は、どれだと思いますか。(MA)

「風水害への対応強化」が 44.4%で最も高くなっています。次いで「ごみの減量・資源化の推進」が 38.0%、「市施設や市内への再生可能エネルギーの活用」が 34.3%が続いています。

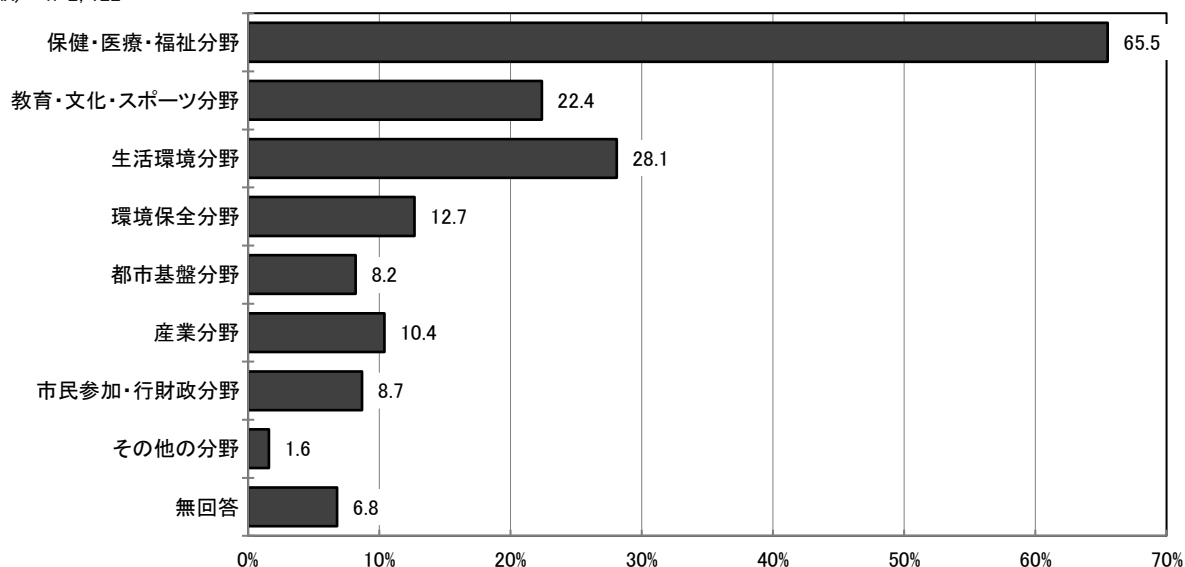
(MA) n=2, 122



問 32 今後行政サービスのデジタル化を推進するために重要と思われる分野は何ですか。
(MA)

「保健・医療・福祉分野」が 65.5%で最も高くなっています。次いで「生活環境分野」が 28.1%、「教育・文化・スポーツ分野」が 22.4%が続いています。

(MA) n=2,122



年齢別にみると、19歳以下と40～49歳で「教育・文化・スポーツ分野」、20～29歳で「教育・文化・スポーツ分野」、「産業分野」、30～39歳で「教育・文化・スポーツ分野」、「市民参加・行財政分野」、60～69歳で「生活環境分野」の割合が全体と比べて高くなっています。

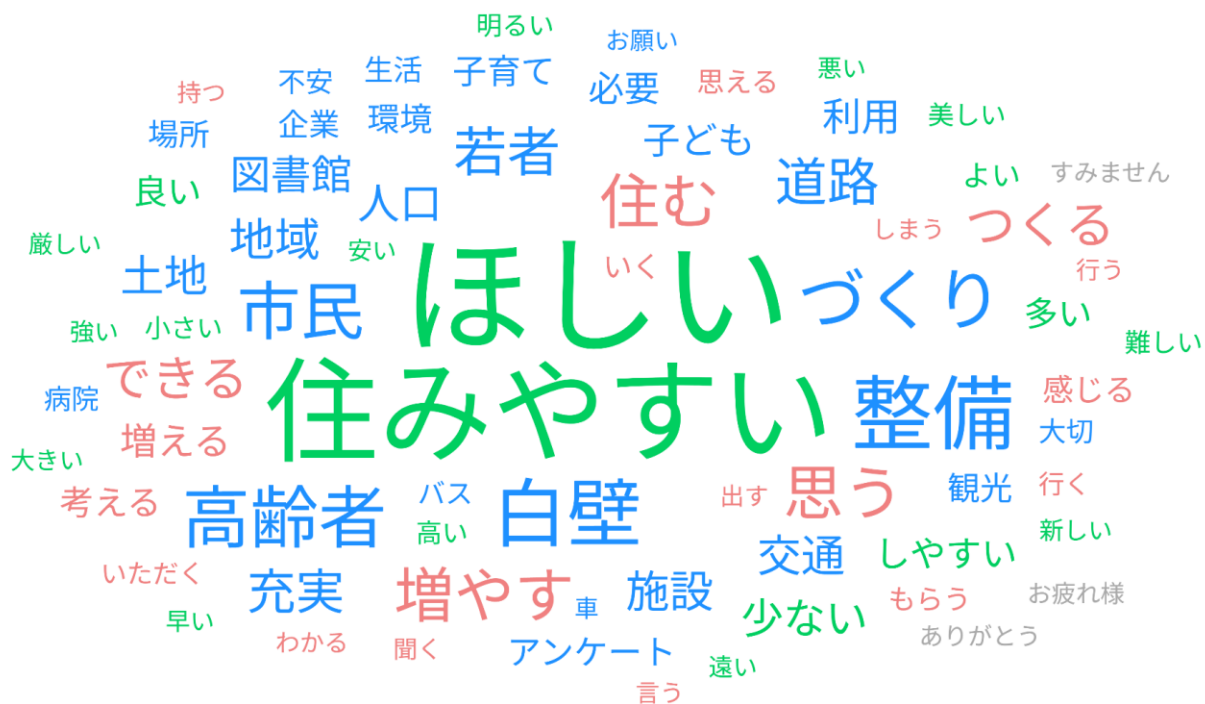
	年齢							
	全体 n=2,122	19歳以下 n=107	20～29歳 n=136	30～39歳 n=226	40～49歳 n=250	50～59歳 n=272	60～69歳 n=373	70歳以上 n=720
保健・医療・福祉分野	65.5	53.3	60.3	61.1	66.0	66.9	66.0	69.4
教育・文化・スポーツ分野	22.4	48.6	33.1	33.2	32.0	23.2	21.4	10.8
生活環境分野	28.1	17.8	19.9	22.1	26.4	25.7	33.5	31.4
環境保全分野	12.7	16.8	12.5	7.1	7.2	9.6	11.3	17.4
都市基盤分野	8.2	8.4	12.5	10.2	12.0	12.5	6.7	4.3
産業分野	10.4	9.3	15.4	12.8	14.8	10.3	10.2	7.2
市民参加・行財政分野	8.7	7.5	8.8	15.0	9.2	8.8	7.8	7.4
その他の分野	1.6	1.9	0.7	3.1	1.6	1.5	1.9	1.3
無回答	6.8	0.9	3.7	3.5	2.8	4.4	5.1	11.8

問 33 これからの柳井市のまちづくりについて、ご意見や提案（アイデア）をお持ちでしたら、どんなことでも結構ですので、自由に記入してください。

項目	内容	件数
自治体経営	行財政改革の推進	14
	地域コミュニティ活動の充実	4
	広域連携の推進	2
人権・子育て・教育	子育て支援	9
	生涯学習機会の充実	6
	スポーツ・レクリエーションの振興	4
	義務教育の充実	3
	就学前教育の充実	1
健康・福祉	病院等の医療サービスの充実	19
	高齢者福祉の充実	8
	健康づくりのための教育や支援	4
	障がい者のサービス充実	2
安全・都市基盤	道路、交通網の整備	29
	公共交通の充実	22
	交通安全	22
	適正な土地利用の推進	13
	住宅・宅地の整備	9
	防災対策	8
	下水道・排水設備の整備	7
環境	公園・緑地の整備	10
	ごみの適正処理やリサイクル等の推進	7
	景観に配慮したまちづくり	7
	自然環境の保全	5
観光・産業・文化	商業・サービス業の振興	19
	雇用の安定	16
	観光の振興	15
	移住・定住	5
	農業の振興	3
	他の地域や海外との交流の推進	2
その他	デジタル化によるデジタルデバイドの懸念	9
	使用済み燃料中間貯蔵地設置の反対	9
	水道料金が低い	6
	害獣対策	3
	情報発信の充実	3
	意見箱の設置	2
	その他（1件以下）	79
総意見数		386

■テキストマイニングによる分析

自由回答に出てくる単語の多さに応じて文字の大きさが変わっています。自由回答をテキストマイニングした結果は、「住みやすい」「ほしい」「高齢者」「白壁」「整備」「若者」「道路」「交通」などの単語が多く出ています。



■自由回答の主な意見

分類	主な意見	回答者
行政運営について	柳井市も高齢化が進み、今後活性化させるには若い人の移住や考えは必須だと思う。それには全国で若い人の移住計画に成功した町の視察、及び思い切った施策が必要ではないかと思う。住民一人ひとりが気さくに話し合える場で、アイデアを持ち寄り、自ら町を良くしていこうとする人が増えるのを願っている。住民だけの話で終わるのではなく、ファシリテーターがまとめ、行政に伝え回答をまた住民に伝えることが必要かと思われる。	60代女性 阿月地区
	全ての分野で頑張ろうとしないで特筆できるよう分野を絞ったほうが良い。柳井市は観光には不向きなので企業誘致のため道路をつくるべきかと。土地はあるのだから高速道路までの専用道路を整備して。市がどのように発展したいのかされるのか、市の指針が不明瞭。	30代男性 大島地区
	市役所職員の異業種交流会や他企業からの出向、他企業への出向をもっと積極的に行うべき。同業他社、ライバル企業がない公務員は一般企業と比べても向上心が低いと感じる。よりよい提案(アイデア)を求める前に、最低限のサービスを提供できるようにしてほしい。地が固まっていないのに他のサービスを始めると倒れてしまう。	30代女性 新庄地区
	経済を活性化させるには若者の力が必要だと思う。若者に定住してもらうためには将来に希望を持って、ここに住んでいて良かったといずれは思えるまちづくりが必要だと思う。そのためには良い意味で高齢者が生き生きと暮らし、若者の見本になれるような環境づくりを助ける施策が良いのではないか。	50代男性 余田地区
道路等の整備	市道の改修(他の市町村と比べてラインが見えなかったり穴があったり多い)	60代男性 余田地区
	道路について、信号、カーブミラー、道幅など、考えられてつくられたのだろうか疑問に思えるようなところがよくある。(不便、危険を感じる)あるいは市民がこういうところが改善してほしいとか不便を感じるかということと言える場がほしい(気軽に言える)	50代男性 余田地区
	道路わきの草木が垂れ下がりとても危険。定期的に草や木を刈るなどしてほしい。事故につながる。止まれの表記があるが何度かぶつかりそうになったことがある。何かしらの対処をしたほうがよいと思う。	30代男性 伊陸地区
	雑草が道路まで伸びていて歩行者が歩けるところがなかったり、わき道から道路に出ようとしても草木で左右が見えにくかったりするところがある。小学生の通学路にしても草や木で死角になりそうなどところがある。昔は5月の下水溝清掃や7月のクリーン作戦である程度きれいにされていたが、この暑さも関係するのか、それだけでは全く間に合っていないように感じる。高齢化で市民の力は限度がある。草刈などちょっとしたことに力を入れ、市が町をきれいにして柳井市に来た人が、この町はきれいに整備されているなどと思ってもらえるような市になればと思う。	50代女性 新庄地区
	健康維持のためウォーキングを始めたが、近所の農道にもっと街灯があれば安心して歩けると思う。これからはもっと多くの人が年を重ねるに伴い、健康のために運動すると思われるので、運動促進のためにも夜でも明るい歩道の整備を希望する。	40代男性 余田地区

分類	主な意見	回答者
交通環境について	10月よりタクシー券での補助がスタートするが、上限が1000円と設定しており、伊陸、日積などからは柳井市街にタクシーでは3000円以上かかる。乗り合いタクシーもあるが、時間が決まっているので、それ以外の時間では普通のタクシーにての乗車をもう少し助けていただける補助があれば柳井市街にもう少し行きやすくなる。買い物、医者などにも岩国、玖珂などへ流れるのを変えられるのではと思う。	30代男性 伊陸地区
	広島行き的高速バスがなくなったのでとても不便で困る。広島大学(広島県広島市など)に通学するのに不便でJRを使うとなると時間がかかる。通学できず広島にアパートを借りなければならなくなる。広島への通院もできない。柳井から伊陸便の防長バスがなくなったので、通院で伊陸へ行く場合はタクシーを利用するしかない。往復のタクシー代だけでもかなり高額で負担になっている	60代女性 伊保庄地区
	駅をみんなが集まれるような場所を含めてきれいに建て直してほしい。徳山駅ほどまでは言わないが、きれいで利用しやすい駅にしてほしい。高齢者も利用しやすいぐるりんバスのようなバスが無料であるといふ。70歳以上は車の免許は返納するように言われているが、交通手段も考えずにそのようなことを言っただけでは高齢者は困ると思う。バス停はゆめタウン柳井や周東病院、柳井医療センター、うつみ内科医院、ミスターマックスなど、高齢者がよく利用するような病院やお店などを主にする。バスは小型でよいと思う。	50代女性 柳井地区
	余田地区在住。ここはスーパーはおろかコンビニさえない状況。夜間は街灯もほとんどなく気楽な散歩もできない。田舎ゾーンも結構だが、少しは商業施設がほしい。今は車が使えるが将来はどうなるやら、このままでは限界集落になりそう。	60代男性 余田地区
子育て支援	児童クラブのお金が高い、収入によって金額を変えてほしい。	30代女性 大畠地区
	自分の子どもも発達障害だったが小学校、中学校と理解のある先生がいなかった。小学5年生までは良い先生だった。発達障害は治らない。中学の先生は治る？と思っている感じだった。あとはしつけが悪いみたいと思われている。全ての教員の理解ができるように願う。	50代男性 伊保庄地区
	学校の長期休暇中、8時から児童クラブに預ける予定が、職員が数十分遅刻して出勤したため、児童の保護者が仕事を遅刻した事例があった。役所の窓口でこの事実を報告しても何の対応もされなかった。よりよい提案(アイデア)を求める前に、最低限のサービスを提供できるようにしてほしい。地が固まっていけないのに他のサービスを始めると倒れてしまう。	30代女性 新庄地区
	小、中、高校生の意見も聞いてみては？これからも柳井に住む人たちなので。	40代女性 柳井地区
	柳井市の未満児保育料無償化をする前に、保育士への(保育園への)現場の声を聞いてほしい。国が定める対人数0歳は3:1、1~2歳は6:1。これ現実的だと思いますか？プロだからと言われても人間の目は2つ、手も2つ。できることは限られる。見ておいただけなら見られる。でもそれだけではない。食事、排泄などもある。柳井市独自として税金を保育士へ使っていただきたかった。(使い道として0歳3:1→2:1や、1~2歳6:1→4~5:1にしろ、保育士の充実を行った上で未満時無償化など、基盤を充実させてからにしてほしい。対人数の見直しをして、保育士を雇うお金を出してほしい)などにしてもそうだが、現場の声を大切にしていきたい	40代女性 新庄地区

分類	主な意見	回答者
デジタル化の推進	IT化で疑問に思うのは災害時電気が使用できないリスクがあるのにどうしてそんなに進めるのか。災害時こそアナログで動けることが重要だと思う。もしもに備えるのであれば、アナログで迅速に対応できるシステムづくりが大事だと思う	50代女性 伊保庄地区
	行政サービスをデジタル化するのであれば、素人でもわかるようなマイナンバーの不備を改善し、24時間使用できる書類の発行手続きの設備を構築すべきだと思う（ATMのような）。できないのであれば無駄にデジタル化して使いにくくするより従来の印鑑システムでよいと思う	40代男性 新庄地区
	デジタル化を推進する際、高齢者が置き去りにならないよう高齢者を対象としたデジタルの利便性を享受できるスマホ講座や購入補助金などの取り組みをして、関心を持つところから始めれば行政サービスのデジタル化に感じるアレルギーが少しは改善されるのではないかと	80代女性 伊陸地区
情報発信について	アルバイトやパートでの仕事を探している人が多い。しかし市からの十分な情報提供が少ないと感じる。その結果、十分な雇用環境や待遇で働けず、経済的な面で困窮しているのではないかと。私自身も教員免許や保育士などの資格があるが、現在は資格が活かしていない。雇用環境の整備と待遇の充実を強く希望する	30代女性 余田地区
	大島町に流れる観光客を少しでも柳井市に来てくれるよう、情報発信して柳井の魅力をアピールできたらと思う	30代女性 大島地区
	高齢者が多くなる将来に向けて、スマートフォンも満足に使えないのにデジタル化を推進するのは高齢者にとって必要な情報を作成しているだけの自己満足だと考える。弱者に優しい町づくりは誰もが住みやすい環境となるため、デジタル化に目を向け情報提供はしていると満足するのではなく、どうすれば必要な情報を正確に届けられることができるのかを考えたほうが良いのではないかと。	50代女性 伊陸地区
	申請をすれば給付できる手続きなどの情報を発信してほしい。手続きをしたら受けられる給付を後で知り、申請の期限を過ぎていた	50代男性
水道料金について	県外から数十年前に越して来ました。水道代の高さに驚いた。なんとかならないのか。市外に移住を考えている	女性
	上下水道料金が高すぎる。安くするべき	70代男性
移住定住について	柳井市も高齢化が進み、今後活性化させるには若い人の移住や考えは必須だと思う。それには全国で若い人の移住計画に成功した町の視察、及び思い切った施策が必要ではないかと思う。	60代女性 阿月地区
	伊陸地区には空き地、空き家がたくさんあるのに移住者が少ない。商業施設（店舗）が少ない。交通網が不便（バスの廃止、マイカ号の不便さなど）。人口が減少するが、役員などの割り当てが多くお年寄りまでそういうことで働かなければならない。伊陸を盛り上げるために夢プランを実行したが、なかなか伊陸には人が集まってこない。	40代女性 伊陸地区
	高齢化が進み過疎化が急激に進む中で一番に取り組まないといけないのは、若者を呼び込み、移住者を増やすこと、定住してもらうためのまちづくりだと思う。柳井市に福利厚生がしっかりしている企業や団体を呼び込み、子育てに関する施策を充実させる必要がある。昔からの文化を守り市の運営を発展させてほしい。	10代 阿月地区

分類	主な意見	回答者
企業誘致・雇用の促進	人口減少の対応として地域での雇用創出、企業、学校誘致など定住者の増加を図り、商業施設や公共交通充実となるよう努める。具体策はなく、なかなか難しいだろうが、人が集まる仕組みづくりを徹底して行ってほしい	60代女性 新庄地区
	企業の誘致が必要。今ある企業を活性化させる。昔からある造船所をもっと大きな企業にすると雇用が生まれる。	70代男性 柳井地区
	仕事、住居をセットで移住者を受け入れるべきだと思う。土地も空き家もたくさんあるはず。それらがうまくわたる仕組みがあればよいと思う。原発関連は全て反対。	40代男性 伊保庄地区
	今後柳井市を発展させるためには、企業誘致、雇用の確保が最優先だと思う。それを実現させるためには、基幹道、例として玖珂、岩国につながる道路建設。企業誘致推進により税収拡大、雇用拡大となり、他の行政サービスも充実してくる。	60代男性 伊保庄地区
	大阪→福岡→周防大島→柳井と引越しをして来て、柳井が一番就業場所がない。仕事は介護職。おまけに賃金も安いうえに税金も物価も高いので引越しを検討中。光市まで通勤している。面接に行った時も柳井市民は仕事をさぼる、大雑把、柳井は鬼門なんだよねとまで言われた。住みやすく買い物もすごく楽なのに何でだろうと思う。	50代女性 新庄地区
	原子力以外の工場の建設、誘致して柳井市自体の財源確保しつつ地元雇用者を増やす	30代男性 伊保庄地区
公共施設等の充実	中途採用でも働ける場を設けてほしい。	50代男性 伊陸地区
	公共機関がない、店がない、病院がない	70代女性 日積地区
	みどりが丘図書館をよく利用するが、外の遊具は日陰がなく特に夏は遊べる環境ではないので、もう少し涼めるような場所にしてほしい。	30代女性 新庄地区
	待望していたビジコム柳井スタジアムのスコアボードが手動掲示式から電光掲示式に改修されとのこと。最新設備で早期着工と早期完工してほしい。また、ナイター整備も完備され、他市で行われるようになった夏の高校野球予選も再びビジコムで行われ、昔日の柳井の誇りを取り戻してほしいと思う。文化的施設として独立した郷土資料館の建設をしてほしい。	80代男性 新庄地区
	統合によって空いた体育館などの公共施設を開放するなどして他地域の施設を利用しなくても市内でというような取り組みをしてほしい。	50代男性 日積地区
	公共施設、商業施設についても屋根のある駐車場が少ないので、屋根をつけてもらえると子育てをしている人は助かると思う。	40代女性 柳井地区
	駅をみんなが集まれるような場所を含めてきれいに建て直してほしい。きれいで利用しやすい駅にしてほしい。駅内などに高齢者の憩いの場となるような場所を作してほしい。今後は高齢者がもっと増えるため、元気な高齢者を増やし、寝たきりにさせない。認知症予防にもなる。	50代女性 柳井地区
	講演会やコンサートなどサンビームやないでのイベントをもっと増やしてほしい。	50代女性 新庄地区

分類	主な意見	回答者
医療の充実	総合病院の充実。少し難しい手術や病気の治療は現在は徳中、岩国医療センター、山大などへ行く必要があることが多いので柳井でも充実した医療が受けられるようになると良いと思う。	60代女性 柳井地区
	柳井市街だけを栄えるのではなく、伊陸地区、日積地区もスーパーマーケットや病院など増やしてほしい	10代女性 伊陸地区
	救急医療は周東だけでは足りない。外科がない。他市町村へ運ぶとスラムがない（ヘリポート）	80代女性 大島地区
	子育てがしやすいが、一つ不満なところは病院。小児科が少な過ぎる。親として安心して利用できる子どものための病院の見直しをお願いしたい。私自身、今利用している小児科がもしなくなってしまうたら、今後は遠方を利用するしかないのか、もしくは耳鼻科で診てもらえばいいのか、どこの病院なら安心できるのかわからない。実際高圧的な物言いの先生もいらっやって子どもが行くのを嫌がる	40代 伊陸地区
	子どもを育てている親としては、総合病院であるJA周東総合病院に常勤の医師さんがいないため、救急対応してもらえる病院が徳山か岩国まで行かなければいけないことが、1番の不安材料。	40代女性 伊保庄地区
	医療関係者である。柳井市に限った話ではないが、医療現場は人手不足と診療報酬の改悪で非常に厳しい状況。この地域は救急に対応できる病院が一つしかなく、そこが立ちいかなければ柳井市の医療は崩壊してしまう可能性がある。行政としてそれを防ぐため方策を検討していただきたい。	40代男性 新庄地区
	年を取ると病院通いが増え、車にも乗れなくなる可能性がある。整形外科、内科、皮膚科、外科、歯医者などがある近くでバスが停まってくれるようになれば、将来、車に乗れなくなっても少しは不安が解消し住みやすくなると思う。	60代女性 柳井地区
	柳井には病院が少なく、市内にある病院の医師は態度が悪い人が多く市外に通っており、周東病院には小児科はあるけれどいつ小児科がなくなるか不安	40代男性 余田地区
教育の充実	幼い頃より「環境への関心を持ち、理解し、自ら小さなことであっても行動に替え、関わる努力が必要」という教育をお願いしたい。当然のこととして身につけた知識、考えから行動を興していくことで世界を知り、守ることに繋がる。そのような教育を受けた柳井市に誇りを持ち、さらに柳井市をお手本となる町として成熟させようと柳井市で働く人材の育成に繋げてほしい。	70代女性 伊保庄地区
	部活はなくさないでほしい。地域クラブになるのであれば、学校でそのまま活動したり（送迎の負担）、活動費の補助などがあればうれしい。	30代女性 新庄地区

分類	主な意見	回答者
災害対策の充実	部活はなくさないでほしい。地域クラブになるのであれば、学校でそのまま活動したり（送迎の負担）、活動費の補助などがあればうれしい。	30代女性 新庄地区
	台風シーズン、一人暮らしの高齢者は遠い避難所へ行く手段がないので開設場所など考えてほしい。	80代女性
	災害時の具体的対応の充実をお願いしたい。何かあった時、逃げる場所がない、移動の不安などをよく耳にする。	30代女性
	地震に備えての避難訓練が必要だと思う	60代男性 柳井地区
	川に大きな木や草が育っていて、大雨が降ったら氾濫するのではないかととても恐怖。旧うずしお荘からガソリンスタンドベルダへの下り坂の樹木も伐採されていて、いつ崖崩れが起こるかと不安に感じながら通行している。市民が安全に暮らせるよう災害を未然に防ぐことを第一に考えてほしい。	60代女性 大島地区
高齢者施策の充実	定年後の産業を勧めたらと思う。定年後に始める方に補助金を出すなどしてきっかけをつくってあげたら良い。	70代男性 阿月地区
	買い物に行くにも病院へ行くにも大変だ。後期高齢者のため、マイクロバスでも動いてくれたらとても助かる。	80代女性
	商工跡地に老人ホーム、サービス施設の建設。	50代男性 日積地区
	特に年金暮らしの高齢者の生活を見てほしい。生活保護が本当に必要なのになかなか認めてくれない。本当にお金に困っている高齢者が居るということに気付いてほしい。	70代女性 柳井地区
	柳井市には元気なシニアが多くいると思う。そのシニアの資格や実績を生かし活躍させる場があればいい。まだ輝ける元気なシニアの町になる。父母共に60後半だが、まだまだ元気なので提案した	30代男性 阿月地区
	どこでも柳井市内の介護サービスが受けられるような体制づくり、現在は事業所の体制上送迎が困難など、中心地と同等のサービスが受けられない状況のため、格差がないようにしていただきたい。介護が必要になる前に健康維持のための教育、体力維持のための場が地域各所に設けられるための支援があると良い。	40代女性 伊陸地区
観光の振興	柳井市にわざわざ観光に来てくれても見るところが少な過ぎる。良い特産物も多いのでそれを活かしたことをしてほしい。道の駅のような人が呼べて楽しめる場所があると良い。	50代女性 伊陸地区
	白壁の町並の力がない。金魚ちょうちん祭りの日だけでなく、町が活発になるようにお店の工夫も必要だと思う。	30代女性 柳井地区
	フラワーランドにリピーターが来るように魅力的にする。サンピームに演奏会が呼べるようにしてほしい。食べ歩きができたり、ゆっくりできたりするなど魅力的な観光地を整備してほしい。	70代女性 余田地区
	県外の人からの話で柳井は魚がとってもおいしいし、景色も美しいので白壁の町をもっと魅力ある町にし、食と観光をセットで取り入れたらもっと良い町になると思うと言っていた。	80代女性 伊保庄地区
	白壁について、麗都路というようなつながりのないものではなく、白壁のみで駅までを統一したほうがよいのではないかなと思う。他県他市から来た人に必ず言われる	50代男性 日積地区

分類	主な意見	回答者
観光の振興	金魚提灯に頼ったものだけでなく、灯籠などと合わせて白壁に映えるようなもの。観光でモニュメントを考えて外からの観光客が集まるSNSで発信しやすい場所を作ってみてはどうだろうか。インバウンドで収益が発生することはないか検討。柳井出身のストーンマーケット会長に協力依頼し、SNS映えするモニュメント作成に協力してもらうことはできないだろうか。	60代男性 柳井地区
	柳井市に住んでいるが年々思うことなのだが、やはりもう少し柳井市の町並み(白壁通り)を活気づけないと観光客も増えないと思うし、柳井市全体もよくなると思う。せっかく白壁通りというすてきな町並みがあるのだから、それを活かす、そして、お店も出店したりすれば、町並みも活気づき、また商売繁盛となり、観光客ももっと増え、柳井市全体がよくなっていくと思う。金魚提灯、柳井祭りだけ人(観光客)が多いだけでは意味がないと思う。日々もっと活気づけてほしい。そうすれば必ず柳井市にとっても本当によいと思う	70代女性 伊保庄地区
	一年中(隔週、月に数回でも)金魚提灯を点灯させたほうが良いと思う 市役所が少し暗かったりするので、もう少し行きたくなるようにしてほしい	30代女性 伊保庄地区
	白壁の町並はせっかく石畳にしてあり景観も良いと思うのに、立ち寄りたいと思えるお店が少なく、観光に来られた方もガッカリされた話を聞きます。市を挙げて活性化に取り組んでほしい。(まずは市民が度々行きたくなるようなお店などをいくつかつくり、お店側も常時開店でき採算が取れるようにする)	60代女性 余田地区

9. 総括

1 柳井市の現状について

(1) 住みやすさについて

①概要

『住みやすい』(「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人は約4割、『住みにくい』(「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と回答した人は約2割となっています。

「現在の幸福度」「5年後の幸福度」とのクロス集計では、現在、5年後ともに、幸福度が高いほど、『住みやすい』の割合が高く、幸福度が低いほど『住みにくい』の割合が高くなっています。

暮らしの満足度とのクロス集計においても、満足度が高いほど、『住みやすい』の割合が高く、満足度が低いほど『住みにくい』の割合が高くなっています。

②住みやすいと回答した人の理由

『住みやすい』と回答した人の理由では、「自然が豊か・空気がきれい」の割合が最も高く、「買い物が便利」「個人の自由が確保され、自由に過ごせる」が続いています。

「自然が豊か・空気がきれい」の割合が高かった年代は「60～69 歳」「70 歳以上」、「買い物が便利」は「30～39 歳」「40～49 歳」、「個人の自由が確保され、自由に過ごせる」は「19 歳以下」「70 歳以上」となっています。

「自然が豊か・空気がきれい」の割合が高かった地区は「日積地区」「伊陸地区」「阿月地区」「平郡地区」「大畠地区」、「買い物が便利」は「柳井地区」「新庄地区」「伊保庄地区」、「個人の自由が確保され、自由に過ごせる」は「日積地区」「平郡地区」「大畠地区」となっています。

③住みにくいと回答した人の理由

『住みにくい』と回答した人の理由として、「交通手段が限られている」が最も高く、「買い物が不便」、「レジャー・娯楽施設が少ない」と続いています。

「交通手段が限られている」の割合が高かった年代は「19 歳以下」「60～69 歳」「70 歳以上」、「買い物が不便」は「70 歳以上」、「レジャー・娯楽施設が少ない」は「19 歳以下」「20～29 歳」「30～39 歳」「40～49 歳」となっています。

「交通手段が限られている」の割合が高かった地区は「日積地区」「伊陸地区」「阿月地区」、「買い物が不便」は「伊陸地区」「阿月地区」「平郡地区」「大畠地区」、「レジャー・娯楽施設が少ない」は「柳井地区」「新庄地区」となっています。

幸福度で「不幸せ」、暮らしの満足度で「不満足」と回答した人は、共通して「行政サービスの水準が低い」の割合が高くなっています。

(2) 市への愛着と定住意向について

『愛着を持っている』(「強く持っている」「ある程度持っている」と回答した人は約7割となっています。

『住み続けたい』(「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人は6割台半ばとなっています。

(3)子育てのしやすさについて

①概要

子育てのしやすさでは、「わからない」の割合が最も高く、4割台半ばとなっています。『子育てがしやすい』(「子育てがしやすい」「どちらかといえば子育てがしやすい」)と回答した人は3割強、『子育てしづらい』(「子育てしづらい」「どちらかといえば子育てしづらい」)と回答した人は1割強となっています。

子育て世帯である「30～39 歳」と「40～49 歳」では、他の年代と比較して『子育てしやすい』の割合が高くなっています。

地区別では、「新庄地区」「余田地区」で『子育てしやすい』の割合が高くなっています。

②子育てしづらいと回答した人の理由

自由記述をみると、「学校が遠い」「交通の便が悪い」などの通学に関する課題、「子どもが少ない」といった少子化に関する課題が多くあげられています。

(4)施策に対する満足度と重要度について

満足度が低く、重要度が高い項目は、「水産業の振興」「障がい者福祉の充実」「高齢者福祉の充実」「広域連携の推進」「病院等の医療サービスの充実」「消費者相談体制の充実」「雇用の安定と労働環境の充実」「行財政改革の推進」「移住・定住の推進」となっています。

満足度が高く、重要度が高い項目は、「商業・サービス業の振興」「交通安全・防犯対策の推進」「生涯学習機会の充実」「防災・消防対策の推進」「観光の振興」「工業の振興」「就学前教育や義務教育などの充実」「人権の尊重と男女共同参画の推進」「子育て支援や少子化対策の充実」「農林業の振興」「適正な土地利用の推進」「スポーツ・レクリエーション活動の振興」となっています。

(5)事業・行政サービスの情報の入手先について

「市の広報紙」の割合が最も高く、「隣近所の人、友人・知人」「市が作成したチラシやパンフレット」が続いています。

(6)行政サービスへの関心度・満足度について

①関心度

『関心がある』(「非常に関心がある」「多少関心がある」)と回答した人は約7割となっています。概ね年齢があがるにつれて『関心がある』の割合が高くなっています。

②満足度

「どちらともいえない」と回答した人は5割台半ばとなっています。『満足している』(「満足している」「やや満足している」)と回答した人は3割、『不満である』(「不満である」「やや不満である」)と回答した人は約1割となっています。

年齢別では「19 歳以下」と「70 歳以上」、地区別では「平郡地区」で『満足している』の割合が高くなっています。

2 産業について

(1)経済の発展について

経済を発展させるために特に力を入れるべきものでは、「保健、医療、介護、福祉関連産業」の割合が最も高く、「企業誘致」「移住・定住促進関連」と続いています。

前回調査に比べて「農林業」「観光関連産業」「卸・小売業、飲食業(観光関連を除く)」「移住・定住促進関連」「水産業」「保育、医療、介護、福祉関連産業」の割合が高くなっています。

(2)観光の振興について

観光の振興として特に力を入れるべきものでは、「美しい自然と温暖な気候を生かした観光地づくり」の割合が最も高く、「地元産品を使った名物料理の開発、特産品のブランド化」「年間を通じたイベント開催」と続いています。

3 福祉について

(1)児童、ひとり親家庭等への福祉について

児童、ひとり親家庭等への福祉について特に重点を置くべきものでは、「延長保育、休日保育、一時預り事業などの保育体制の充実」の割合が最も高く、「放課後児童クラブ(学童保育)の整備、充実」「ひとり親家庭等への福祉サービスの充実」と続いています。

子育て世帯である「20～29 歳」では「保育所や幼稚園等の経済的負担の軽減」、「30～39 歳」「40～49 歳」では「児童館、児童公園など、子どもの健全で安全な遊び場の充実」「乳幼児・子ども医療費助成の継続」の割合が高くなっています。

(2)障がい者福祉について

障がい者福祉について特に重点を置くべきものでは、「働く場所や就労の機会の確保」の割合が最も高く、「在宅障がい者の自立を支援するための施設の整備、拡充」「年金、手当、医療などの充実」と続いています。

(3)高齢者福祉について

高齢者の増加に伴い、特に重点を置くべきものでは、「日常生活に欠かせない移動手段を確保するための生活交通システムの整備」の割合が最も高く、「デイサービスセンターや在宅介護支援センターなど、在宅介護を支える施設の整備充実」「施設の整備充実」と続いています。

前回調査に比べて「日常生活に欠かせない移動手段を確保するための生活交通システムの整備」の割合が特に高くなっています。

4 健康づくりについて

健康づくりのために特に重点を置くべきものでは、「健康診断、がん検診の充実」の割合が最も高く、「健康づくりのための運動をしやすい環境整備」「健康づくりに関する講座やイベントの開催(充実)」と続いています。

5 環境問題、美しいまちづくりについて

(1)環境問題について

環境を守るために、特に重点を置くべきものでは、「自然環境の保全(森林、海岸、砂浜などの保全、生態系の保全)」の割合が最も高く、「公共下水道、集落排水施設の整備、浄化槽の普及」「ごみの分別収集の徹底と減量化、リサイクル運動の推進」と続いています。

前回調査に比べて「自然環境の保全(森林、海岸、砂浜などの保全、生態系の保全)」の割合が高くなっています。

「自然環境の保全(森林、海岸、砂浜などの保全、生態系の保全)」の割合が高かった地区は、「阿月地区」「平郡地区」、「公共下水道、集落排水施設の整備、浄化槽の普及」は「新庄地区」となっています。

(2)美しいまちづくりについて

美しく住みよいまちづくりのために特に重点を置くべきものでは、「道路、海岸、河川などの清掃活動の強化」の割合が最も高く、「海岸、河川、水路等の水辺の景観づくり」「自宅等のまわりの清掃、整理」と続いています。

6 教育・生涯学習について

(1)学校教育について

学校教育について、特に重点を置くべきものでは、「児童、生徒一人ひとりの個性を生かしつつ学力の向上を図る教育の推進」の割合が最も高く、「豊かな自然や地域の人材を活用した体験学習の充実など地域への愛着を深める教育の推進」「福祉教育、人権教育などの思いやりのある心を育てる教育の推進」と続いています。

前回調査に比べて「豊かな自然や地域の人材を活用した体験学習の充実など地域への愛着を深める教育の推進」「情報機器を効果的に活用し、より多くの関わりを生み出す情報教育の推進」「校舎、体育館などの教育施設、設備充実の推進」「ごみ問題や環境保全など、環境問題への関心を高める教育の推進」の割合が高くなっています。

学校へ通っている19歳以下では「校舎・体育館などの教育施設、設備充実の推進」の割合が高く、子育て世帯の「20～29歳」では「児童、生徒一人ひとりの個性を生かしつつ学力の向上を図る教育の推進」「情報機器を効果的に活用し、より多くの関わりを生み出す情報教育の推進」、「30～39歳」では「児童、生徒一人ひとりの個性を生かしつつ学力の向上を図る教育の推進」「情報機器を効果的に活用し、より多くの関わりを生み出す情報教育の推進」「国際交流、国際協力など、国際的な視野を養う教育の推進」、「40～49歳」では「児童、生徒一人ひとりの個性を生かしつつ学力の向上を図る教育の推進」「少子化に伴う学校統合など学校規模の適正化の推進」の割合が高くなっています。

(2)生涯学習について

生涯学習の取組として特に重点を置くべきものでは、「公民館、図書館、生涯学習施設などの整備、充実」の割合が最も高く、「生涯学習機会の充実(多様な講座、教室の開催、学校施設の開放など)」、「スポーツ、レクリエーション施設の整備、充実」と続いています。

前回調査に比べて「文化、芸術、スポーツイベントの充実」「スポーツ、レクリエーション施設の整備、充実」の割合が高くなっています。

「公民館、図書館、生涯学習施設などの整備、充実」、「スポーツ、レクリエーション施設の整備、充実」の割合が高かった年代は、「19歳以下」「20～29歳」「40～49歳」、「スポーツ、レクリエーション施設の整備、充実」は「30～39歳」、「生涯学習機会の充実(多様な講座、教室の開催、学校施設の開放など)」は「60～69歳」となっています。

7 今後のまちづくりについて

(1) 地域活動・ボランティア活動や NPO 活動などの社会貢献活動への参加について

①これまで参加したことがあるか

『参加したことがある』(「よく参加している」「参加したことがある」と回答した人は約4割となっており、「興味はあるが、参加したことがない」と回答した人は3割強となっています。

年齢別では「19 歳以下」、地区別では「平郡地区」で『参加したことがある』の割合が高くなっています。

②参加しやすくするために必要なこと

「参加する時間の確保」の割合が最も高く、「子どものころから地域活動や社会貢献活動へ参加できる環境づくり」「一緒に活動する仲間の確保」と続いています。

(2) 移住・定住を進めていくために必要な施策について

「若者の正規雇用の拡大など安定的な雇用の創出」の割合が最も高く、「仕事と子育ての両立、働き方の見直しの推進」「市外、県外から若い人を呼び込むための施策の推進」と続いています。

(3) 地震や大雨などの災害に対して特に不安に思うことについて

「地震による建物・家屋の倒壊」の割合が最も高く、「地震や大雨による土砂災害」「大雨や台風による浸水被害」と続いています。

(4) 脱炭素及び気候変動対策について、市が重点的に進めるべき施策

「風水害への対応強化」の割合が最も高く、「ごみの減量・資源化の推進」「市施設内や市内への再生可能エネルギーの活用」と続いています。

(5) 行政サービスのデジタル化の推進のために重要な分野

「保険・医療・福祉分野」の割合が最も高く、「生活環境分野」「教育・文化・スポーツ分野」と続いています。

「生活環境分野」の割合が高かった年代は「60～69 歳」、「教育・文化・スポーツ分野」は「19 歳以下」、「20～29 歳」、「30～39 歳」となっています。

(6) これからの柳井市のまちづくりにおける意見や提案(アイデア)など

自由記述では、「道路、交通網の整備」「公共交通の充実」など交通に関する意見や「商業・サービスの振興」「雇用の安定」「観光の振興」など、観光や産業分野に関する意見が多くなっています。